

陸軍歩兵一等卒	岡 勝五郎	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	中島己之吉	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	本間新次郎	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	本間榮次郎	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	中村慶治郎	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	飯塚平次	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	矢吹凌吉	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	山崎榮三郎	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	加藤留五郎	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	加藤留七郎	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	井澤伊之助	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	保坂與二郎	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	八子乙吉	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	丸山伊之松	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	渡邊榮次	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	岡本政次郎	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	岡本政次郎	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	濁野久作	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	濁野久作	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	波部 要吉	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	波部 要吉	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	内山 倉吉	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	根本 末吉	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	鈴木留之助	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	鈴木留之助	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	今井 徳藏	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	菅野實之介	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	菅野重右衛門	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	大宮勘左衛門	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	山崎仁太郎	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	山崎清之助	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	木村清之助	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	佐々木甚吉	新潟縣平民

陸軍歩兵一等卒	木間 竹藏	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	小野 彌幸	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	山崎 丑藏	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	五日市 福松	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	工藤淺次郎	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	夏井 宗太	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	藤田松太郎	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	高橋 駒吉	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	高橋 駒吉	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	三本 秀藏	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	齋藤 吉藏	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	草野 龜吉	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	佐藤 龜吉	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	三吉 房吉	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	遠藤徳次郎	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	波部 伊七	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	波部 伊七	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	富田 五助	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	木政五郎	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	星 源次郎	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	須藤 吉郎	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	北澤部 甚平	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	加藤 常治	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	西野 徳吉	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	渡邊今朝治	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	武者多四郎	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	菅野 徳吉	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	尾形 末吉	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	尾形 末吉	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	清水邊五郎	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	木間 長藏	青森縣平民

陸軍工兵一等卒	伊藤禮三郎	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	鈴木修左衛門	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	佐野 清助	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	阿部 富藏	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	阿部 富藏	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	長谷部徳治	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	長谷部徳治	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	野口五郎治	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	野口五郎治	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	佐藤 市伊	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	太田 藤市	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	小林治太郎	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	小倉 榮治	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	小倉 榮治	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	木村榮三郎	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	淡路 重助	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	淡路 重助	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	小松 重助	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	小松 重助	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	及川 孝松	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	及川 孝松	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	山田 西松	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	山田 西松	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	大橋 貞吉	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	小田島勇次郎	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	小田島勇次郎	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	齊藤 定吉	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	齊藤 定吉	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	山口 泰吉	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	山口 泰吉	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	大岡仁太郎	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	大岡仁太郎	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	松岡 利七	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	松岡 利七	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	湯澤喜代松	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	湯澤喜代松	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	藤島 多吉	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	藤島 多吉	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	今野 定助	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	今野 定助	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	佐々木榮治	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	佐々木榮治	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	島山孫四郎	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	島山孫四郎	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	松本 保藏	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	松本 保藏	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	小野 卯吉	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	小野 卯吉	宮城縣平民

陸軍歩兵一等卒	松島 常吉	秋田縣平民
陸軍歩兵一等卒	鳴海 虎助	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	丸山 仲藏	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	佐藤 彌市	秋田縣平民
陸軍歩兵一等卒	川又勝之助	秋田縣平民
陸軍歩兵一等卒	吉田 敬次	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	白岩 榮造	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	栗生深長吉	新潟縣平民
陸軍歩兵一等卒	葛西 與一	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	名生 寅治	宮城縣平民
陸軍歩兵一等卒	佐藤 甚三郎	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	菊地 吉藏	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	石塚 吉藏	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	鈴木伊右衛門	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	加賀谷豊治	秋田縣平民
陸軍歩兵一等卒	佐竹 春吉	宮城縣平民
陸軍歩兵一等卒	佐竹 春吉	宮城縣平民
陸軍歩兵一等卒	大津 廣吉	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	大津 廣吉	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	羽田喜三郎	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	羽田喜三郎	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	横川 金藏	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	横川 金藏	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	猪狩七之助	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	猪狩七之助	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	高木 謙吉	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	高木 謙吉	青森縣平民
陸軍歩兵一等卒	伊藤卯之吉	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	伊藤卯之吉	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	成澤 竹藏	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	成澤 竹藏	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	坂本圓次郎	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	坂本圓次郎	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	飯沼益代松	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	飯沼益代松	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	岩間卯之松	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	岩間卯之松	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	橋 金助	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	橋 金助	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	渡邊與太郎	山形縣平民
陸軍歩兵一等卒	渡邊與太郎	山形縣平民
陸軍騎兵一等卒	山田 安治	山形縣平民
陸軍騎兵一等卒	山田 安治	山形縣平民
陸軍騎兵一等卒	阿崎 清助	山形縣平民
陸軍騎兵一等卒	阿崎 清助	山形縣平民

陸軍砲兵一等卒	中山末太郎	新潟縣平民
陸軍砲兵一等卒	佐浦辰五郎	福島縣平民
陸軍砲兵一等卒	大垣 友藏	大坂府平民
陸軍砲兵一等卒	佐々木忠吉	秋田縣平民
陸軍砲兵一等卒	佐々木忠吉	秋田縣平民
陸軍砲兵一等卒	平林長次郎	福島縣平民
陸軍砲兵一等卒	阿部 彌助	福島縣平民
陸軍砲兵一等卒	阿部 彌助	福島縣平民
陸軍砲兵一等卒	高島 岩松	福島縣平民
陸軍砲兵一等卒	高島 岩松	福島縣平民
陸軍砲兵一等卒	中村文之助	秋田縣平民
陸軍砲兵一等卒	中村文之助	秋田縣平民
陸軍砲兵一等卒	渡邊 留吉	山形縣平民
陸軍砲兵一等卒	渡邊 留吉	山形縣平民
陸軍砲兵一等卒	小飛山鶴之助	宮城縣平民
陸軍砲兵一等卒	小飛山鶴之助	宮城縣平民
陸軍砲兵一等卒	渡部 辰藏	山形縣平民
陸軍砲兵一等卒	渡部 辰藏	山形縣平民
陸軍砲兵一等卒	武藤 久吉	秋田縣平民
陸軍砲兵一等卒	武藤 久吉	秋田縣平民
陸軍砲兵一等卒	川井金次郎	福島縣平民
陸軍砲兵一等卒	川井金次郎	福島縣平民
陸軍砲兵一等卒	阿部 健藏	山形縣平民
陸軍砲兵一等卒	阿部 健藏	山形縣平民
陸軍砲兵一等卒	平川芳太郎	山形縣平民
陸軍砲兵一等卒	平川芳太郎	山形縣平民
陸軍砲兵一等卒	佐藤 健藏	宮城縣平民
陸軍砲兵一等卒	佐藤 健藏	宮城縣平民
陸軍砲兵一等卒	安藤 仁藏	秋田縣平民
陸軍砲兵一等卒	安藤 仁藏	秋田縣平民
陸軍砲兵一等卒	加藤 喜平治	福島縣平民
陸軍砲兵一等卒	加藤 喜平治	福島縣平民
陸軍砲兵一等卒	齊藤 平治	福島縣平民
陸軍砲兵一等卒	齊藤 平治	福島縣平民
陸軍砲兵一等卒	藍原 貞吉	福島縣平民
陸軍砲兵一等卒	藍原 貞吉	福島縣平民
陸軍砲兵一等卒	中里圓之助	宮城縣平民
陸軍砲兵一等卒	中里圓之助	宮城縣平民
陸軍砲兵一等卒	高橋 貞助	宮城縣平民
陸軍砲兵一等卒	高橋 貞助	宮城縣平民
陸軍砲兵一等卒	高橋 貞助	宮城縣平民
陸軍砲兵一等卒	高橋 貞助	宮城縣平民
陸軍砲兵一等卒	藤田 清平	宮城縣平民
陸軍砲兵一等卒	藤田 清平	宮城縣平民
陸軍砲兵一等卒	藤田 清平	宮城縣平民
陸軍砲兵一等卒	藤田 清平	宮城縣平民
陸軍砲兵一等卒	志賀 龜吉	福島縣平民
陸軍砲兵一等卒	志賀 龜吉	福島縣平民
陸軍砲兵一等卒	波部 爲吉	福島縣平民
陸軍砲兵一等卒	波部 爲吉	福島縣平民
陸軍砲兵一等卒	宮城縣平民	宮城縣平民
陸軍砲兵一等卒	宮城縣平民	宮城縣平民

陸軍工兵一等卒	伊藤禮三郎	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	鈴木修左衛門	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	佐野 清助	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	阿部 富藏	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	阿部 富藏	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	長谷部徳治	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	長谷部徳治	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	野口五郎治	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	野口五郎治	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	佐藤 市伊	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	太田 藤市	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	小林治太郎	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	小倉 榮治	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	小倉 榮治	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	木村榮三郎	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	淡路 重助	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	淡路 重助	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	小松 重助	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	小松 重助	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	及川 孝松	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	及川 孝松	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	山田 西松	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	山田 西松	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	大橋 貞吉	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	小田島勇次郎	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	小田島勇次郎	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	齊藤 定吉	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	齊藤 定吉	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	山口 泰吉	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	山口 泰吉	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	大岡仁太郎	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	大岡仁太郎	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	松岡 利七	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	松岡 利七	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	湯澤喜代松	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	湯澤喜代松	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	藤島 多吉	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	藤島 多吉	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	今野 定助	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	今野 定助	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	佐々木榮治	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	佐々木榮治	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	島山孫四郎	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	島山孫四郎	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	松本 保藏	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	松本 保藏	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	小野 卯吉	宮城縣平民
陸軍工兵一等卒	小野 卯吉	宮城縣平民

陸軍步兵二等卒 高橋清左衛門 宮城縣平民
 陸軍步兵二等卒 清水 岩吉 新瀨縣平民
 陸軍步兵二等卒 菅野 廣 宮城縣平民
 陸軍步兵二等卒 岩松 豐藏 宮城縣平民
 陸軍步兵二等卒 岩橋德次郎 新瀨縣平民
 陸軍步兵二等卒 高橋 喜七 山形縣平民
 陸軍步兵二等卒 桑野 杉松 新瀨縣平民
 陸軍步兵二等卒 大沼 春治 新瀨縣平民
 陸軍步兵二等卒 鈴木興一郎 新瀨縣平民
 陸軍步兵二等卒 布谷 定吉 秋田縣平民
 陸軍步兵二等卒 中谷 三藏 新瀨縣平民
 陸軍步兵二等卒 佐藤政五郎 秋田縣平民
 陸軍步兵二等卒 梅谷今朝藏 福島縣平民
 陸軍步兵二等卒 太田 精藏 青森縣平民
 陸軍步兵二等卒 對馬千代吉 青森縣平民
 陸軍步兵二等卒 橋本 藤七 福島縣平民
 陸軍步兵二等卒 武林甚三郎 青森縣平民
 陸軍步兵二等卒 佐藤 太吉 宮城縣平民
 陸軍步兵二等卒 篠田真重作 新瀨縣平民
 陸軍步兵二等卒 中村金四郎 新瀨縣平民
 陸軍步兵二等卒 和田 三平 新瀨縣平民
 陸軍步兵二等卒 加藤興平治 新瀨縣平民
 陸軍步兵二等卒 谷川 竹治 青森縣平民
 陸軍步兵二等卒 今野今朝吉 慶手縣平民
 陸軍步兵二等卒 藤井 清松 宮城縣平民
 陸軍步兵二等卒 川瀨三三郎 新瀨縣平民
 陸軍步兵二等卒 葛西嘉四郎 青森縣平民
 陸軍步兵二等卒 小山內惣吉 青森縣平民
 陸軍步兵二等卒 小山內勲太郎 青森縣平民
 陸軍步兵二等卒 藤谷 久藏 秋田縣平民
 陸軍步兵二等卒 佐藤 作治 新瀨縣平民
 陸軍步兵二等卒 河邊元七郎 福島縣平民
 陸軍步兵二等卒 大日向茂助 秋田縣平民

陸軍輜重輸卒 佐々木高右衛門 慶手縣平民
 陸軍輜重輸卒 渡邊藤三郎 福島縣平民
 陸軍輜重輸卒 長南 金太 山形縣平民
 陸軍輜重輸卒 清水 金治 秋田縣平民
 陸軍輜重輸卒 吉村龍太郎 慶手縣平民
 陸軍輜重輸卒 大井重太郎 新瀨縣平民
 陸軍輜重輸卒 廣川房五郎 新瀨縣平民
 陸軍輜重輸卒 柳井 菊松 青森縣平民
 陸軍輜重輸卒 若井 菊松 新瀨縣平民
 陸軍輜重輸卒 市川 庄香 福島縣平民
 陸軍輜重輸卒 高橋 市藏 慶手縣平民
 陸軍輜重輸卒 川口駒太郎 秋田縣平民
 陸軍輜重輸卒 豐田留次郎 北海道平民
 陸軍輜重輸卒 伊藤玄四郎 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 八卷七兵衛 福島縣平民
 陸軍輜重輸卒 門間 清七 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 神賀 清七 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 王子清五郎 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 渡邊 發吉 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 大友 發作 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 丹野 又藏 福島縣平民
 陸軍輜重輸卒 渡邊 文吉 福島縣平民
 陸軍輜重輸卒 須口 文吉 福島縣平民
 陸軍輜重輸卒 山口 平作 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 阿曾 嘉藏 福島縣平民
 陸軍輜重輸卒 太田正之助 福島縣平民
 陸軍輜重輸卒 清野 惣吉 新瀨縣平民
 陸軍輜重輸卒 遠藤喜代吉 宮城縣平民

陸軍輜重輸卒 清水 三郎 青森縣平民
 陸軍輜重輸卒 齋藤 喜藏 新瀨縣平民
 陸軍輜重輸卒 三上九郎助 山形縣平民
 陸軍輜重輸卒 小田 佐次郎 慶手縣平民
 陸軍輜重輸卒 佐藤 巳之 青森縣平民
 陸軍輜重輸卒 川崎 忠藏 新瀨縣平民
 陸軍輜重輸卒 如井 玉吉 青森縣平民
 陸軍輜重輸卒 佐藤 秀三郎 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 佐藤 廣吉 福島縣平民
 陸軍輜重輸卒 廣谷 春治 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 村上三四郎 青森縣平民
 陸軍輜重輸卒 松崎 清造 秋田縣平民
 陸軍輜重輸卒 木村万之助 青森縣平民
 陸軍輜重輸卒 澤田 榮助 山形縣平民
 陸軍輜重輸卒 袴田 多喜衛 慶手縣平民
 陸軍輜重輸卒 加藤 利作 山形縣平民
 陸軍輜重輸卒 渡邊 佐吉 秋田縣平民
 陸軍輜重輸卒 上田喜太郎 山形縣平民
 陸軍輜重輸卒 五十嵐清松 新瀨縣平民
 陸軍輜重輸卒 五十嵐源七 山形縣平民
 陸軍輜重輸卒 石山 石松 新瀨縣平民
 陸軍輜重輸卒 池田 留次郎 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 齋藤 中丞 新瀨縣平民
 陸軍輜重輸卒 見留辨十郎 新瀨縣平民
 陸軍輜重輸卒 小正右衛門 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 小林寅治郎 新瀨縣平民
 陸軍輜重輸卒 森 三郎 秋田縣平民
 陸軍輜重輸卒 石田 兼吉 秋田縣平民
 陸軍輜重輸卒 大平 喜重 福島縣平民
 陸軍輜重輸卒 鈴木八五郎 秋田縣平民

陸軍輜重輸卒 山田 龜治 秋田縣平民
 陸軍輜重輸卒 川井 清吉 新瀨縣平民
 陸軍輜重輸卒 山崎 磯吉 新瀨縣平民
 陸軍輜重輸卒 若井 磯吉 新瀨縣平民
 陸軍輜重輸卒 本間治郎兵衛 山形縣平民
 陸軍輜重輸卒 稻川重次郎 新瀨縣平民
 陸軍輜重輸卒 佐竹忠次郎 山形縣平民
 陸軍輜重輸卒 奥山 民助 秋田縣平民
 陸軍輜重輸卒 伊藤 仁三郎 秋田縣平民
 陸軍輜重輸卒 伊藤 禮太 秋田縣平民
 陸軍輜重輸卒 野呂金次郎 青森縣平民
 陸軍輜重輸卒 須田 清作 青森縣平民
 陸軍輜重輸卒 磯野又四郎 青森縣平民
 陸軍輜重輸卒 齊藤 德治 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 工藤 甚助 青森縣平民
 陸軍輜重輸卒 松本初太郎 青森縣平民
 陸軍輜重輸卒 黒田 三郎 青森縣平民
 陸軍輜重輸卒 佐藤 駒吉 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 菊地久右衛門 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 高橋民次郎 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 吉田元治郎 福島縣平民
 陸軍輜重輸卒 小栗山卯之吉 福島縣平民
 陸軍輜重輸卒 近藤貞五郎 福島縣平民
 陸軍輜重輸卒 齊藤 勝彌 青森縣平民
 陸軍輜重輸卒 菅原 英記 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 小島源治郎 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 黒澤 祐治 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 今泉 祐治 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 夏目 信任 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 觀谷久三郎 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 青木 長市 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 小野寺道也 宮城縣平民
 陸軍輜重輸卒 磯田 房吉 兵庫縣平民

第三師團
 陸軍步兵中尉從六位 鶴岡 信一 千葉縣平民
 陸軍步兵中尉正八位 龜山都太郎 靜岡縣平民
 陸軍步兵少尉 齊藤 温 福井縣平民
 陸軍一等調劑正七位 柴田 武啓 愛知縣平民
 陸軍一等調劑正七位 松永 武啓 靜岡縣平民
 陸軍一等調劑正七位 上林庄九郎 愛知縣平民
 陸軍一等軍曹 中村爲太郎 石川縣平民
 陸軍一等軍曹 伊藤 駒吉 福井縣平民
 陸軍一等軍曹 森坂 丞榮 福井縣平民
 陸軍一等軍曹 齋藤 尹 石川縣平民
 陸軍一等軍曹 野中 梅藏 靜岡縣平民
 陸軍一等軍曹 佐武與之助 福井縣平民
 陸軍一等軍曹 永井鐵太郎 愛知縣平民
 陸軍一等軍曹 坂口 富藏 三重縣平民
 陸軍一等軍曹 田岡 楠吉 三重縣平民
 陸軍一等軍曹 小林玉太郎 愛知縣平民
 陸軍一等軍曹 山口仙次郎 愛知縣平民
 陸軍一等軍曹 廣松安太郎 石川縣平民
 陸軍一等軍曹 田村 金吾 三重縣平民
 陸軍一等軍曹 瀧田 龍藏 三重縣平民
 陸軍一等軍曹 杉本 敬吉 三重縣平民
 陸軍一等軍曹 岩間勝次郎 三重縣平民
 陸軍一等軍曹 大場 賢作 三重縣平民
 陸軍一等軍曹 岩田 末吉 岐阜縣平民
 陸軍步兵上等兵 高橋 末吉 岐阜縣平民

陸軍步兵上等兵 上ヶ平由之助 岐阜縣平民
 陸軍步兵上等兵 龍水 大什 富山縣平民
 陸軍步兵上等兵 村上 榮藏 福井縣平民
 陸軍步兵上等兵 石見 榮助 石川縣平民
 陸軍步兵上等兵 齊藤 春收 靜岡縣平民
 陸軍步兵上等兵 川島伊三郎 山形縣平民
 陸軍步兵上等兵 村松作十真 山形縣平民
 陸軍步兵上等兵 松井 林造 山形縣平民
 陸軍步兵上等兵 山口佐次郎 愛知縣平民
 陸軍步兵上等兵 鬼頭兼次郎 愛知縣平民
 陸軍步兵上等兵 服部宗太郎 三重縣平民
 陸軍步兵上等兵 長田巳之助 三重縣平民
 陸軍步兵上等兵 齋藤 岩吉 三重縣平民
 陸軍步兵上等兵 齋藤 定吉 三重縣平民
 陸軍步兵上等兵 清水源之助 愛知縣平民
 陸軍步兵上等兵 寺本彦太郎 愛知縣平民
 陸軍步兵上等兵 森河勝太郎 三重縣平民
 陸軍步兵上等兵 堀切 喜七 三重縣平民
 陸軍步兵上等兵 刑部忠次郎 靜岡縣平民
 陸軍步兵上等兵 吉野 慶治 靜岡縣平民
 陸軍步兵上等兵 平野辰五郎 靜岡縣平民
 陸軍步兵上等兵 上田太兵衛 石川縣平民
 陸軍步兵上等兵 大野清太郎 富山縣平民
 陸軍步兵上等兵 今井榮三郎 富山縣平民
 陸軍步兵上等兵 涌井喜三郎 石川縣平民
 陸軍步兵上等兵 喜綿綱三郎 石川縣平民
 陸軍步兵上等兵 糸山山太郎 富山縣平民
 陸軍步兵上等兵 金門與三郎 富山縣平民
 陸軍步兵一等卒 荒山太七郎 富山縣平民

陸軍歩兵一等卒	荒木岩次郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	高島清次郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	川井勝之助	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	岩見三太郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	高橋友作	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	長江長太郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	大村市五郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	落合金吉	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	大谷金吉	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	和野三郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	前川庄三郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	山口文吉	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	高橋竹次郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	吉岡吉五郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	吉川信次郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	石塚與吉	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	渡邊惣七	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	杉本梅吉	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	坪田外次郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	鈴木八郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	佐野伊之吉	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	栗田榮藏	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	野崎豊八	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	大島鶴太郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	向山丹藏	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	向井松次郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	荒井三郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	荒井三郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	高木忠藏	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	青木治郎	富山縣平民

陸軍歩兵一等卒	中越乙松	福井縣平民
陸軍歩兵一等卒	飯村片太郎	福井縣平民
陸軍歩兵一等卒	長屋忠兵衛	福井縣平民
陸軍歩兵一等卒	中島政次郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	谷口丈吉	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	原田惣次郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	小竹清助	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	廣瀬万作	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	園子彌吉	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	前田仁松	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	横山松太郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	河野丈太郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	高橋吉郎兵衛	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	井上佐太郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	高木善治郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	洞井榮治郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	山下三之助	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	服部千松	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	鈴木三太郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	松永次郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	横井徳三郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	柴田愛治郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	松本三太郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	山本三太郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	表津三郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	山本三太郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	小川久治郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	伊藤一太郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	鳴下淺次郎	富山縣平民
陸軍歩兵一等卒	浪上鐵三郎	富山縣平民

陸軍輜重兵一等卒	奥井辰次郎	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	正田松太郎	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	伊藤万治郎	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	笠井泰助	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	小川岩吉	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	後藤勇次郎	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	中川代三郎	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	鬼頭熊次郎	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	梶原勇次郎	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	貝谷謙次郎	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	伊藤重吉	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	柴田熊次郎	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	三田伊太郎	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	三田伊太郎	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	奥田十代次郎	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	屋敷米藏	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	竹田徳次郎	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	山崎庄太郎	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	近藤市太郎	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	田下孫三郎	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	野田百太郎	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	佐々木元應	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	中村豊吉	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	田中松次郎	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	加納金太郎	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	坂口友吉	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	中川實之助	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	志村勝太郎	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	坂本音吉	富山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	齋藤助五郎	富山縣平民

第四師團

陸軍工兵二等卒	小林精一郎	三重縣平民
陸軍工兵二等卒	瀧井音吉	三重縣平民
陸軍工兵二等卒	加藤春太郎	三重縣平民
陸軍輜重輪卒	間井千右衛門	三重縣平民
陸軍輜重輪卒	榎原吉藏	三重縣平民
陸軍輜重輪卒	空茂佐	三重縣平民
陸軍輜重輪卒	中村竹藏	三重縣平民
陸軍輜重輪卒	河村伊右衛門	三重縣平民
陸軍輜重輪卒	矢野松太郎	三重縣平民
陸軍輜重輪卒	飯田巳之吉	三重縣平民
陸軍輜重輪卒	鈴木幸吉	三重縣平民
陸軍輜重輪卒	酒井友吉	三重縣平民
陸軍輜重輪卒	藤田友吉	三重縣平民
陸軍輜重輪卒	大中山五郎	三重縣平民
陸軍輜重輪卒	重富菊次郎	三重縣平民
陸軍輜重輪卒	野崎欽次郎	三重縣平民
陸軍輜重輪卒	伊藤義一	三重縣平民
陸軍輜重輪卒	本多榮次郎	三重縣平民
陸軍輜重輪卒	伊藤友三郎	三重縣平民
陸軍輜重輪卒	平出鐵太郎	三重縣平民
陸軍輜重輪卒	立松半治郎	三重縣平民
陸軍輜重輪卒	崎山富三郎	三重縣平民
陸軍砲兵少佐	竹中經義	京都府士族
陸軍砲兵大尉	松浦文夫	兵庫縣平民
陸軍砲兵中尉	尾崎常人	兵庫縣平民
陸軍砲兵少尉	尾崎常人	兵庫縣平民
陸軍砲兵曹長	島野英策	山口縣平民
陸軍砲兵曹長	杉山不三郎	三重縣平民
陸軍砲兵曹長	高橋助藏	大阪府平民
陸軍砲兵一等軍曹	元武勇	廣島縣平民

陸軍歩兵一等卒	坂井段一郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	小泉音吉	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	濱田定一	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	中澤市次郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	松室重熙	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	久山信	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	井上利吉	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	岡本元治郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	岡本元治郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	山本力三郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	浦谷山三郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	富永嘉次郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	西村榮吉	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	久保善吉	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	川勝善吉	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	内田檢次郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	奥村徳藏	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	池邊喜市	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	前川常治郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	田中鹿次郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	久保植松	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	小西留藏	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	山口音吉	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	横田勝次郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	横田勝次郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	山本幾治	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	柏原和吉	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	塚田清市	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	安達松三郎	滋賀縣平民

陸軍歩兵上等兵	田村榮太郎	岡山縣平民
陸軍歩兵上等兵	石田順藏	兵庫縣平民
陸軍歩兵上等兵	伊勢清吉	兵庫縣平民
陸軍歩兵上等兵	船越清吉	兵庫縣平民
陸軍歩兵上等兵	日原八藏	兵庫縣平民
陸軍歩兵上等兵	辻松治良	兵庫縣平民
陸軍歩兵上等兵	別處善之助	兵庫縣平民
陸軍歩兵上等兵	川井常次郎	兵庫縣平民
陸軍歩兵上等兵	栗原幾太郎	兵庫縣平民
陸軍歩兵上等兵	中井治三郎	京都府平民
陸軍歩兵上等兵	道浦字之助	京都府平民
陸軍歩兵上等兵	林虎八郎	京都府平民
陸軍歩兵上等兵	大江鐵之助	京都府平民
陸軍歩兵上等兵	野々上三郎	岡山縣平民
陸軍歩兵上等兵	中澤岸藏	鳥取縣平民
陸軍歩兵上等兵	奥村真運	鳥取縣平民
陸軍歩兵上等兵	松室喜三郎	鳥取縣平民
陸軍歩兵上等兵	西澤保太郎	鳥取縣平民
陸軍歩兵上等兵	伊藤万次郎	兵庫縣平民
陸軍歩兵上等兵	島田淺次郎	兵庫縣平民
陸軍歩兵上等兵	松本政太郎	京都府平民
陸軍歩兵上等兵	柴田安藏	京都府平民
陸軍歩兵上等兵	名内喜興治	京都府平民
陸軍歩兵上等兵	北東幸之助	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	白妙總楠	和歌山縣平民
陸軍歩兵一等卒	堀内留吉	和歌山縣平民
陸軍歩兵一等卒	稻垣利吉	和歌山縣平民
陸軍歩兵一等卒	津村徳吉	和歌山縣平民
陸軍歩兵一等卒	榮尾定次郎	大阪府平民
陸軍歩兵一等卒	吉岡文藏	奈良縣平民
陸軍歩兵一等卒	仲音吉	奈良縣平民

陸軍歩兵一等卒	谷口富士松	和歌山縣平民
陸軍歩兵一等卒	山本熊吉	和歌山縣平民
陸軍歩兵一等卒	澤田喜太郎	大阪府平民
陸軍歩兵一等卒	藤野寅吉	和歌山縣平民
陸軍歩兵一等卒	西野梅太郎	大阪府平民
陸軍歩兵一等卒	仲野三郎	大阪府平民
陸軍歩兵一等卒	伯井幸吉	大阪府平民
陸軍歩兵一等卒	出島清太郎	和歌山縣平民
陸軍歩兵一等卒	岡本拾松	和歌山縣平民
陸軍歩兵一等卒	山仲利吉	奈良縣平民
陸軍歩兵一等卒	平井鹿藏	大阪府平民
陸軍歩兵一等卒	吉原徳太郎	和歌山縣士族
陸軍歩兵一等卒	小坂熊太郎	和歌山縣平民
陸軍歩兵一等卒	幾田幾之助	和歌山縣平民
陸軍歩兵一等卒	山本重太郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	津崎辰之助	奈良縣平民
陸軍歩兵一等卒	宇野治郎吉	京都府平民
陸軍歩兵一等卒	阪口吉松	京都府平民
陸軍歩兵一等卒	駒澤榮太郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	小島房治郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	石垣房治郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	吉川竹松	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	野村善七	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	田中興吉	京都府平民
陸軍歩兵一等卒	伊庭米次真	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	竹原國吉	京都府平民
陸軍歩兵一等卒	善利岩次郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	伏木清太郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	上田猶治	奈良縣平民
陸軍歩兵一等卒	西川十太郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	坪田源之助	滋賀縣平民

陸軍歩兵一等卒	井岡奈真石	奈良縣平民
陸軍歩兵一等卒	梅山竹二郎	三重縣平民
陸軍歩兵一等卒	三木房吉	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	大原鉄三郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	松澤鐵藏	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	西川爲吉	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	山口末治郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	淺田安之助	京都府平民
陸軍歩兵一等卒	佐々木藤吉	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	比澤兼松	三重縣平民
陸軍歩兵一等卒	谷傳藏	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	松本鐵二良	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	六條伊藏	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	竹内榮次郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	小和田三治郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	森本淺吉	奈良縣平民
陸軍歩兵一等卒	杉本岩吉	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	森田定吉	奈良縣平民
陸軍歩兵一等卒	安場貞次郎	三重縣平民
陸軍歩兵一等卒	田尾榮次郎	京都府平民
陸軍歩兵一等卒	竹村安治郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	楠浦權之助	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	安本仙之助	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	宮村太治良	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	松田善松	奈良縣平民
陸軍歩兵一等卒	波多野藤次郎	京都府平民
陸軍歩兵一等卒	中田留吉	奈良縣平民
陸軍歩兵一等卒	大橋米次郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	村上天太郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	井花長太郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	松本由之助	京都府平民
陸軍歩兵一等卒	田邊平吉	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	荻野藤三郎	京都府平民

陸軍工兵一等卒	吉田彌藏	奈良縣平民
陸軍工兵一等卒	迎野五三郎	滋賀縣平民
陸軍工兵一等卒	藤野佐太郎	滋賀縣平民
陸軍工兵一等卒	井上榮太郎	滋賀縣平民
陸軍工兵一等卒	藤中直市	和歌山縣士族
陸軍工兵一等卒	佐納小馬藏	大阪府平民
陸軍工兵一等卒	妻木安三郎	和歌山縣平民
陸軍工兵一等卒	根來安次郎	和歌山縣平民
陸軍工兵一等卒	中川淺吉	和歌山縣平民
陸軍工兵一等卒	小西角三郎	和歌山縣平民
陸軍工兵一等卒	木村市太郎	和歌山縣平民
陸軍工兵一等卒	宮島市松	滋賀縣平民
陸軍工兵一等卒	西尾文藏	滋賀縣平民
陸軍工兵一等卒	中村俊吉	滋賀縣平民
陸軍工兵一等卒	奧村兼藏	滋賀縣平民
陸軍工兵一等卒	竹村藤吉	滋賀縣平民
陸軍工兵一等卒	大倉菊治郎	奈良縣平民
陸軍工兵一等卒	梅本門造	奈良縣平民
陸軍工兵一等卒	小走音松	奈良縣平民
陸軍工兵一等卒	島中藤太郎	奈良縣平民
陸軍工兵一等卒	植田菊藏	奈良縣平民
陸軍工兵一等卒	山田喜助	京都府平民
陸軍工兵一等卒	山田元次郎	奈良縣平民
陸軍工兵一等卒	山田次郎	奈良縣平民
陸軍工兵一等卒	堀口市松	京都府平民
陸軍工兵一等卒	岩井音松	奈良縣平民
陸軍工兵一等卒	清水榮三郎	奈良縣平民
陸軍工兵一等卒	井上捨吉	奈良縣平民
陸軍工兵一等卒	福井直藏	京都府平民
陸軍工兵一等卒	乙吉	滋賀縣平民

陸軍歩兵一等卒	森脇重吉	兵庫縣平民
陸軍歩兵一等卒	藤原徳吉	兵庫縣平民
陸軍歩兵一等卒	齋内辰吉	京都府平民
陸軍歩兵一等卒	杉森和三郎	京都府平民
陸軍歩兵一等卒	大塚重太郎	大阪府平民
陸軍歩兵一等卒	森川牛藏	京都府平民
陸軍歩兵一等卒	坂上市太郎	兵庫縣平民
陸軍歩兵一等卒	長谷川藤吉	兵庫縣平民
陸軍歩兵一等卒	小倉五平治	大阪府平民
陸軍歩兵一等卒	久賀田兼藏	兵庫縣平民
陸軍歩兵一等卒	山下政吉	兵庫縣平民
陸軍歩兵一等卒	美野部末吉	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	宮本九郎兵衛	京都府平民
陸軍歩兵一等卒	浅上鶴松	大阪府平民
陸軍歩兵一等卒	中井芳太郎	大阪府平民
陸軍歩兵一等卒	植田太吉	奈良縣平民
陸軍歩兵一等卒	植田甚藏	大阪府平民
陸軍歩兵一等卒	中村猶次郎	奈良縣平民
陸軍歩兵一等卒	中野音吉	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	上野市松	大阪府平民
陸軍歩兵一等卒	森常吉	京都府平民
陸軍歩兵一等卒	天浦寅吉	和歌山縣平民
陸軍歩兵一等卒	藤原和吉	大阪府平民
陸軍歩兵一等卒	小西鶴松	奈良縣平民
陸軍歩兵一等卒	西川勇藏	大阪府平民
陸軍歩兵一等卒	山原岩吉	奈良縣平民
陸軍歩兵一等卒	岡田辰吉	奈良縣平民
陸軍歩兵一等卒	谷野小市	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	茂野吉太郎	大阪府平民
陸軍歩兵一等卒	石田長三郎	和歌山縣平民
陸軍歩兵一等卒	上田岩吉	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	上田末吉	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	乾末吉	奈良縣平民

陸軍歩兵一等卒	奥田乙治	三重縣平民
陸軍歩兵一等卒	山本仙太郎	京都府平民
陸軍歩兵一等卒	南鹿藏	大阪府平民
陸軍歩兵一等卒	中野幾藏	兵庫縣平民
陸軍歩兵一等卒	萩原廣吉	奈良縣平民
陸軍歩兵一等卒	金守龜吉	奈良縣平民
陸軍歩兵一等卒	稻森源五郎	三重縣平民
陸軍歩兵一等卒	片山米吉	大阪府平民
陸軍歩兵一等卒	山木伊之藏	和歌山縣平民
陸軍歩兵一等卒	西村熊太郎	和歌山縣平民
陸軍歩兵一等卒	上田淺治郎	大阪府平民
陸軍歩兵一等卒	長田長吉	和歌山縣平民
陸軍歩兵一等卒	平井石松	和歌山縣平民
陸軍歩兵一等卒	富澤八九郎	和歌山縣平民
陸軍歩兵一等卒	野口爲太郎	和歌山縣平民
陸軍歩兵一等卒	上原清藏	和歌山縣平民
陸軍歩兵一等卒	和多田吉松	福井縣平民
陸軍歩兵一等卒	原田唯市	大阪府平民
陸軍歩兵一等卒	東田五郎藏	兵庫縣平民
陸軍歩兵一等卒	松本増太郎	奈良縣平民
陸軍歩兵一等卒	藤山兵吉	大阪府平民
陸軍歩兵一等卒	藤山徳松	和歌山縣平民
陸軍歩兵一等卒	大前君藏	和歌山縣平民
陸軍歩兵一等卒	倉橋政藏	奈良縣平民
陸軍歩兵一等卒	大橋政藏	奈良縣平民
陸軍歩兵一等卒	吉村伊三郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	平岡元治郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	田川元治郎	滋賀縣平民
陸軍歩兵一等卒	尾田音治郎	奈良縣平民

陸軍工兵一等卒	吉田彌藏	奈良縣平民
陸軍工兵一等卒	迎野五三郎	滋賀縣平民
陸軍工兵一等卒	藤野佐太郎	滋賀縣平民
陸軍工兵一等卒	井上榮太郎	滋賀縣平民
陸軍工兵一等卒	藤中直市	和歌山縣士族
陸軍工兵一等卒	佐納小馬藏	大阪府平民
陸軍工兵一等卒	妻木安三郎	和歌山縣平民
陸軍工兵一等卒	根來安次郎	和歌山縣平民
陸軍工兵一等卒	中川淺吉	和歌山縣平民
陸軍工兵一等卒	小西角三郎	和歌山縣平民
陸軍工兵一等卒	木村市太郎	和歌山縣平民
陸軍工兵一等卒	宮島市松	滋賀縣平民
陸軍工兵一等卒	西尾文藏	滋賀縣平民
陸軍工兵一等卒	中村俊吉	滋賀縣平民
陸軍工兵一等卒	奧村兼藏	滋賀縣平民
陸軍工兵一等卒	竹村藤吉	滋賀縣平民
陸軍工兵一等卒	大倉菊治郎	奈良縣平民
陸軍工兵一等卒	梅本門造	奈良縣平民
陸軍工兵一等卒	小走音松	奈良縣平民
陸軍工兵一等卒	島中藤太郎	奈良縣平民
陸軍工兵一等卒	植田菊藏	奈良縣平民
陸軍工兵一等卒	山田喜助	京都府平民
陸軍工兵一等卒	山田元次郎	奈良縣平民
陸軍工兵一等卒	山田次郎	奈良縣平民
陸軍工兵一等卒	堀口市松	京都府平民
陸軍工兵一等卒	岩井音松	奈良縣平民
陸軍工兵一等卒	清水榮三郎	奈良縣平民
陸軍工兵一等卒	井上捨吉	奈良縣平民
陸軍工兵一等卒	福井直藏	京都府平民
陸軍工兵一等卒	乙吉	滋賀縣平民

陸軍步兵二等卒	山本清九郎	滋賀縣平民
陸軍步兵二等卒	吉田榮次郎	京都府平民
陸軍步兵二等卒	藤村留造	奈良縣平民
陸軍步兵二等卒	小谷友治郎	京都府平民
陸軍步兵二等卒	伊東榮之助	京都府平民
陸軍步兵二等卒	石田嘉市	京都府平民
陸軍步兵二等卒	山本鐵太郎	兵庫縣平民
陸軍步兵二等卒	西尾富藏	兵庫縣平民
陸軍步兵二等卒	宗和岩吉	兵庫縣平民
陸軍步兵二等卒	廣田重太郎	兵庫縣平民
陸軍步兵二等卒	村上勝藏	京都府平民
陸軍步兵二等卒	山盛芳造	京都府平民
陸軍步兵二等卒	林力松	滋賀縣平民
陸軍步兵二等卒	水木丑松	大阪府平民
陸軍步兵二等卒	岩本重吉	和歌山縣平民
陸軍步兵二等卒	大久保卯之助	和歌山縣平民
陸軍步兵二等卒	三池慈吉	京都府平民
陸軍步兵二等卒	高田常吉	京都府平民
陸軍步兵二等卒	古川音吉	京都府平民
陸軍步兵二等卒	西田末治郎	滋賀縣平民
陸軍步兵二等卒	堂坂富吉	大阪府平民
陸軍步兵二等卒	福居勇藏	京都府平民
陸軍步兵二等卒	倉井吟哉	兵庫縣平民
陸軍步兵二等卒	北村常松	兵庫縣平民
陸軍砲兵二等卒	植田重太郎	兵庫縣平民
陸軍輜重兵二等卒	廣田助松	滋賀縣平民
陸軍輜重兵二等卒	堀居留治郎	滋賀縣平民
陸軍輜重兵二等卒	富田梅吉	滋賀縣平民
陸軍輜重兵二等卒	細江巳之助	滋賀縣平民
陸軍輜重兵二等卒	碓方次郎	和歌山縣平民
陸軍輜重兵二等卒	北村鶴吉	滋賀縣平民
陸軍輜重兵二等卒	北村鶴吉	滋賀縣平民

第五師團

陸軍輜重兵一等卒	宮本豐吉	香川縣平民
陸軍輜重兵一等卒	河田村吉	香川縣平民
陸軍輜重兵一等卒	原喜太郎	香川縣平民
陸軍輜重兵一等卒	吉田治郎吉	香川縣平民
陸軍輜重兵一等卒	野本大三郎	高知縣平民
陸軍輜重兵一等卒	岡崎忠太郎	愛媛縣平民
陸軍輜重兵一等卒	尾崎長太郎	高知縣平民
陸軍輜重兵一等卒	山下介吉	愛媛縣平民
陸軍輜重兵一等卒	武内政平	高知縣平民
陸軍輜重兵一等卒	松田伊勢松	愛媛縣平民
陸軍輜重兵一等卒	西内長太郎	高知縣平民
陸軍輜重兵一等卒	阪本勇之助	高知縣平民
陸軍輜重兵一等卒	村山繁太郎	愛媛縣平民
陸軍輜重兵一等卒	稻見常平	高知縣平民
陸軍輜重兵一等卒	中山繁太郎	高知縣平民
陸軍輜重兵一等卒	龜井與太郎	高知縣平民
陸軍輜重兵一等卒	林常次郎	愛媛縣平民
陸軍輜重兵一等卒	利岡馬之助	高知縣平民
陸軍輜重兵一等卒	谷脇安太郎	高知縣平民
陸軍輜重兵一等卒	林麻太郎	高知縣平民
陸軍輜重兵一等卒	德田與左衛門	高知縣平民
陸軍輜重兵一等卒	沖田久松	高知縣平民
陸軍輜重兵一等卒	桑田善助	高知縣平民
陸軍輜重兵一等卒	曾田愛之助	高知縣平民
陸軍輜重兵一等卒	野村林松	高知縣平民
陸軍輜重兵一等卒	豐田七藏	高知縣平民
陸軍輜重兵一等卒	黒川惣次郎	高知縣平民
陸軍輜重兵一等卒	高坂新平	高知縣平民
陸軍輜重兵一等卒	高松又兵衛	高知縣平民
陸軍輜重兵一等卒	石野源太郎	高知縣平民
陸軍輜重兵一等卒	斧田鶴太郎	高知縣平民
陸軍輜重兵一等卒	橋本六郎	高知縣平民

陸軍一等看護長勳八等	倉増真藏	廣島縣平民
陸軍一等看護長勳八等	宇野鶴藏	廣島縣平民
陸軍一等看護長勳八等	梅田卯市	山口縣平民
陸軍一等看護長勳八等	井上楠太	高知縣平民
陸軍一等看護長勳八等	小林常吉	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	打樋和吉	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	大村善太郎	高知縣平民
陸軍一等看護長勳八等	野村德次	高知縣平民
陸軍一等看護長勳八等	宮永伊作	愛媛縣平民
陸軍一等看護長勳八等	末富猶太郎	山口縣平民
陸軍一等看護長勳八等	明賀定吉	山口縣平民
陸軍一等看護長勳八等	田中利三郎	山口縣平民
陸軍一等看護長勳八等	國弘多吉	山口縣平民
陸軍一等看護長勳八等	山本宅次郎	山口縣平民
陸軍一等看護長勳八等	都築富治郎	山口縣平民
陸軍一等看護長勳八等	山本先三郎	山口縣平民
陸軍一等看護長勳八等	山下利藏	山口縣平民
陸軍一等看護長勳八等	明石勘一	山口縣平民
陸軍一等看護長勳八等	濱口梅吉	高知縣平民
陸軍一等看護長勳八等	岡林金之助	高知縣平民
陸軍一等看護長勳八等	金平次太郎	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	村上好之助	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	片岡春吉	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	山本秀助	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	住谷吉太郎	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	西岡十三	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	平尾寅次郎	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	神田浦三郎	山口縣平民
陸軍一等看護長勳八等	北岡松次郎	愛媛縣平民
陸軍一等看護長勳八等	藤原虎八	山口縣平民
陸軍一等看護長勳八等	國弘作太郎	山口縣平民

陸軍步兵一等卒	栗栖德三郎	廣島縣平民
陸軍步兵一等卒	山次左衛門	山口縣平民
陸軍步兵一等卒	藤中金雄	山口縣平民
陸軍步兵一等卒	枝木寅七郎	廣島縣平民
陸軍步兵一等卒	川立秀吉	廣島縣平民
陸軍步兵一等卒	月谷春次郎	廣島縣平民
陸軍步兵一等卒	沖政政吉	廣島縣平民
陸軍步兵一等卒	藤津忠右衛門	山口縣平民
陸軍步兵一等卒	幸坂卯作	山口縣平民
陸軍步兵一等卒	坂田作次郎	山口縣平民
陸軍步兵一等卒	西本好太郎	廣島縣平民
陸軍步兵一等卒	今田龜太郎	廣島縣平民
陸軍步兵一等卒	三田千代藏	廣島縣平民
陸軍步兵一等卒	堀川清一郎	廣島縣平民
陸軍步兵一等卒	水成富太郎	廣島縣平民
陸軍步兵一等卒	石原宇之助	廣島縣平民
陸軍步兵一等卒	中村熊治郎	廣島縣平民
陸軍步兵一等卒	太田常太	岡山縣平民
陸軍步兵一等卒	久崎元八	岡山縣平民
陸軍步兵一等卒	兒玉熊太郎	岡山縣平民
陸軍步兵一等卒	森久又市	岡山縣平民
陸軍步兵一等卒	平石鹿三郎	岡山縣平民
陸軍步兵一等卒	土居八百次	岡山縣平民
陸軍步兵一等卒	藤本又七	岡山縣平民
陸軍步兵一等卒	北島營二	岡山縣平民
陸軍步兵一等卒	香川八郎	岡山縣平民
陸軍步兵一等卒	福岡増治	岡山縣平民
陸軍步兵一等卒	佐野常吉	岡山縣平民
陸軍步兵一等卒	古田伊勢松	岡山縣平民
陸軍步兵一等卒	齊藤幸三	岡山縣平民
陸軍步兵一等卒	有井藤吉	岡山縣平民
陸軍步兵一等卒	丸玉米吉	岡山縣平民
陸軍步兵一等卒	山本與吉	岡山縣平民

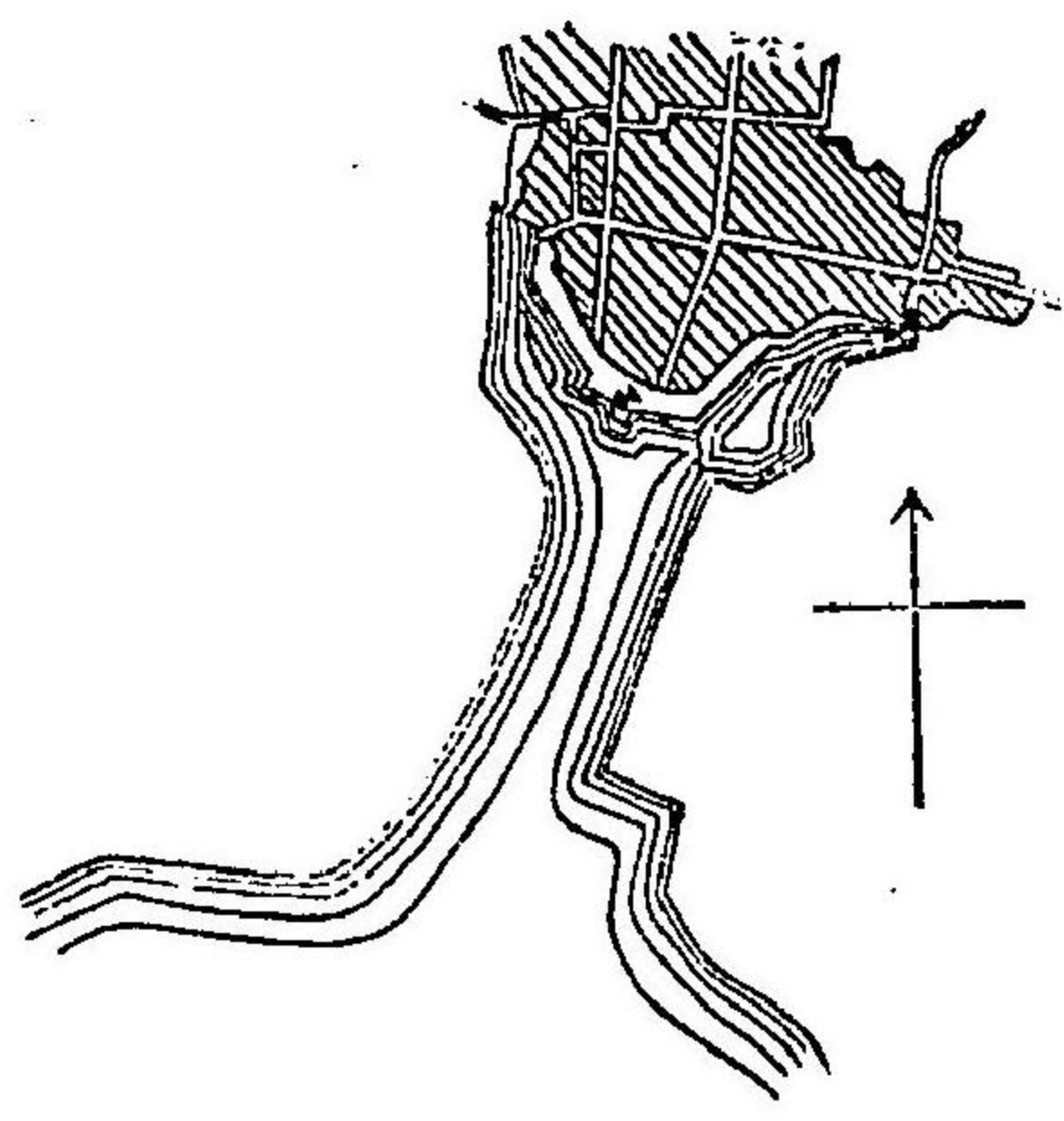
陸軍省第十二號

陸軍步兵一等卒	宮本豐吉	香川縣平民
陸軍步兵一等卒	河田村吉	香川縣平民
陸軍步兵一等卒	原喜太郎	香川縣平民
陸軍步兵一等卒	吉田治郎吉	香川縣平民
陸軍步兵一等卒	野本大三郎	高知縣平民
陸軍步兵一等卒	岡崎忠太郎	愛媛縣平民
陸軍步兵一等卒	尾崎長太郎	高知縣平民
陸軍步兵一等卒	山下介吉	愛媛縣平民
陸軍步兵一等卒	武内政平	高知縣平民
陸軍步兵一等卒	松田伊勢松	愛媛縣平民
陸軍步兵一等卒	西内長太郎	高知縣平民
陸軍步兵一等卒	阪本勇之助	高知縣平民
陸軍步兵一等卒	村山繁太郎	愛媛縣平民
陸軍步兵一等卒	稻見常平	高知縣平民
陸軍步兵一等卒	中山繁太郎	高知縣平民
陸軍步兵一等卒	龜井與太郎	高知縣平民
陸軍步兵一等卒	林常次郎	愛媛縣平民
陸軍步兵一等卒	利岡馬之助	高知縣平民
陸軍步兵一等卒	谷脇安太郎	高知縣平民
陸軍步兵一等卒	林麻太郎	高知縣平民
陸軍步兵一等卒	德田與左衛門	高知縣平民
陸軍步兵一等卒	沖田久松	高知縣平民
陸軍步兵一等卒	桑田善助	高知縣平民
陸軍步兵一等卒	曾田愛之助	高知縣平民
陸軍步兵一等卒	野村林松	高知縣平民
陸軍步兵一等卒	豐田七藏	高知縣平民
陸軍步兵一等卒	黒川惣次郎	高知縣平民
陸軍步兵一等卒	高坂新平	高知縣平民
陸軍步兵一等卒	高松又兵衛	高知縣平民
陸軍步兵一等卒	石野源太郎	高知縣平民
陸軍步兵一等卒	斧田鶴太郎	高知縣平民
陸軍步兵一等卒	橋本六郎	高知縣平民

陸軍一等看護長勳八等	山本行藏	山口縣平民
陸軍一等看護長勳八等	藤原富太郎	廣島縣平民
陸軍一等看護長勳八等	佐藤幸助	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	原兼一郎	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	桑原次郎	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	田淵茂平	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	甘崎松吉	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	岡崎三郎	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	宮田三治	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	鹽津龍吉	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	岡田三郎	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	阪本龍吉	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	松井良次	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	久米真藏	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	土岡嘉藏	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	湯淺彦八	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	湯淺三郎	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	西谷芳太郎	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	出米次郎	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	樽本寅市	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	松岡照太郎	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	樽本寅市	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	出米次郎	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	高木仲藏	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	野口和吉	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	福島喜三郎	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	近藤元太郎	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	合田今治	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	大田永吉	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	高畑永吉	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	山田惣助	岡山縣平民
陸軍一等看護長勳八等	野田惣助	岡山縣平民

陸軍歩兵一等卒 糸瀨 久治 長崎縣平民	陸軍歩兵一等卒 山原 鶴治 長崎縣平民	陸軍歩兵一等卒 大浦時一郎 長崎縣士族	陸軍歩兵一等卒 小島 梅治 長崎縣平民	陸軍歩兵一等卒 豐田 友壽 長崎縣士族	陸軍歩兵一等卒 黒岩安之助 長崎縣平民	陸軍歩兵一等卒 阿比留吉助 長崎縣平民	陸軍歩兵一等卒 小島榮之助 長崎縣平民	陸軍歩兵一等卒 梅野 一 長崎縣平民	陸軍歩兵一等卒 久田市次郎 長崎縣士族	陸軍歩兵一等卒 熊本松右衛門 長崎縣平民	陸軍歩兵一等卒 熊本左衛門 長崎縣平民	陸軍歩兵一等卒 平間那次郎 長崎縣平民	陸軍歩兵一等卒 八島重太郎 長崎縣平民	陸軍歩兵一等卒 須川 忠吉 長崎縣平民	陸軍歩兵一等卒 早田甚太郎 長崎縣平民	陸軍歩兵一等卒 山縣仙太郎 山口縣平民	陸軍歩兵一等卒 大山徳次郎 佐賀縣平民	陸軍歩兵一等卒 濱 次三郎 福岡縣平民	陸軍歩兵一等卒 合庭卯之吉 福岡縣平民	陸軍歩兵一等卒 松田卯之吉 福岡縣平民	陸軍歩兵一等卒 千々和淺吉 福岡縣平民	陸軍歩兵一等卒 松本 季吉 福岡縣平民	陸軍歩兵一等卒 中野 留吉 福岡縣平民	陸軍歩兵一等卒 畑 龍吉 福岡縣平民	陸軍歩兵一等卒 岡 長太郎 福岡縣平民	陸軍歩兵一等卒 野上文太郎 福岡縣平民	陸軍歩兵一等卒 木下勘三郎 福岡縣平民	陸軍歩兵一等卒 杉山 權平 佐賀縣平民
陸軍歩兵一等卒 中村松太夫 佐賀縣平民	陸軍歩兵一等卒 橋口 和藏 長崎縣平民	陸軍歩兵一等卒 本多 清市 大分縣平民	陸軍工兵一等卒 立川 藤吉 熊本縣平民	陸軍工兵一等卒 藤田初太郎 福岡縣平民	陸軍工兵一等卒 千原 岩吉 大分縣平民	陸軍工兵一等卒 西山 米次 熊本縣平民	陸軍工兵一等卒 小野茂太郎 大分縣平民	陸軍輜重兵一等卒 久留早次郎 鹿兒島縣平民	陸軍歩兵二等卒 齊藤代太郎 熊本縣平民	陸軍歩兵二等卒 武田嘉太郎 宮崎縣平民	陸軍歩兵二等卒 高山 盛藏 鹿兒島縣士族	陸軍歩兵二等卒 武 安信 鹿兒島縣平民	陸軍歩兵二等卒 大徳次郎平 熊本縣平民	陸軍歩兵二等卒 柏 嘉明 鹿兒島縣平民	陸軍歩兵二等卒 元井精次郎 鹿兒島縣平民	陸軍歩兵二等卒 偶 常良 鹿兒島縣平民	陸軍歩兵二等卒 西村 又市 佐賀縣平民	陸軍歩兵二等卒 鹿兒島鶴次 長崎縣平民	陸軍歩兵二等卒 巽田順三郎 長崎縣平民	陸軍歩兵二等卒 熊本 長吉 長崎縣平民	陸軍歩兵二等卒 川本文次郎 長崎縣士族	陸軍歩兵二等卒 多田庄次郎 長崎縣平民	陸軍歩兵二等卒 日高 與吉 長崎縣平民	陸軍歩兵二等卒 永留 市助 長崎縣士族	陸軍歩兵二等卒 江口長次郎 長崎縣平民	陸軍歩兵二等卒 諫山 久吉 福岡縣平民	陸軍歩兵二等卒 村田丑太郎 福岡縣平民	陸軍歩兵二等卒 山本 元吉 福岡縣士族
陸軍歩兵二等卒 古川 久三 長崎縣平民	陸軍工兵二等卒 藤田 梅治 宮崎縣平民	陸軍工兵二等卒 萩原 清助 鹿兒島縣士族	陸軍輜重輪卒 田代 申八 熊本縣平民	陸軍輜重輪卒 平野惣次郎 熊本縣平民	陸軍輜重輪卒 政次茂次郎 福岡縣平民	陸軍輜重輪卒 峰松七太夫 佐賀縣平民	陸軍輜重輪卒 森 伊勢吉 長崎縣平民	陸軍輜重輪卒 大平三太郎 鹿兒島縣平民	陸軍輜重輪卒 森 熊太郎 鹿兒島縣平民	陸軍輜重輪卒 崎村 末熊 熊本縣平民	陸軍輜重輪卒 田上 末喜 熊本縣平民	陸軍輜重輪卒 吉竹 國吉 福岡縣平民	陸軍輜重輪卒 福島忠九郎 熊本縣平民	陸軍輜重輪卒 宮崎忠太郎 熊本縣平民	陸軍輜重輪卒 田畑 吉圓 鹿兒島縣平民	陸軍輜重輪卒 宮田喜太郎 熊本縣平民	陸軍輜重輪卒 重 鏡治 佐賀縣平民	陸軍輜重輪卒 岡崎 梅吉 福岡縣平民	陸軍輜重輪卒 坂上傳右衛門 鹿兒島縣平民	陸軍輜重輪卒 高崎一太郎 熊本縣平民	陸軍輜重輪卒 濱方 友次 宮崎縣平民	陸軍省雇員 赤星 衛吾 熊本縣士族	陸軍省病人 河久保傳三郎 熊本縣士族	陸軍省病人 山崎榮次郎 茨城縣平民	臨時第七師團 陸軍屯田歩兵二等卒 原田 甚藏 北海道士族	陸軍輜重輪卒 柴田 仁作 山形縣平民		

○文部省告示第五十三號
 愛知縣管下愛知郡熱田町ニ建設ノ警報信號標ヲ本年八月十五日同町大字神戸^{即チ左ノ圖中ニ移轉セリ}ニ移轉
 明治三十一年九月三十日
 文部大臣尾崎行雄



○遞信省告示第二百六十號
 來十月一日ヨリ攝津國大阪市大阪内平野町郵便受取所ヲ同國同市北區天神橋筋三町目ニ移轉シ大
 阪天神橋筋郵便受取所ト改稱ス
 明治三十一年九月三十日
 遞信大臣林 有造

○内務省告示第九十九號

明治二十八年勅令第四十四號第八條ニ依リ福井縣ニ臨時檢疫部開設ヲ指定ス

明治三十一年十月一日

内務大臣伯爵板垣退助

○内務省告示第百號

Skladnowsky's Lebende
Photographien.
Liebes-Lust und Leid.

一册

右外國ニ於テ發行シタル出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ出版法第二十條ニ依リ自今
内國ニ於ケル發賣頒布ヲ禁止シ其ノ印本ヲ差押フヘキ旨達セリ

明治三十一年十月一日

内務大臣伯爵板垣退助

○文部省告示第五十四號

明治二十八年文部省告示第五號札幌農學校ノ資金ニ屬スル北海道土地貸下規程左ノ通改正ス

明治三十一年十月一日

文部大臣尾崎行雄

札幌農學校ノ資金ニ屬スル北海道土地貸下規程

第一條 札幌農學校ノ資金ニ屬スル北海道ノ土地ハ此規程ニ依リ貸下クルモノトス

第二條 隨意契約ヲ以テ貸下クヘキ土地ノ面積ハ左ノ如シ但競争契約ヲ以テ特ニ制限外ノ地積ヲ

貸下クルコトアルヘシ

一 宅地ハ一人ニ付四百五坪以内

二 耕地及未開地ハ一人ニ付三萬坪以内

第三條 前條ノ土地貸下年限ハ左ノ如シ

一 宅地及耕地ハ十二箇年以内

二 未開地ハ十八箇年以内

明治三十一年十月 告示

内務省第九十九號

第百號

文部省第五十四號 札幌農學校ノ資金ニ屬スル北海道土地貸下規程

前項ノ年限満期ノ後引續キ貸下ヲ受ケントスル者ハ更ニ契約ヲ爲スコトアルヘシ
第四條 隨意契約ヲ以テ土地ノ貸下ヲ受ケント欲スル者ハ第一號書式ニ依リ其地名地坪及所用ノ
目的等ヲ詳記シタル願書ニ戸籍吏ノ證明シタル戸籍謄本ヲ添ヘ札幌農學校ニ出願スヘシ但府縣
知事ノ移住證明書ヲ以テ戸籍謄本ニ代用スルコトヲ得

第五條 札幌農學校長ニ於テ貸下出願者ノ目的確實ナリト認メタルトキハ宅地及耕地ハ第六號書
式未開地ハ第七號書式ニ依リ貸借ノ契約ヲ爲スヘシ

第六條 第十九條ニ依リ契約ヲ解除セラレタル者ハ再ヒ貸下ヲ受ケルコトヲ得ス

第七條 宅地及耕地ノ貸下料ハ土地ノ肥瘠便否ニ依リ左ノ範圍内ニ於テ契約シ滿四箇年毎ニ更正
スルモノトス

一 宅地ハ一箇月一坪ニ付金一厘以上五錢以内

二 耕地ハ一箇年三百坪ニ付金二十錢以上二圓五十錢以内

第八條 未開地ハ成功後五箇年目ヨリ貸下料ヲ徵收スルモノトス但成功後四年ニ滿タサル耕地及
一年以上荒廢ニ歸シタル耕地ヲ貸下クルトキ若クハ開墾ノ難易ニ依リテ貸下料徵收期限ヲ伸縮
スルコトアルヘシ

第九條 排水溝、用水路、畦畔等ニ供シタル地積又ハ薪炭用地及風防林地ノ貸下料ハ之ヲ免除スル
コトアルヘシ

第十條 未開地ノ開墾成功年限ハ左ノ如シ

一 草原地

一萬五千坪未満

一萬五千坪以上三萬坪以下

四箇年以内

五箇年以内

二 樹林地

一萬五千坪未満

一萬五千坪以上三萬坪以下

五箇年以内

六箇年以内

第十一條 借受人ハ開墾ヲ目的トスル土地ニ於テ風防、風致又ハ薪炭用トシテ其地積ノ十分ノ一
以內ヲ原形ノ儘存置スルコトヲ得

第十二條 土地ノ形狀及地目變換ノ出願者ニ對シテハ實地ヲ調査シ其性質難易等ニ依リ舊地ノ貸
下料据置年限ヲ伸縮スルコトアルヘシ但變換地ノ貸下料ハ成功ノ後之ヲ定ムルモノトス

第十三條 借地人ハ札幌農學校長ノ許可ヲ得ルニアラサレハ借地ヲ轉貸スルコトヲ得ス

第十四條 建家又ハ庭園等ノ敷地ニ供シタル地積ハ成功地ニ編入計算スルモノトス

第十五條 貸借契約ヲ締結シタルトキハ三十日以内ニ土地ノ引渡ヲ爲スモノトス

第十六條 借地人ハ札幌農學校長ノ許可ヲ得ルニアラサレハ借地ヲ目的外ニ使用シ又ハ其原形ヲ
變更スルコトヲ得ス

第十七條 未開地ハ毎年開墾配當坪數ヲ検査スルモノトス若シ其年配當ノ地積成功セサルモノア
ルトキハ成功地ヲ除キ其他ハ總テ返地セシムヘシ但天災又ハ避クヘカラサル事故ニ依リ成功ス
ルコト能ハサルトキハ其狀況ヲ審査シ特ニ猶豫ヲ與フルコトアルヘシ

第十八條 官用又ハ公共ノ用ニ供スル必要ヲ生シタルトキハ貸下期限中ノ土地ト雖豫メ期限ヲ定
メテ返還セシムヘシ此場合ニ於テ借地人ノ被リタル直接ノ損害ハ官用ニ供スル爲メナルトキハ
其官廳ニ於テ辨償シ公共ノ用ニ供スル爲メナルトキハ札幌農學校ニ於テ起業者ヨリ辨償金ヲ徵
收シテ交付スヘシ但借地人ハ交付金額ニ對シテ札幌農學校ニ異議ヲ申出ルコトヲ得ス

第十九條 左ニ掲グル各號ノ一ニ該當スル借地人ニ對シテハ札幌農學校ハ其貸借契約ヲ解除スル

コトアルヘシ

一 契約ノ條項ニ違背シタル者

二 貸下地ヲ荒廢ニ歸セシメタル者

三 貸下料ヲ怠納シタル者

第二十條 契約解除ノ際未納ニ係ル貸下料アルトキハ一時ニ之ヲ完納セシムルモノトス

第二十一條 左ノ場合ニ於テ既設物件アルトキハ所有主ハ六十日以内ニ除去スヘシ若シ其期限内ニ除去セサルトキハ札幌農學校ニ於テ之ヲ公賣シ其費用ヲ引去リ殘金ハ所有主ニ還付シ不足アルトキハ之ヲ辨償セシムヘシ

一 自己ノ便宜又ハ第十七條ニ依リ返地シタルトキ

二 第十九條ニ依リ契約ヲ解除シタルトキ

第二十二條 前條ノ場合ニ於テ伐採シタル樹木アルトキハ其相當代價ヲ借地人ヨリ辨償セシムルモノトス

第二十三條 土地貸下年限満期ノ後引續キ貸下ヲ受ケント欲スル者ハ第二號書式ニ依リ契約満期一箇月前ニ戸籍謄本ヲ添ヘ札幌農學校ニ出願スヘシ

第二十四條 借地人不得止事故ノ爲メ契約年限内ニ未開地ノ借受權ヲ他人ニ讓渡サントスルトキハ第三號書式ノ願書ニ讓受人ノ誓約書及戸籍謄本ヲ添ヘ連署ノ上札幌農學校ニ出願スヘシ

第二十五條 借地人土地ノ形狀及地目ヲ變更セントスルトキハ第四號書式ニ依リ札幌農學校ニ出願スヘシ

第二十六條 借地人死亡若クハ失踪シ其相續人又ハ遺族ニ於テ繼續借受ヲ爲サントスルトキハ第五號書式ニ依リ保證人連署ヲ以テ戸籍謄本ヲ添ヘ名義書換ヲ札幌農學校ニ出願スヘシ

第二十七條 借地人ニ於テ保證人ノ變更ヲ要スルトキハ新舊保證人ト連署ヲ以テ札幌農學校ニ届

出契約書訂正ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十八條 借地人ハ土地ノ引渡ヲ受ケタルトキハ直ニ其四圍ニ地番號及氏名ヲ記シタル標杭ヲ建設スヘシ

第二十九條 借地人不可抗力ニ因リ土地ニ異狀ヲ生シタルトキハ速ニ其旨札幌農學校ニ届出ヘシ

第三十條 本規程改正以前ニ貸借契約ヲ締結シタルモノハ仍ホ従前ノ規程ニ依ルモノトス

第三十一條 本規程ハ明治三十一年十月十日ヨリ施行ス

第一號書式 (用紙半紙)

宅地、耕地、未開地貸下願

國 郡 區町村番地字

一 宅地 (宅地ハ住家倉庫等建物の) (耕地ハ其用途ノ見込ヲ標シ) (未開地ハ開水田牧場等ノ目) (何坪何々ノ見込)

二 耕地 (但別紙圖面ノ箇所) (右ハ御校土地貸下規程ヲ遵守シ「開墾ノ見込」ヲ以テ未開地トシ「別紙成功見込書」ノ通無相違成功)可致候間明治何年何月ヨリ同何年何月マテ何箇年間御貸下被成下度戸籍謄本相添此段奉願候也

年 月 日

族親住所 姓名 印

願人

成功見込書

一初年 自何年何月 何坪 何々ニ開墾

一二年目同 同 同

一三年目同 同 同

一四年目同 同 同

右ノ通相違無之候也

札幌農學校長宛

第二號書式 (用紙半紙)

何々地貸下繼續願

何國何郡(區)何番地

一何地

但別紙圖面ノ箇所

右ハ明治何年何月ヨリ借地致居候處何年何月ヲ以テ契約滿期相成候ニ付御校御規則ヲ遵守シ借受繼續致度候間御許可被成下度別紙戶籍謄本相添此段奉願候也

年月日

札幌農學校長宛

第三號書式 (用紙半紙)

借受地讓渡願

國郡 村第 農場第 線 番地

一未開地

何萬坪

右ハ借受仕居候處今般何々ノ事故(歸國或ハ轉住等)如キニヨリ何ノ誰ニ土地借受權讓渡致度候間御許可被成下度別紙戶籍謄本相添保證人及讓受人連署ヲ以テ此段奉願候也

年月日

札幌農學校長宛

右願人	姓	名	印
族籍住所			
讓渡人	姓	名	印
族籍住所			
讓渡人保證人	姓	名	印
族籍住所			
讓受人	姓	名	印
族籍住所			
讓受人保證人	姓	名	印

未開地讓受誓約書 (用紙美濃紙)

札幌農學校長宛

印紙

國郡 村字第 農場 第 線 番地

一未開地

何萬坪

右ハ今般何ノ誰ヨリ借受權讓受候ニ付テハ前借受人ニ於テ契約シタル條項ヲ遵守可仕候若シ本人契約違背等有之候節ハ保證人ニ於テ一切ノ義務履行可仕候仍テ保證人連署誓約書如件

年月日

札幌農學校長宛

第四號書式 (用紙半紙)

地目變換願

國郡村字第 農場第 線 番地貸下地何萬坪ノ内

一何地

何坪

右ハ今般何々地ニ變換致度候間御許可被成下度別紙設計書及圖面相添此段奉願候也

年月日

札幌農學校長宛

第五號書式 (用紙半紙)

名義書替願

族籍住所	本人	姓	名	印
同	保證人	姓	名	印
同	保證人	姓	名	印
族籍住所	願人	姓	名	印

國 郡 村 町 番地

一何地 何坪

右土地買入又ハ何ノ誰借受御許可相成居候處何年何月何日死亡(失踪)候ニ付テハ私ニ於テ繼續借受仕度候間名義書被成下度戸籍謄本相添保證人連署ヲ以テ此段奉願候也

年 月 日

族籍住所
相續人又ハ遺族
願人
族籍住所
保證人
族籍住所
保證人

姓 名 印
姓 名 印
姓 名 印

第六號書式 (用紙美濃紙) 札幌農學校長宛 宅地(耕地)貸借契約書

借地人ヨリ徵收スル 分ニ限リ貼付ヲ要ス

札幌農學校長ハ明治三十一年文部省告示第五十四號札幌農學校ノ資金ニ關スル北海道土地貸下規程ニ據レル土地貸下ヲ爲スニ依リ借地人何ノ某ト左ノ契約ヲ締結ス

第一條 何々用ニ供スル目的ヲ以テ左ニ掲グル土地ヲ貸借ス
何國何郡區何町村何番地
一宅地(耕地) 何坪

第二條 貸借期限ハ明治何年何月何日ヨリ明治何年何月何日マテ何箇年間トス

第三條 借地料ハ一箇月(年)金何程トス但日割計算ハ爲ササルモノトス

第四條 借地料ハ毎月(年)金何程トシ札幌農學校ヨリ發スル納入告知書ニ依リ指定ノ期限内ニ納付スルモノトス

第五條 借地人ハ札幌農學校ノ承諾ヲ經シテ借地ヲ目的外ニ使用スルコトヲ得サルモノトス

第六條 借地人ハ札幌農學校ノ承諾ヲ經シテ借地ヲ轉貸スルコトヲ得サルモノトス

第七條 借地人ハ札幌農學校ノ承諾ヲ經シテ借地ノ原形ヲ變更シ若クハ之ヲ荒廢ニ歸セシメタル場合ニ於テ生シタル損害ハ札幌農學校ニ賠償スルモノトス

第八條 借地内ノ樹木ハ札幌農學校ノ承諾ヲ經シテ伐採スルコトヲ得サルモノトス

第九條 土地ノ貸下料ハ四箇年毎ニ更正スルモノトス

第十條 前條ノ場合ニ於テ札幌農學校ハ貸下料ノ増減ヲ爲スト雖借地人ハ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

第十一條 借地人ハ貸借契約ヲ爲シタル月ヨリ一箇年以内ニ家屋ヲ建築スルモノトス(併シテ地味ハ本條ニ依リテ之ヲ得ルモノトス)

第十二條 官用又ハ公共ノ爲メ必要ヲ生シタル場合ハ契約期限内ト雖返地スルモノトス但土地收用法ニ依ルモノノ外六箇月以前ニ札幌農學校ヨリ之ヲ借地人ニ通告スルモノトス

第十三條 前條ノ場合ニ於テ家屋其他建物取去ノ費用ハ其官廳又ハ起業者ヨリ相當拂渡スヘキ金額ノ外借地人ノ負擔トス

第十四條 借地人現地ニ不在ノトキハ保證人直ニ本契約ノ義務ヲ履行スルモノトス

第十五條 借地人札幌農學校ニ損害ヲ被ラシメタルトキハ保證人直ニ賠償ノ責ヲ負フモノトス

第十六條 借地人並保證人ニ於テ本契約ノ條件ヲ履行セザルトキハ貸借契約ヲ解除スルモノトス此場合ニ於テ既設ノ物件アルトキハ其契約ヲ解除シタル日ヨリ六十日以内ニ除去スヘシ若シ其期限内ニ除去セザルトキハ其物件ハ札幌農學校長ノ處分ニ一任シ其處分ニ對シテハ一切苦情ヲ申立ルコトヲ得サルモノトス

第十七條 本契約ハ滿期ノ後雙方合意ノ上更ニ繼續スルコトアルヘシ 此契約書ハ二通ヲ作り互ニ署名捺印ノ上各一通ヲ領置スルモノトス

年 月 日

貸主 札幌農學校長 印

族籍住所
借地人
族籍住所
保證人
族籍住所
保證人

姓 名 印
姓 名 印
姓 名 印

第七號書式 (用紙美濃紙) 未開地貸借契約書

借地人ヨリ徵收スル 分ニ限リ貼付ヲ要ス

札幌農學校長ハ明治三十一年文部省告示第五十四號札幌農學校ノ資金ニ關スル北海道土地貸下規程ニ據ル土地貸下ヲ爲スニ依リ借地人何ノ某ト左ノ契約ヲ締結ス

第一條 何々用ニ供スル目的ヲ以テ左ニ掲クル土地ヲ貸借ス
何國何郡區何町何番地
一未開地 何坪
別紙圖面ノ箇所

第二條 貸借期限ハ明治何年何月何日ヨリ明治何年何月何日マテ何箇年間トス

第三條 借地料ハ一箇年金何程トス但日割計算ハ爲ササルモノトス

第四條 借地料ハ毎年十一月札幌農學校ヨリ發入告知書ニ依リ指定ノ期限内ニ納付スルモノトス

第五條 借地料ハ成功後何箇年日ヨリ納付スルモノトス

第六條 借地人ハ札幌農學校ノ承諾ヲ經シテ借地ノ目的外ニ使用スルコトヲ得サルモノトス

第七條 借地人ハ札幌農學校ノ承諾ヲ經シテ借地ヲ轉貸スルコトヲ得サルモノトス

第八條 借地人ハ貸借契約ヲ爲シタル日ヨリ三箇月以内ニ小屋掛及開墾ニ著手スルモノトス

第九條 借地人ハ毎年左ノ割合ヲ以テ開墾スルモノトス若シ其年配當ノ地積成功セサルトキハ成功地ヲ除キ其他ハ總テ返地セシムルコトアルヘシ但天災其他避クヘカラサル事故アリテ成功スルコト能ハサルトキハ借地人ハ札幌農學校ノ承諾ヲ得ルモノトス

前項ノ場合ニ於テ札幌農學校ハ開墾上又ハ土地整理上支障アリト認ムルトキハ其成功地ノ一部若クハ全部ヲ無償ニテ返地セシムルコトアルヘシ

明治何年 何坪成功

明治何年 何坪成功

明治何年 何坪成功

明治何年 何坪成功

第十條 開墾小屋掛及移住等ニ係ル一切ノ費用ハ借地人ノ負擔トス

第十一條 借地人ハ札幌農學校ノ承諾ヲ經シテ成功地ノ原形ヲ變更シ若クハ荒廢ニ歸セシメタルトキハ其損失ヲ賠償スルモノトス

第十二條 借地料ハ四箇年毎ニ更正スルモノトス

第十三條 前條ノ場合ニ於テ札幌農學校ハ借地料ノ増減ヲ爲スト雖借地人ハ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

第十四條 官用又ハ公共ノ爲必要ヲ生シタル場合ハ契約期限内ト雖返地スルモノトス但土地收用法ニ依ルモノノ外六箇月以前ニ札幌農學校ヨリ之ヲ借地人ニ通告スルモノトス

第十五條 前條ノ場合ニ於テ家屋其他建築物取去ノ費用ハ官廳又ハ建築者ヨリ相當擔當スヘキ金額ノ外借地人ノ負擔トス
第十六條 借地内ノ樹木ハ札幌農學校ノ承諾ヲ經シテ採掘スルコトヲ得サルモノトス
第十七條 借地人ニ於テ薪炭用及防風林ヲ設置セントスルトキハ借地面積十分一ヲ超過スルコトヲ得サルモノトス
第十八條 借地人現地ニ不在ノトキハ保證人直ニ本契約ノ義務ヲ履行スルモノトス
第十九條 借地人札幌農學校ニ損害ヲ被ラシメタルトキハ保證人ハ直ニ賠償ノ責ヲ負フモノトス
第二十條 借地人並保證人ニ於テ本契約ノ條件ヲ履行セサルトキハ貸借契約ヲ解除スルモノトス此場合ニ於テ既設ノ物件アルトキハ其契約ヲ解除シタル日ヨリ六十日以内ニ除去スヘシ若シ其期限内ニ除去セサルトキハ其物件ハ札幌農學校長ノ處分ニ一任シ其處分ニ對シテハ一切苦情ヲ申立ルコトヲ得サルモノトス
第二十一條 本契約ハ滿期ノ後雙方合意ノ上更ニ繼續スルコトアルヘシ
此契約書ハ二通ヲ作り互ニ署名捺印ノ上各一通ヲ領置スルモノトス

貸主

札幌農學校長印

年月日

族籍住所

借地人

族籍住所

保證人

族籍住所

保證人

姓 名 印
姓 名 印
姓 名 印

○逓信省告示第二百六十一號

長崎、福岡及赤間關ノ各電話交換局ニ於テ左ノ期日ヨリ加入申込書ヲ受理ス

明治三十一年十月一日

逓信大臣林 有造

十月八日 長崎電話交換局

十月十二日 福岡電話交換局

十月十五日 赤間關電話交換局

○海軍省告示第十四號

本月三日ヨリ十五日マテ十三日間横須賀鎮守府ニ於テ小演習施行ノ爲メ危險物ヲ沈置スヘキニ付左記ノ區域内ニ於テ艦船艇ノ通航及漁業ヲ爲スヘカラス

明治三十一年十月三日

海軍大臣侯爵西郷從道

一横須賀軍港區域内及走水旗山崎以北二分ノ一海里ノ海面但シ軍港區域内定期航海ヲ營ム汽船ハ豫メ軍港部長ニ就キ航路ノ指定ヲ受クヘシ又漁船及小舟ハ軍港出入ヲ許可スト雖充分ノ注意ヲ爲スヘシ特ニ夜間ニ在テハ附近ヲ通航スル者ハ小舟ト雖必ス常ニ燈火ヲ顯シ置ヘシ

○文部省告示第五十五號

北海道廳管下根室國根室ニ建設ノ警報信號標柱破損セシニ付修繕出來迄信號標ノ揚卸ヲ中止ス

明治三十一年十月四日

文部大臣尾崎行雄

○文部省告示第五十六號

本年文部省告示第四十七號ヲ以テ山形縣管下羽後國飽海郡酒田町ニ建設ノ警報信號標柱建替ニ付右工事中信號標ノ揚卸ヲ中止スル旨告示セシ處今般工事竣功セリ

明治三十一年十月四日

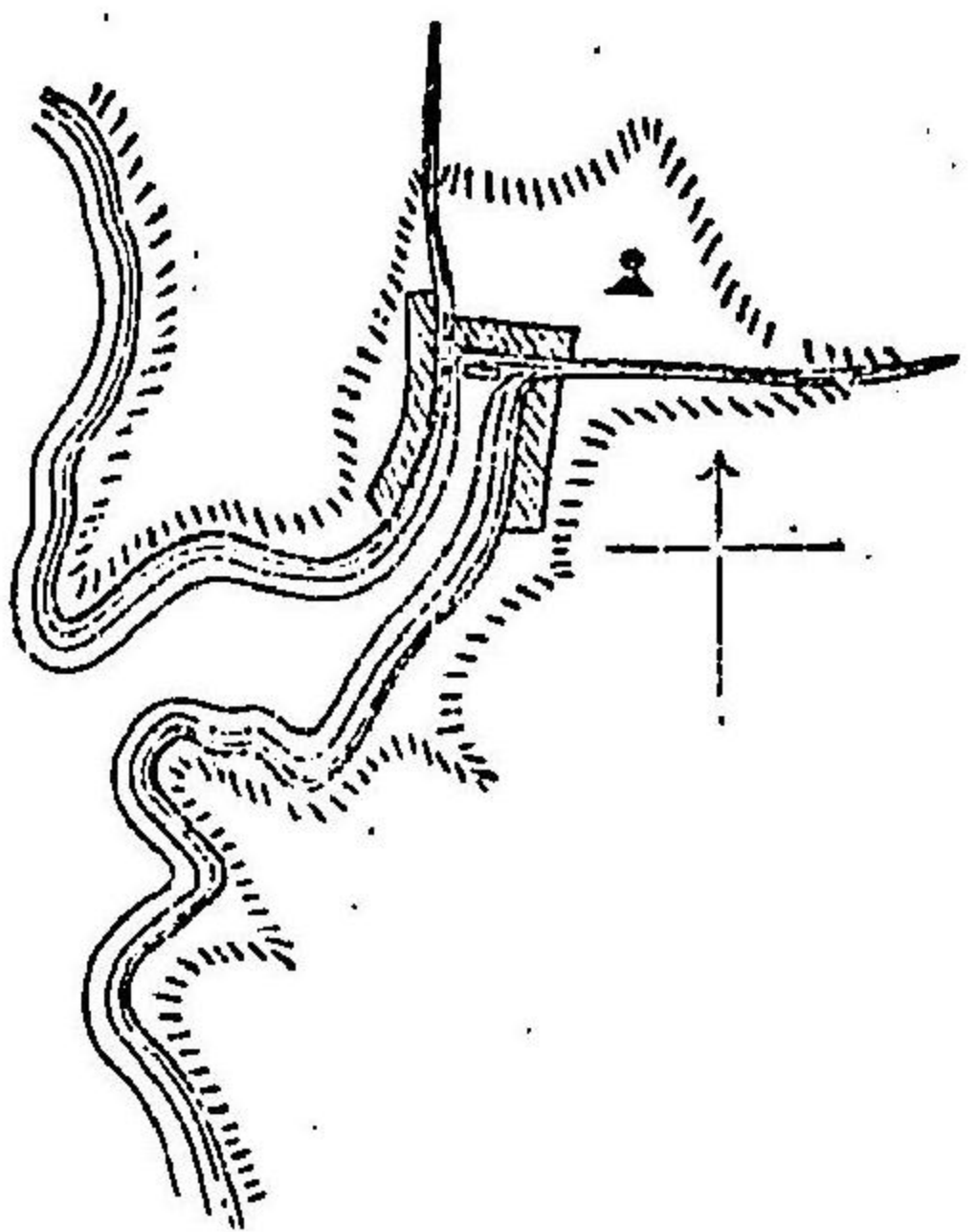
文部大臣尾崎行雄

○文部省告示第五十七號

長崎縣管下壹岐國壹岐郡武生水村本村觸大里即チ左ノ圖中ニ警報信號標ヲ設立シ本年十一月三日ヨリ實施シタキ旨同縣同郡武生水村長日置乙次郎ヨリ願出タルニ付同縣知事ニ於テ之ヲ許可セリ

明治三十一年十月四日

文部大臣尾崎行雄



○遞信省告示第二百六十二號

本月十一日ヨリ名古屋電話交換局ニ於テ電話交換ノ業務ヲ開始ス

明治三十一年十月四日

遞信大臣林 有造

○遞信省告示第二百六十三號

名古屋電話交換局構内ニ電話所ヲ置キ新柳町電話所ト稱シ本月十一日ヨリ電話通信ヲ開始ス

明治三十一年十月四日

遞信大臣林 有造

○陸軍省告示第十三號

陸軍軍樂學校生徒二十四名ヲ召募ス志願者ハ陸軍召募規則第二百二十三條ニ依リ十一月三十日迄ニ願書類ヲ居住地ノ市町村長ニ差出シ市町村長ハ之ヲ十二月十日迄ニ陸軍戸山學校長ニ送付スヘシ

明治三十一年十月五日

陸軍大臣子爵桂 太郎

○遞信省告示第二百六十四號

明治三十年九月 遞信省告示第二百七十一號諸外國宛郵便物稅率表中左ノ通改定ス
明治三十一年十月五日

遞信大臣林 有造

一 郵便聯合外國國中

甲ノ部ニ旅順口(Port-Arthur)及大連灣(Ta-Lien-Wan)ヲ加フ
丙ノ部左ノ通改ス

- | | | |
|--------------|---------------|-----------------------|
| 鎮海(Chinhai) | 鎮江(Chinkiang) | 重慶(Chungking) |
| 漢陽(Hanyang) | 河口(Hokow) | 宜昌(Ichang) |
| 張家口(Kalgan) | 九江(Kinkiang) | 孤嶺(Kuling) |
| 龍州(Lungchow) | 蒙自(Mengsz) | 南京(Nankin) |
| 安慶(Nanking) | 牛莊(Newchwang) | 羅羅塔(Pogoda Anchorage) |
| 北海(Pakhoi) | 北京(Peking) | 三水(Samsui) |
| 三都澳(Santao) | 思茅(Sennao) | 太沽(Taku) |
| 塘沽(Tangku) | 唐山(Tangshan) | 大通(Taiung) |
| 登州(Tengchow) | 通州(Tungchow) | 黃浦(Wampoa) |
| 温州(Wenchow) | 蕪湖(Wuhu) | 武昌(Wuchang) |
| 吳淞(Wosung) | 武穴(Wusich) | 梧州(Wuchow) |
| 岳州(Yochow) | 太原(Ourga) | |

左ノ一項ヲ加フ

壬清國各地(本邦及他聯合國郵便局所在地タル廈門(Amoy)廣東(Canton)芝罘(Chefoo)福州(Foochow)海口(Hahow)漢口(Hankow)杭州(Hangchow)廣州(Kingchow)寧波(Ningpo)上海(Shanghai)沙市(Shashi)蘇州(Soochow)汕頭(Swatow)天津(Tientsin)並ニ本表ニ掲ケルモノヲ除ク)

二 該表備考左ノ通改ス

第二項郵便聯合外國國中乙戌申及壬午掲ケル各地ハ差出ス郵便物ハ書留トナスヲ得ス丙及壬午掲ケル各地ハ往復端書丁戌庚及申ニ掲ケル各地ハ通常端書及往復端書ヲ差出スヲ得ス己庚申及壬午掲ケル各地ハ差出ス郵便物ハ配達ノ際待ニ送附料ヲ課セラルヘシ

○大藏省告示第六十九號

第二回發行

一 記名軍事公債證書額面五拾圓券 一枚

號 七壹五八貳番

但明治三十一年六月渡以降利札付屬

右埼玉縣兒玉郡東兒玉村大字關九十三番地長谷川源太郎所有ノ處明治三十一年一月十三日火災ニ罹リ消滅ノ趣ヲ以テ代リ證書請求ニ付整理公債條例第二十條ニ據リ代リ證書ヲ交付セリ但消滅シタル證書ハ無効トス

明治三十一年十月六日

大藏大臣松田正久

○海軍省告示第十五號

明治二十七八年戰役中戰地ニ於テ疾病若ハ災害ニ罹リ又ハ出征事務ニ關シ死歿シタル左記ノ人名今般特旨ヲ以テ靖國神社ヘ合祀被仰出候ニ付來ル十一月四日午前零時三十分招魂式施行同日及翌五日ノ二日間臨時大祭ヲ執行ス

明治三十一年十月六日

海軍大臣侯爵西郷從道

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 海軍大尉從 日高 正雄 鹿島縣士族 | 海軍少尉 南合 源一郎 東京府士族 |
| 六位勳六等 櫻井 康 東京府平民 | 從七位 高木 彌一郎 愛知縣士族 |
| 海軍大尉從 深川 喜文 佐賀縣士族 | 海軍少尉 押村 廣茂 島取縣平民 |
| 六位勳五等 海軍大尉 大道 市熊 鹿島縣士族 | 士正八位 牧雄 佐賀縣士族 |
| 從七位 海軍大尉 林 喜久入 熊本縣士族 | 海軍少尉 武藤 佐賀縣士族 |
| 正七位 | 海軍少尉 千綿 義孝 佐賀縣士族 |
| | 從七位 正八位 曹助七等 |
| | 海軍上等兵 高見 宅郎 熊本縣士族 |
| | 海軍上等兵 江田 源太郎 鹿島縣士族 |
| | 海軍機關 大澤 又太郎 東京府士族 |
| | 海軍上等兵 上崎 辰次郎 青森縣士族 |
| | 曹助七等 |

海軍上等兵	齊藤	清廣	東京府士族	海軍一等水兵	繁谷	嘉太郎	島取縣平民	海軍二等水兵	持永	助太郎	廣野縣平民
海軍一等兵	岩野	濱助	廣野縣平民	海軍一等水兵	小林	基龍	廣野縣平民	海軍二等水兵	村岡	才助	山口縣平民
海軍二等兵	田中	實喜	熊本縣平民	海軍一等水兵	肝部	彌八郎	宮崎縣平民	海軍二等水兵	柳田	正徳	廣野縣平民
海軍三等兵	河野	爲樹	廣野縣平民	海軍一等水兵	音田	定次郎	大府縣平民	海軍二等水兵	松本	金藏	熊本縣平民
海軍四等兵	三戸	佐一郎	山口縣士族	海軍一等水兵	藤岡	源太郎	愛媛縣平民	海軍二等水兵	棚田	五三郎	宮山縣平民
海軍五等兵	今井	利助	山口縣平民	海軍一等水兵	鈴木	和吉	山口縣士族	海軍二等水兵	寺島	大吉	大阪府平民
海軍六等兵	高木	要藏	福井縣平民	海軍一等水兵	荒井	久吉	新瀧縣平民	海軍二等水兵	瀨元	甚作	長崎縣平民
海軍七等兵	中島	島吉	廣野縣平民	海軍一等水兵	柴田	正則	山口縣士族	海軍二等水兵	清水	八太郎	島根縣平民
海軍八等兵	山田	甚藏	東京府平民	海軍一等水兵	宮田	源吉	富山縣平民	海軍二等水兵	丸茂	徳次郎	山口縣平民
海軍九等兵	山田	甚藏	東京府平民	海軍一等水兵	花房	善次郎	富山縣平民	海軍二等水兵	後藤	鐵三郎	愛知縣平民
海軍十等兵	山田	甚藏	東京府平民	海軍一等水兵	大重	泰之助	廣野縣平民	海軍二等水兵	三ツ木	房治郎	鳥取縣平民
海軍十一等兵	山田	甚藏	東京府平民	海軍一等水兵	有馬	八之進	廣野縣平民	海軍二等水兵	飯川	藤作	新潟縣平民
海軍十二等兵	山田	甚藏	東京府平民	海軍一等水兵	山重	兵太郎	福岡縣平民	海軍二等水兵	小島	幸次郎	新潟縣平民
海軍十三等兵	山田	甚藏	東京府平民	海軍一等水兵	飯田	嘉作	大分縣平民	海軍二等水兵	在原	熊次郎	千葉縣平民
海軍十四等兵	山田	甚藏	東京府平民	海軍一等水兵	飯田	嘉作	大分縣平民	海軍二等水兵	關根	徳介	茨城縣平民
海軍十五等兵	山田	甚藏	東京府平民	海軍一等水兵	飯田	嘉作	大分縣平民	海軍二等水兵	中根	吉松	廣野縣平民
海軍十六等兵	山田	甚藏	東京府平民	海軍一等水兵	飯田	嘉作	大分縣平民	海軍二等水兵	齊藤	常吉	京都府平民
海軍十七等兵	山田	甚藏	東京府平民	海軍一等水兵	飯田	嘉作	大分縣平民	海軍二等水兵	乙吉	福岡縣平民	廣野縣平民
海軍十八等兵	山田	甚藏	東京府平民	海軍一等水兵	飯田	嘉作	大分縣平民	海軍二等水兵	松永	忠三郎	佐賀縣平民
海軍十九等兵	山田	甚藏	東京府平民	海軍一等水兵	飯田	嘉作	大分縣平民	海軍二等水兵	收	忠三郎	佐賀縣平民
海軍二十等兵	山田	甚藏	東京府平民	海軍一等水兵	飯田	嘉作	大分縣平民	海軍二等水兵	福田	忠三郎	佐賀縣平民
海軍二十一等兵	山田	甚藏	東京府平民	海軍一等水兵	飯田	嘉作	大分縣平民	海軍二等水兵	川崎	忠三郎	佐賀縣平民
海軍二十二等兵	山田	甚藏	東京府平民	海軍一等水兵	飯田	嘉作	大分縣平民	海軍二等水兵	近藤	忠三郎	佐賀縣平民
海軍二十三等兵	山田	甚藏	東京府平民	海軍一等水兵	飯田	嘉作	大分縣平民	海軍二等水兵	松本	忠三郎	佐賀縣平民
海軍二十四等兵	山田	甚藏	東京府平民	海軍一等水兵	飯田	嘉作	大分縣平民	海軍二等水兵	青木	忠三郎	佐賀縣平民
海軍二十五等兵	山田	甚藏	東京府平民	海軍一等水兵	飯田	嘉作	大分縣平民	海軍二等水兵	利吉	忠三郎	佐賀縣平民

海軍三等尉夫 寺島 堅 廣野縣平民
 海軍四等水兵 今井 芳之助 京都府平民
 海軍四等水兵 高橋 熊次郎 福井縣平民
 海軍四等水兵 伊藤 敏郎 岡山縣士族
 海軍四等尉夫 庄司 製治郎 宮城縣平民

○文部省告示第五十八號
 熊本縣立熊本縣工業學校 木工科 金工科
 科染織工科

右ハ明治二十六年勅令第百八十三號文官任用令第二條第三ニ依リ官立公立尋常中學校ト同等以上ノモノト認ム
 明治三十一年十月六日
 文部大臣尾崎行雄

○臨時博覽會事務局告示第十三號
 千九百年巴里萬國大博覽會會場内ニ於テ入場料ヲ徵收スル展覽會、見世物場若クハ飲食店及之ト類似ノ營業場ニ關スル規則佛蘭西共和國政府ニ於テ發布シタルヲ以テ左ノ通告示ス
 明治三十一年十月六日
 臨時博覽會總裁大石正己

入場料ヲ徵收スル展覽會、見世物場若クハ飲食店及之ト類似ノ營業場ニ關スル規則
 商工郵便及電信大臣ハ千九百年萬國博覽會總裁ノ報告ニ照ラシ
 千九百年萬國博覽會ニ關スル千八百九十六年六月十三日ノ法律ニ照ラシ
 博覽會事務局組織ニ關スル千八百九十三年九月九日ノ布告ニ照ラシ
 本博覽會ノ總則ニ關スル千八百九十四年八月四日ノ布告ニ照ラシ
 右博覽會事務局分課規程ヲ定メタル千八百九十四年四月十二日ノ省令ニ照ラシ
 之ヲ布達ス

第一條 總則
 千九百年萬國博覽會會場内ニ於テ入場料ヲ徵收スル展覽會、見世物場若クハ飲食店及之ト類似ノ營業場ノ免許ハ次ニ掲クル一般ノ規程並ニ競争契約及隨意契約ニ關シ特ニ定メタル規則ニ遵

明治三十一年十月 告示
 文部省第五十八號 臨時博覽會事務局第十三號
 入場料ヲ徵收スル展覽會見世物場若クハ飲食店及之ト類似ノ營業場ニ關スル規則
 八三五

由スヘシ

第一章 競争契約、隨意契約手續

第二條 競争契約ノ許可ヲ受クルニ必要ノ條件

競争契約ニ加ハラントスルモノハ其起業ヲ成就スルニ足ルヘキ資格及資力アルコトヲ證明スルニアラサレハ許可ヲ受クルコトヲ得ス

競争人ハ本件ニ關シ事務局ヨリ要求シタル證明書及他ノ證據物件ヲ提供スルヲ要ス

右競争人ハ何レノ場合ニ於テモ次ニ掲グル第三條ノ適用ニ關シ定メタル保證金證書ヲ提出スヘシ

事務局ノ認可ヲ得サルモノハ之ニ對シテ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第二條 保證金

競争契約及隨意契約ノ特許帳簿ヲ製シ當座保證金及確定保證金ノ價額ヲ定ムヘキモノトス

此保證金ハ政府ノ名義ヲ以テ執行スヘキ競争契約及契約成立ニ關スル布告ニ依テ規定シタル條件ニ從フモノトス

確定保證金ハ契約認可ノ通告ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ納入スルヲ要ス

該保證金ハ特許營業人ノ締結シタル契約ノ擔保ニ充ツヘシ

第四條 競争契約若クハ隨意契約ノ認可

競争契約ハ商工郵便電信大臣之ヲ公許スヘシ但シ總裁ノ認可ヲ經ルニ非サレハ無効トス又右出願人ハ總裁ノ認可ヲ得サル場合ニ於テ何等ノ賠償ヲ求ムルコトヲ得ス

隨意契約願ハ總裁ノ申請ニヨリ商工郵便電信大臣之ヲ認可スヘシ

第五條 特許營業人ニ交付スヘキ書類

競争契約若クハ隨意契約ヲ認可シタル時ハ總裁ハ會計局長ノ證明セル本文規程書、特許帳簿及

競争契約若クハ隨意契約ニ關スル調査ノ謄本並ニ契約ノ基本タルヘキ他ノ書類ヲ領收證引換ニ特許營業人ニ交付スヘシ

第六條 契約ニ關スル費用

起業人ハ現行ノ法律規則ノ結果ニ依リテ生スル契約ノ登記稅ヲ納ムヘシ

印紙稅及契約ノ基本タルヘキ書類ノ謄本料ハ起業人別ニ之ヲ支辨スルモノトス

右ノ費目ハ總裁之ヲ定メ特許營業人ヲシテ該金額ヲセーヌ縣中央收稅局ニ納メシムヘシ

第七條 特許營業人ノ住所

特許營業人ハ巴里市内ニ住所ヲ選定シ之ヲ總裁ニ通知スルヲ要ス若シ特許營業人ニシテ競争契約若クハ隨意契約認可ノ通告ヲ受ケタル後十五日以内ニ此手續ヲ履行セサルトキハ第七區區役所ニ宛本件ニ關スル總テノ通告ヲ爲スヘシ

博覽會閉會後ハ特許營業人ハ巴里市内ニ住所ヲ置クコトヲ要セスト雖トモ其移轉先ヲ總裁ニ通知セサルトキハ其特許ニ關スル通告ハ又前項ノ手續ニ依ルヘシ

第二章 設計圖案、工事ノ執行及保存

第八條 總體及詳細ノ設計圖案

特許營業人ハ特許願書ニ添ヘテ建物及其周圍ノ總體圖案ヲ提出スルヲ要ス但シ事務局ニ於テ競争契約ノ基本トシテ供用スヘキ設計圖案ヲ製シタル場合ハ此限ニアラス

特許營業人ハ契約認可ノ通告ヲ受ケタル後進クモ二箇月以内ニ其詳細ノ圖案ヲ提出シ工事ニ著手スルニ先チ總裁ノ認可ヲ受クルヲ要ス總裁ハ藝術、公安及取締上必要ト認ムルトキハ之ヲ變更セシムルコトアルヘシ

第九條 工事ノ執行

特許營業人ハ認可ヲ受ケタル設計圖案ニ基キ自己ノ負擔ト責任トヲ以テ建物、造作及室内裝飾

ノ諸工事を執行スヘシ

右工事ニ著手スル前建築事務局長ハ建物ノ割當及垣夷シタル敷地ヲ引渡スヘシ
特許營業ノ敷地内ニ於ケル人道植込芝地庭園及通路ハ事務局ニ於テ之ヲ設置シ其費用ハ事務局ヨリ指定シタル期限内ニ特許營業人ヨリ辨償セシムルモノトス
特許營業人ハ藝術ノ原則ニ基キ建築事務局長ノ監督検査ヲ受ケ其制規ヲ遵守シテ諸工事を執行スルモノトス

工事場ノ界限ハ建築事務局長之ヲ定ム

敷地ヨリ掘出シタル剩土ハ特許營業人ニ於テ事務局ヨリ指定ノ場所カ若クハ其指定ナキトキハ共同芥捨場ニ之ヲ運搬スヘシ

建前ヲ終リタル後ハ現場ニ於テ材料ヲ切截シ又ハ博覽會構内ニ之ヲ積置クコトヲ禁ス

材料及剩土ノ運搬ヲ爲スニハ事務局ニ於テ指定シタル通路ニ依ルヘシ

工事ハ事務局ニ於テ定メタル期限内及遅クモ千九百年三月一日迄ニ完結スルヲ要ス

建築事務局ヨリ工事ノ完済ヲ證明シタル報告ナキトキハ如何ナル營業ト雖トモ之ヲ開始スルコトヲ得ス

第十條 保存

特許營業人ハ建築事務局長ノ監督検査ヲ受ケ自己ノ負擔ト責任トヲ以テ其建物ヲ保存スヘシ
特許營業敷地内ニ於ケル人道植込芝地庭園及通路ノ保存掃除及灌水ハ事務局ニ於テ之ヲ執行シ其費用ハ同局ヨリ指定シタル期限内ニ特許營業人之ヲ辨償スヘシ

第十一條 水、瓦斯、蒸氣及電氣

特許營業場ニ必要ノ水、瓦斯、蒸氣及電氣ハ事務局ニ於テ分配管ヲ設ケテ之ヲ送致スヘシ但シ熱湯ノ排除ニ關シテハ特許營業人ハ同局ニ於テ定メタル條件ニ從フヘシ

支管及附屬器械ノ設置及保存ニ係ル總テノ費用ハ特許營業人ノ負擔トス

特許營業人ハ其詳細ノ設計圖案ト共ニ須要ノ水、瓦斯、蒸氣若クハ電氣力ノ數量ヲ記シテ届出ツ

採暖及點燈ハ瓦斯若クハ電氣ニ限ルモノトス而シテ事務局ハ瓦斯若クハ電氣ヲ使用シテ點燈ス

ヘキ部分竝ニ箇數、種類、形狀及器械ノ布置等ヲ決定スヘキモノトス

支管及附屬器械ノ全部若クハ一部ノ設置及保存ニ關シテハ事務局ヨリ經費ノ價額ヲ一定シテ同局ノ請負人ニ之ヲ擔當セシメ事務局ハ計算ニ關係セス特許營業人ヨリ直接ニ其經費ヲ支拂ハシムルコトアルヘシ

第十二條 工事場ノ取締

特許營業人ハ工事場ノ取締就中開閉時限、圍障、監守、點燈、職工ノ入場、工作場ノ公安及衛生ニ關シ總裁ノ定メタル諸規程ヲ遵守スヘシ

第三章 營業

第十三條 開閉ノ時期

特許ヲ受ケタル展覽會若クハ營業場ハ千九百年博覽會ノ全期間同會場ノ開門時ヨリ閉門時ニ至ルマテ日々公開スルヲ要ス

入場料ヲ徵收スル或種ノ展覽會及或種ノ營業場ニ對シテ總裁ハ毎日一定ノ時刻ニ於テ其休業ヲ許可スルコトアルヘシ

第十四條 水、瓦斯、蒸氣及電氣

水、瓦斯、蒸氣及電氣ノ經費ハ特許營業人之ヲ支辨スヘキモノニシテ其供給方ハ事務局ニ於テ定メタル總定價表ノ價額及條件ニ隨ヒ同局ヨリスルカ若クハ適當ト認メタルトキハ同局ヨリ指定シタル供給人ヨリ之ヲ爲サシムヘシ

事務局ハ夜中或ル時間ニ於テ休業ヲ許可シタル展覽會及營業場ニ對シテモ全部若クハ一部ノ照燈ヲ命スルコトヲ得

第十五條 入場料及飲食物定價表

入場料又ハ飲食物定價表ハ契約ノ條件若クハ指定ニ從ヒ競爭契約ノ結果又ハ隨意契約書ニ依テ確定スルカ若クハ後ニ至リ總裁ニ於テ之ヲ確定スルモノトス

競爭契約若クハ隨意契約ニ於テ價額ヲ一定シタルトキハ特許營業人ハ常ニ總裁ノ認可ヲ得テ其價額ヲ低減スルコトヲ得尤此低減價額ハ少クモ一箇月間實施セサルヲ得サルモノニシテ總裁ノ許可ヲ得ルニアラザレハ之ヲ增加スルコトヲ得ス

定價表ハ何等ノ特惠ヲ設クルナク之ヲ實施シ公衆ノ看易キ方法ヲ以テ營業場ノ内外ニ揭示スヘシ

博覽會債券ノ所有者ニシテ此債券ニ添ヘタル鐵道若クハ汽船運賃ノ割引ヲ受ケサルモノニ對シテハ見世物與業場入場料ノ二割五歩ノ割引ヲ爲スヘシ

第十六條 入場料ヲ徵收スル展覽會ニ陳列スヘキ美術作品及生産物ノ認可

如何ナル物品ト雖トモ事務局ヨリ交付セル陳列許可ノ證明書ナキモノハ入場料ヲ徵收スル展覽會ニ陳列スルコトヲ得ス

第十七條 職員ノ入場

無料入場券ハ執務ノ必要ニ應シ總則ノ規定スル所ニ從ヒ特許營業人及其職員ニ交付スヘシ此無料入場券ノ使用上詐欺ヲ爲シタルモノアルトキハ特許營業人其責ニ任スヘシ但シ之カ爲メ詐欺行爲者ニ對シ執行スヘキ處分ヲ妨クルコトナシ

第十八條 失火及其他ノ災變

失火其他ノ災變ニ依リ特許營業人ノ被リタル損害ニ對シテハ其原因ノ如何ト其損害ノ多少ニ係

ラス事務局ハ一切其責ヲ負フコトナシ又盜難若クハ竊取ニ罹リタルトキモ亦然リ

特許營業人ハ必要ト認メタルカ若クハ事務局ヨリ命セラレタルトキハ自己ノ負擔ヲ以テ直接ニ保險ノ契約ヲ爲スヘシ

特許營業人ハ事務局ヨリ公認セラレタル特例ノ外火災豫防ノ爲メ消防用器械及ヒ水口ヲ備ヘ置クヘシ尤其種類箇數及大小等ハ總裁之ヲ指定スヘシ

第十九條 營業ノ取締

營業ハ事務局ノ監督檢閲ヲ受ケテ之ヲ行フヘキモノニシテ總裁ノ指定シタル役員ハ何時ニテモ特許營業場内ヲ巡檢スルヲ得ヘシ

特許營業人ハ常ニ公安清潔衛生風俗秩序等ニ關シ總裁ノ諭達ヲ遵守スヘシ又營業場ニ從事スル職員ニシテ公衆ニ對シ若クハ博覽會ノ吏員ニ對シテ不都合ノ行爲アルトキハ事務局ハ之ヲ解雇セシムルコトヲ得

特許營業人ハ豫防ノ裝置ヲ以テ汽關ヲ圍繞シ觀覽人ヲシテ之ニ接スルモ危險ノ虞ナカラレムヘシ

第二十條 廣告

免許營業場ニ關スル諸廣告ハ免許狀ニ明記セル場合ヲ除クノ外ハ總裁ノ許可ナクシテ博覽會構内ニ於テ爲スコトヲ得ス

如何ナル揭示ト雖トモ事務局ニ於テ其樣式及原文ヲ承認セサルニ於テハ營業場ノ内外ニ貼附スルコトヲ得ス

第四章 特許權ノ移轉特許營業人ノ破産若クハ死亡

第二十一條 特許權ノ移動

如何ナル特許權ト雖トモ總裁ノ許可ヲ得ルニアラザレハ其全部若クハ一部ヲ他ニ讓與スルコト

ヲ得ス

特許營業人ハ自己ニ於テ必ス工事ノ執行及營業ノ實施ヲ確保スヘシ

第二十二條 特許營業人ノ破産若クハ死亡

特許營業人ニシテ破産又ハ清算處分ノ宣告ヲ受ケタルトキハ特許營業ニ關スル契約ハ當然直ニ其效力ヲ失フ

特許營業人ノ死亡シタル場合ニ於テモ亦前項ト同一ノ結果ヲ生スヘシト雖トモ相續人ニシテ契約ノ執行ヲ繼續シ且總裁ニ於テ之ヲ認可シタル場合ハ此限ニアラス

契約消滅後ハ第二十三條ニ記載セル賦金未納額ハ直ニ要求スルコトヲ得又事務局ハ建物ノ全部若クハ一部ヲ取毀タシメ特許營業人ノ債權者ニ對シ取毀ノ費用ヲ追徵スヘキ權利ヲ有ス

第五章 賦金、貧民稅

第二十三條 賦金

總テ特許ヲ與ヘタルトキハ賦金ヲ徵收シテ博覽會ノ收入ト爲スヘシ
該賦金ハ千八百四十三年六月六日ノ法律第十三條ニ依リ資助金ノ名義ヲ以テ公共ノ費途ニ充ンカ爲メ國庫ニ納ムヘキモノトス

賦金額及其納付期限ハ競争契約書若クハ隨意契約書ニ於テ之ヲ定ム

事務局ハ場合ニ依リ必要ト認メタルトキハ營業場收入金ノ檢査ヲ行フヘシ右檢査ノ爲メニ要シタル費用ハ總裁ノ定メタル條件ニ隨ヒ特許營業人之ヲ辨償スヘシ

第二十四條 貧民稅

貧民稅ヲ課スヘキ場合ハ特許營業人ニ於テ其全部ヲ負擔スヘシ

第六章 失權、緊急處分

第二十五條 失權ノ場合

特許營業人ハ左ノ場合ニ於テ事務局ノ督勵ヲ受ケ猶之ヲ肯ンセザルトキハ當然其特許權ヲ失フ

一 免許狀ニ記載シタル條款及其執行ニ對シ總裁ノ定メタル規程ニ違背シタル場合

二 許可ナクシテ營業場ノ全部若クハ一部ノ模樣換ヲ爲シタル場合

三 規定ノ日限内ニ賦金ヲ納付セザル場合

失權ノ宣告ヲ受ケタルトキハ第二十三條ニ掲グル賦金ノ未納額ハ直ニ要求スルコトヲ得

事務局ハ建物及之ニ附屬セル物品ヲ隨意ニ處理シ且特許營業人ノ費用ヲ以テ建物ノ全部若クハ一部ヲ取毀タシメ其取毀チタル材料並ニ建物ニ附屬セル物品ヲ公賣ニ付スヘシ之ヨリ生シタル

金額ハ已ニ事務局ニ於テ支拂ヒタル經費ノ辨償及賦金ノ全額ニ充用シ若シ剩餘アルトキハ特許營業人ノ名義ヲ以テ預金局ニ預托スルモノトス

第二十六條 緊急處分

建物ノ工事若クハ保存又營業場ノ清潔方ニ關シ特許營業人ノ怠慢ヨリ過失ヲ生シタル場合ハ事務局ハ前條ニ掲グル罰例ノ外尙職權ヲ以テ其必要ト認メタル處分ヲ爲スヘシ但其費用ハ關係人ノ負擔タルヘシ

第七章 特許滿期後ニ於ケル建物ノ取毀

第二十七條 特許營業人ノ負擔スヘキ取毀

博覽會閉會後遊クトモ六週間以内ニ建物ヲ取毀チ且之ニ附屬セル物品ヲ取除クヘシ

建物所在地ハ諸材料ヲ取除キ總テ原狀ニ復サシムヘシ

第二十八條 事務局ニ於テ行フヘキ取除

前條ニ於テ定メタル期限ヲ過クルトキハ事務局ハ職權ヲ以テ相當ノ處分ヲ爲スヘシ之カ爲メニ生スル費用ト損害トハ一切特許營業人ノ負擔トス

事務局ハ特許營業人ノ費用ヲ以テ材料及物品ヲ共同倉庫ニ納ムヘシ

千九百一十一年六月三十日ニ至ルマテ事務局ニ於テ支拂ヒタル費用ヲ辨償セサルハ其倉庫ニ納メタル物品及材料ヲ公賣ニ付シ之ヨリ生シタル金額ハ保證金ト共ニ事務局ニ對スル辨償金ニ充テ尙ホ剩餘アルトキハ貧民救恤所ニ寄附スルモノトス

第八章 雜款

第二十九條 地役

特許營業人ハ事務局ニ於テ特許營業地域内ニ下水竝ニ水、蒸氣、瓦斯若クハ電氣ノ導管ヲ設置スル必要ヲ認メタルトキハ其地役ニ服從スヘシ

第三十條 事務局若クハ第三者ニ對スル賠償

特許營業人ハ其工事ノ執行及營業場ノ營業ニ付事務局又ハ第三者ニ對シ損害ヲ與ヘタルトキニ限リ其責ニ任ス

第三十一條 競争

事務局ハ適當ト認メタルトキハ類似ノ營業場ト雖トモ之ヲ免許スルノ權ヲ有ス
如何ナル場合又ハ如何ナル理由ニ關セス特許營業人ハ事務局又ハ他ノ特許營業人ニ對シテ契約條件ノ解除ヲ主張シ又ハ賠償ヲ求ムルコトヲ得ス

第三十二條 博覽會總則

特許營業人ハ千九百一十一年萬國博覽會ニ關シ千八百九十四年八月四日ノ總則及右執行ニ關シ特ニ定メ又ハ今後定メラルヘキ規則ニ從フヘシ

第三十三條 紛議

事務局及特許營業人トノ間ニ生シタル紛議ハ當該裁判所ニ起訴スル前三名ヨリ組織セル審査委員會ノ審査ニ付スヘシ而シテ其委員ノ一名ハ總裁之ヲ指定シ他ノ一名ハ特許營業人之ヲ指定シ尙ホ他ノ一名ハ前二名ノ委員之ヲ選定スヘシ

第三十四條 執行

同審査委員會ノ決議ハ相方之ニ承服スルニアラサレハ服從ノ義務ナキモノトス

千九百一十一年萬國博覽會總裁ハ本令施行ノ責ニ任ス

巴里千八百九十七年四月十五日

商工郵便電信大臣 アンリー、ブーシエー

巴里千八百九十七年四月七日 總裁 ア、ピカール 申請

○文部省告示第五十九號

師範學校尋常中學校高等女學校教科用圖書ノ檢定ハ自今其圖書ノ組織程度分量記事ノ性質誤謬ノ多少等ニシキ大體ノ調査ヲ爲スニ止ムルモノトス

明治三十一年十月七日

文部大臣尾崎行雄

○遞信省告示第二百六十五號

來十一月十六日ヨリ左ノ通郵便受取所ヲ改稱ス
但印章類ハ當分ノ内從前ノモノヲ使用ス

明治三十一年十月七日

遞信大臣林 有造

位	現 所 名	改 稱 所 名
東京市日本橋區堀江町	堀江町郵便受取所	日本橋堀江町郵便受取所
東京市日本橋區本石町四丁目	本石町四丁目郵便受取所	日本橋本石町郵便受取所
東京市日本橋區橋町四丁目	橋町郵便受取所	日本橋橋町郵便受取所
東京市日本橋區小傳馬町三丁目	小傳馬町郵便受取所	日本橋小傳馬町郵便受取所
東京市日本橋區松島町	松島町郵便受取所	日本橋松島町郵便受取所
東京市日本橋區室町三丁目	室町郵便受取所	日本橋室町郵便受取所

東京市京橋區銀座四丁目
 東京市京橋區南傳馬町二丁目
 東京市京橋區五郎兵衛町
 東京市京橋區水谷町
 東京市京橋區東邊町一丁目
 東京市京橋區新宮町一丁目
 東京市芝區松町四丁目
 東京市芝區二本榎一丁目
 東京市芝區櫻田本郷町
 東京市芝區柴井町
 東京市淺草區新吉原揚屋町
 東京市淺草區淺草馬道町五丁目
 東京市淺草區淺草須賀町
 東京市淺草區淺草黑船町
 東京市神田區淺草橋場町
 東京市神田區南榮物町
 東京市神田區一ツ橋通町
 東京市神田區猿樂町一丁目
 東京市神田區三河町一丁目
 東京市神田區松田町
 東京市神田區佐久間町二丁目
 東京市本郷區駒込淺草町
 東京市本郷區駒込平河町五丁目
 東京市本郷區駒込中六番町
 東京市本郷區三番町
 東京市本郷區飯田町三丁目
 東京市赤坂區青山南町二丁目
 東京市麻布區麻布市兵衛町二丁目
 東京市麻布區麻布三軒家町

銀座郵便受取所
 南傳馬町郵便受取所
 五郎兵衛町郵便受取所
 八町堀水谷町郵便受取所
 櫻田本郷郵便受取所
 新宮町郵便受取所
 松町郵便受取所
 二本榎郵便受取所
 櫻田本郷町郵便受取所
 柴井町郵便受取所
 新吉原揚屋町郵便受取所
 馬道町郵便受取所
 須賀町郵便受取所
 黒船町郵便受取所
 橋場町郵便受取所
 今川橋郵便受取所
 一ツ橋通郵便受取所
 猿樂町郵便受取所
 三河町郵便受取所
 松田町郵便受取所
 佐久間町郵便受取所
 駒込淺草町郵便受取所
 平河町郵便受取所
 中六番町郵便受取所
 三番町郵便受取所
 飯田橋通郵便受取所
 青山南町郵便受取所
 市兵衛町郵便受取所
 三軒家町郵便受取所

京橋銀座郵便受取所
 京橋南傳馬町郵便受取所
 京橋五郎兵衛町郵便受取所
 京橋八町堀水谷町郵便受取所
 京橋東邊町郵便受取所
 京橋新宮町郵便受取所
 芝濱松町郵便受取所
 芝二本榎郵便受取所
 芝櫻田本郷町郵便受取所
 芝柴井町郵便受取所
 淺草新吉原郵便受取所
 淺草馬道町郵便受取所
 淺草須賀町郵便受取所
 淺草黒船町郵便受取所
 淺草橋場町郵便受取所
 神田今川橋郵便受取所
 神田一ツ橋通郵便受取所
 神田猿樂町郵便受取所
 神田三河町郵便受取所
 神田松田町郵便受取所
 神田佐久間町郵便受取所
 本郷駒込淺草町郵便受取所
 駒込平河町郵便受取所
 駒込中六番町郵便受取所
 駒込三番町郵便受取所
 駒込飯田橋通郵便受取所
 赤坂青山南町郵便受取所
 麻布市兵衛町郵便受取所
 麻布三軒家町郵便受取所

東京市麻布區飯倉町四丁目
 東京市麻布區六本木町
 東京市下谷區谷中三崎町
 東京市下谷區南稻荷町
 東京市下谷區池ノ端仲町
 東京市牛込區市谷田町一丁目
 東京市牛込區牛込橋下町
 東京市牛込區神樂町一丁目
 東京市牛込區牛込土八幡町
 東京市牛込區牛込馬場下町
 東京市小石川區小石川大塚町
 東京市小石川區小石川水道町
 東京市小石川區小石川向水町
 東京市四谷區四谷十一丁目
 東京市四谷區市谷片町
 東京市本所區中ノ郷元町
 東京市深川區深川万年町一丁目
 東京市深川區深川下町
 武藏國北足立郡志木町
 横濱市戸部町二丁目
 横濱市野毛町一丁目
 横濱市初音町二丁目
 横濱市石川町三丁目
 武藏國久我郡本牧村大字北方
 相模國三浦郡横須賀町大字大瀧
 相模國三浦郡横須賀町大字逸見
 静岡市追手町
 静岡市新通大工町

飯倉町郵便受取所
 六本木町郵便受取所
 谷中三崎町郵便受取所
 南稻荷町郵便受取所
 池ノ端仲町郵便受取所
 市谷田町郵便受取所
 牛込橋下町郵便受取所
 牛込神樂町一丁目郵便受取所
 牛込土八幡町郵便受取所
 馬場下町郵便受取所
 大塚町郵便受取所
 小日向水道町郵便受取所
 小日向向水町郵便受取所
 四谷十一丁目郵便受取所
 市谷片町郵便受取所
 中ノ郷元町郵便受取所
 萬年町郵便受取所
 深川下町郵便受取所
 深川下町郵便受取所
 志木村郵便受取所
 戸部町郵便受取所
 野毛町郵便受取所
 初音町郵便受取所
 石川町郵便受取所
 上野町郵便受取所
 大瀧町郵便受取所
 逸見町郵便受取所
 追手町郵便受取所
 新通郵便受取所

麻布飯倉町郵便受取所
 麻布六本木町郵便受取所
 下谷谷中三崎町郵便受取所
 下谷南稻荷町郵便受取所
 下谷池ノ端仲町郵便受取所
 牛込市谷田町郵便受取所
 牛込橋下町郵便受取所
 牛込神樂町郵便受取所
 牛込土八幡町郵便受取所
 牛込馬場下町郵便受取所
 小石川大塚町郵便受取所
 小石川小日向水道町郵便受取所
 小石川小日向向水町郵便受取所
 四谷見付外郵便受取所
 四谷市谷片町郵便受取所
 本所中ノ郷元町郵便受取所
 深川萬年町郵便受取所
 深川下町郵便受取所
 深川下町郵便受取所
 志木郵便受取所
 横濱戸部町郵便受取所
 横濱野毛町郵便受取所
 横濱初音町郵便受取所
 横濱石川町郵便受取所
 横濱上野町郵便受取所
 横濱大瀧町郵便受取所
 横濱逸見町郵便受取所
 静岡追手町郵便受取所
 静岡新通郵便受取所

靜岡市靜岡宿
 相模國三浦郡浦郷村大字田浦字船越新田
 名古屋市本町
 名古屋市古渡町
 名古屋市若松町
 名古屋市伏見町
 名古屋市押切町
 名古屋市門前町
 名古屋市矢場町
 名古屋市鹽町
 名古屋市傳馬町
 名古屋市東門前町
 名古屋市舟入町
 名古屋市橋町
 名古屋市江川町
 名古屋市石町
 名古屋市赤塚町
 名古屋市吳服町
 名古屋市新柳町
 三河國額田郡岡崎町大字連尺
 岐阜市本町
 岐阜市富茂登字湊町
 津市伊豫町
 津市下部田村
 伊勢國桑名郡桑名町大字矢田町
 伊勢國度會郡宇治山田町大字河崎町
 京都市上京區一條通小川東(入西ノ口町)
 京都市上京區押小路通鼓屋町東(入橋町)
 京都市上京區寺町通丸太町下(入下御靈前町)

傳馬町郵便受取所
 浦郷村郵便受取所
 本町郵便受取所
 古渡町郵便受取所
 新地郵便受取所
 伏見町郵便受取所
 押切町郵便受取所
 門前町郵便受取所
 矢場町郵便受取所
 鹽町郵便受取所
 傳馬町郵便受取所
 東門前町郵便受取所
 船入町郵便受取所
 橋町郵便受取所
 江川町郵便受取所
 石町郵便受取所
 赤塚町郵便受取所
 吳服町郵便受取所
 新柳町郵便受取所
 連尺郵便受取所
 本町郵便受取所
 河原湊町郵便受取所
 伊豫町郵便受取所
 下部田郵便受取所
 矢田町郵便受取所
 河崎町郵便受取所
 一條郵便受取所
 押小路鼓屋町郵便受取所
 丸太町郵便受取所

靜岡傳馬町郵便受取所
 橫須賀船越郵便受取所
 名古屋本町郵便受取所
 名古屋古渡町郵便受取所
 名古屋新地郵便受取所
 名古屋伏見町郵便受取所
 名古屋押切町郵便受取所
 名古屋門前町郵便受取所
 名古屋矢場町郵便受取所
 名古屋鹽町郵便受取所
 名古屋傳馬町郵便受取所
 名古屋東門前町郵便受取所
 名古屋船入町郵便受取所
 名古屋橋町郵便受取所
 名古屋江川町郵便受取所
 名古屋石町郵便受取所
 名古屋赤塚町郵便受取所
 名古屋吳服町郵便受取所
 名古屋新柳町郵便受取所
 岡崎連尺町郵便受取所
 岐阜本町郵便受取所
 岐阜河原湊町郵便受取所
 津伊豫町郵便受取所
 津下部田郵便受取所
 桑名矢田町郵便受取所
 山田河崎町郵便受取所
 京都一條郵便受取所
 京都押小路鼓屋町郵便受取所
 京都丸太町郵便受取所

京都市上京區今出川通七本松西(入真盛町)
 京都市上京區二條通兩替町東(入東玉屋町)
 京都市上京區今出川通寺町東(入米屋町)
 京都市上京區下立賣通堀川西橋詰町
 京都市上京區下立賣通千本西(入稻葉町)
 京都市上京區淨福寺通今出川下(入堅龜屋町)
 京都市上京區一條通大宮東(入北下石橋南半町)
 京都市上京區仁和寺街道千本西(入五番町)
 京都市上京區丸太町通二條南(入妙満寺前町)
 京都市上京區丸太町通土手町東(入倭屋町)
 京都市上京區丸太町通上立賣南(入裏築地町)
 京都市上京區二條通川端東(入孫橋町)
 京都市上京區丸太町通室町西(入大門町)
 京都市上京區中立賣通室町東(入東町)
 京都市上京區西洞院下立賣南(入東裏辻町)
 京都市上京區三條通堀川東(入橋東詰町)
 京都市上京區大和路松原上(入弓矢町)
 京都市下京區三條通大橋東詰大橋町
 京都市下京區四條通室町東(入函谷鉾町)
 京都市下京區松原通鳥丸東(入倭成町)
 京都市下京區大宮通三哲下(入堀内町)
 京都市下京區大和路通四條上(入常盤寺)
 京都市下京區七條通油小路東(入大黒町)
 京都市下京區中珠敷屋町東洞院東(入二十八講町)
 京都市下京區五條通橋東五町目
 京都市下京區四條通寺町西(入丸奈良物町)
 京都市下京區馬町伏見街道東四町目鏡鑪町

今出川七本松郵便受取所
 二條烏丸郵便受取所
 寺町今出川郵便受取所
 下立賣堀川郵便受取所
 下立賣千本郵便受取所
 寺ノ内堀川郵便受取所
 淨福寺今出川郵便受取所
 一條大宮郵便受取所
 五番町郵便受取所
 寺町二條郵便受取所
 三本木郵便受取所
 室町上立賣郵便受取所
 二條川端郵便受取所
 室町丸太町郵便受取所
 三條寺町郵便受取所
 中立賣室町郵便受取所
 西洞院下立賣郵便受取所
 三條堀川郵便受取所
 大和路郵便受取所
 三條大橋郵便受取所
 四條室町郵便受取所
 松原烏丸郵便受取所
 大宮三哲郵便受取所
 四條繩手郵便受取所
 七條油小路郵便受取所
 中珠敷屋町郵便受取所
 五條坂郵便受取所
 四條寺町郵便受取所
 馬町郵便受取所

京都今出川七本松郵便受取所
 京都二條烏丸郵便受取所
 京都寺町今出川郵便受取所
 京都下立賣堀川郵便受取所
 京都下立賣千本郵便受取所
 京都寺ノ内堀川郵便受取所
 京都淨福寺今出川郵便受取所
 京都一條大宮郵便受取所
 京都五番町郵便受取所
 京都寺町二條郵便受取所
 京都三本木郵便受取所
 京都室町上立賣郵便受取所
 京都二條川端郵便受取所
 京都室町丸太町郵便受取所
 京都三條寺町郵便受取所
 京都中立賣室町郵便受取所
 京都西洞院下立賣郵便受取所
 京都三條堀川郵便受取所
 京都大和路郵便受取所
 京都三條大橋郵便受取所
 京都四條室町郵便受取所
 京都松原烏丸郵便受取所
 京都大宮三哲郵便受取所
 京都四條繩手郵便受取所
 京都七條油小路郵便受取所
 京都中珠敷屋町郵便受取所
 京都五條坂郵便受取所
 京都四條寺町郵便受取所
 京都馬町郵便受取所

京都市下京區本町通正面上ル四丁目
 京都市下京區五條通東洞院西へ入松屋町
 京都市下京區大宮通松原上ル高辻大宮町
 京都市下京區三條通白川橋東四丁目中ノ町
 京都市下京區正面通高瀬西へ入八王子町
 京都市下京區新町通三條下ル三條町
 京都市下京區三條通河原町東へ入中島町
 京都市下京區四條通堀川西へ入唐津屋町
 京都市下京區東木屋町通佛光寺下ル和泉屋町
 京都市下京區島原仲ノ町
 京都市下京區五條通柳馬場西へ入鹽籠町
 京都市下京區佛光寺通堀川西入晒屋町
 京都市下京區寺町通松原下ル植松町
 京都市下京區新町通繪師下ル百足屋町
 京都市下京區六角通高倉東へ入堀ノ上町
 京都市下京區東洞院通錦小路北へ入元武田町
 京都市下京區新町魚棚上ル姪子町
 京都市下京區島丸通魚棚下ル北町
 京都市下京區新橋通大和大路東へ入三町目
 京都市下京區下河原通六坂島居前下ル月見町
 山城國紀伊郡原町
 山城國紀伊郡伏見町大字南濱
 近江國蒲生郡西大路村大字西大路
 大阪市西區新町通五丁目
 大阪市西區北堀江下通二丁目
 大阪市南區長堀橋筋二丁目
 大阪市東區瓦町二丁目
 大阪市西區中通一丁目
 大阪市西區立賣堀北通四丁目

大佛前郵便受取所
 五條東洞院郵便受取所
 大宮松原郵便受取所
 三條廣道郵便受取所
 七條米濱郵便受取所
 三條新町郵便受取所
 三條小橋郵便受取所
 四條堀川郵便受取所
 佛光寺橋郵便受取所
 島原郵便受取所
 五條柳馬場郵便受取所
 堀川佛光寺郵便受取所
 寺町松原郵便受取所
 新町繪師郵便受取所
 六角高倉郵便受取所
 東洞院錦小路郵便受取所
 新町魚棚郵便受取所
 鳥丸魚棚郵便受取所
 林下町郵便受取所
 月見町郵便受取所
 柳原庄郵便受取所
 南濱郵便受取所
 西大路村郵便受取所
 新町通五丁目郵便受取所
 北堀江下通二丁目郵便受取所
 長堀橋筋二丁目郵便受取所
 瓦町郵便受取所
 初郵便受取所
 立賣堀郵便受取所

京都大佛前郵便受取所
 京都五條東洞院郵便受取所
 京都大宮松原郵便受取所
 京都三條廣道郵便受取所
 京都七條米濱郵便受取所
 京都三條新町郵便受取所
 京都三條小橋郵便受取所
 京都四條堀川郵便受取所
 京都佛光寺橋郵便受取所
 京都島原郵便受取所
 京都五條柳馬場郵便受取所
 京都堀川佛光寺郵便受取所
 京都寺町松原郵便受取所
 京都新町繪師郵便受取所
 京都六角高倉郵便受取所
 京都東洞院錦小路郵便受取所
 京都新町魚棚郵便受取所
 京都島丸魚棚郵便受取所
 京都林下町郵便受取所
 京都月見町郵便受取所
 京都柳原庄郵便受取所
 伏見南濱郵便受取所
 西大路郵便受取所
 大阪新町通五丁目郵便受取所
 大阪北堀江下通二丁目郵便受取所
 大阪長堀橋筋二丁目郵便受取所
 大阪瓦町郵便受取所
 大阪初郵便受取所
 大阪立賣堀郵便受取所

大阪市南區順慶町三丁目
 大阪市北區曾根崎新地二丁目
 大阪市北區安治川通南二丁目
 大阪市北區曾根崎
 大阪市西區三軒家大字三軒家
 和歌山市長町五丁目
 福井市春山上町
 福井市尾上下町
 越前國敦賀郡敦賀町大字瀧花
 金澤市上石引町
 金澤市英町
 金澤市笠市町
 新潟市東中通一番町
 信濃國上水内郡吉田村大字吉田
 仙臺市國分町三丁目
 岩代國安達郡二本松町安竹田町
 岩代國北會津郡若松町大字新橋
 山形市旅籠町
 山形市十日町
 米澤市大町
 羽後國飽海郡酒田町大字濱町
 青森市新町
 盛岡市材木町
 盛岡市東中野村字新登町
 秋田市上通町
 弘前市土手町
 陸中國西磐井郡中里村
 函館區惠比須町
 函館區辨天町

順慶町郵便受取所
 櫻橋郵便受取所
 南安治川郵便受取所
 梅田郵便受取所
 三軒家郵便受取所
 東長町郵便受取所
 春山上町郵便受取所
 尾上下町郵便受取所
 瀧花町郵便受取所
 石引町郵便受取所
 英町郵便受取所
 笠市町郵便受取所
 新潟東中通一番町郵便受取所
 吉田村郵便受取所
 國分町郵便受取所
 竹田町郵便受取所
 新橋町郵便受取所
 新橋町郵便受取所
 旅籠町郵便受取所
 十日町郵便受取所
 大町郵便受取所
 濱町郵便受取所
 新町郵便受取所
 材木町郵便受取所
 新登町郵便受取所
 上通町郵便受取所
 上土手町郵便受取所
 中里村郵便受取所
 惠比須町郵便受取所
 辨天町郵便受取所

大阪順慶町郵便受取所
 大阪櫻橋郵便受取所
 大阪南安治川郵便受取所
 大阪梅田郵便受取所
 大阪三軒家郵便受取所
 和歌山東長町郵便受取所
 福井春山上町郵便受取所
 福井尾上下町郵便受取所
 敦賀瀧花郵便受取所
 金澤上石引町郵便受取所
 金澤英町郵便受取所
 金澤笠市町郵便受取所
 新潟東中通一番町郵便受取所
 仙臺國分町郵便受取所
 岩代二本松町郵便受取所
 若松新橋町郵便受取所
 山形旅籠町郵便受取所
 山形十日町郵便受取所
 米澤大町郵便受取所
 酒田濱町郵便受取所
 青森新町郵便受取所
 盛岡材木町郵便受取所
 盛岡新登町郵便受取所
 秋田上通町郵便受取所
 弘前土手町郵便受取所
 中里郵便受取所
 函館惠比須町郵便受取所
 函館辨天町郵便受取所

函館區鶴岡町
函館區海岸町
後志國高島郡手宮町
後志國小樽郡港町
札幌區南二條西一丁目
神戶市榮町通四丁目
神戶市下山手通六丁目
神戶市北長狹通三丁目
神戶市塚本通一丁目
神戶市東出町中組
神戶市新町
姫路市大野町
備中國賀陽郡高松村大字原古才
美作國東兩條郡津山東町大字中之町
岡山市片瀨町
岡山市下出石町
岡山市古京町
鳥取市立川町二丁目
廣島市界町四丁目
廣島市京橋町
安藝國佐伯郡五海市村大字五日市
備後國御調郡貫村大字東野字松濱
備後國蘆品郡網引村大字宮内
備後國深安郡千田村大字千田
松江市末次本町
赤間關市西南部町
赤間關市豐前田町
周防國吉敷郡下宇野令村字湯田

鶴岡町郵便受取所
海岸町郵便受取所
手宮町郵便受取所
港町郵便受取所
南二條西一丁目郵便受取所
榮町郵便受取所
下山手通郵便受取所
北長狹通郵便受取所
神戶新橋郵便受取所
東出町郵便受取所
新町郵便受取所
姫路大野町郵便受取所
原古才村郵便受取所
中之町郵便受取所
片瀨町郵便受取所
下出石町郵便受取所
古京町郵便受取所
立川町郵便受取所
界町郵便受取所
京橋町郵便受取所
白島郵便受取所
五日市村郵便受取所
東野村郵便受取所
宮内村郵便受取所
千田村横尾郵便受取所
本町郵便受取所
西南部町郵便受取所
豐前田町郵便受取所
湯田町郵便受取所

函館區鶴岡町郵便受取所
函館區海岸町郵便受取所
小樽手宮町郵便受取所
小樽港町郵便受取所
札幌區南二條郵便受取所
神戶榮町郵便受取所
神戶下山手通郵便受取所
神戶北長狹通三丁目郵便受取所
兵庫新道郵便受取所
兵庫東出町郵便受取所
兵庫新町郵便受取所
姫路野里郵便受取所
高松郵便受取所
津山中之町郵便受取所
岡山片瀨町郵便受取所
岡山下出石町郵便受取所
岡山古京町郵便受取所
鳥取立川町郵便受取所
廣島界町郵便受取所
廣島京橋郵便受取所
廣島白島郵便受取所
五日市郵便受取所
松濱郵便受取所
宮内郵便受取所
横尾郵便受取所
松江本町郵便受取所
赤間關市西南部郵便受取所
赤間關市豐前田郵便受取所
山口湯田町郵便受取所

德島市二軒屋町
德島市佐古町
德島市福島町
德島市助任町
高松市鹽屋町
高松市南新町
高松市西通町
松山市本町一丁目
土佐國安藝郡田野村字東町
土佐國香美郡夜須村大字坪井
土佐國香美郡野市村大字西野
高知市蓮池町
高知市農人町
伊豫國周桑郡三芳村字三芳町
熊本市京町一丁目
熊本市南新坪井町
熊本市迎町字迎大工町
肥後國飽託郡春日村
福岡市上市小路
久留米市瀬ノ下町
豐後國速見郡濱脇町
豐後國日田郡隈町大字竹田
豐後國日田郡豆田町大字豆田
長崎市今鍛冶屋町
長崎市惠美須町
長崎市東濱町
長崎市今博多町
佐賀市柳町
佐賀市道祖元町

二軒屋町郵便受取所
佐古町郵便受取所
福島郵便受取所
助任町郵便受取所
鹽屋町郵便受取所
南新町郵便受取所
西通町郵便受取所
古町郵便受取所
田野村郵便受取所
夜須村郵便受取所
野市村郵便受取所
蓮池町郵便受取所
農人町郵便受取所
三芳村郵便受取所
京町郵便受取所
坪井町郵便受取所
迎大工町郵便受取所
春日郵便受取所
中石堂町郵便受取所
瀬ノ下郵便受取所
濱脇郵便受取所
隈町郵便受取所
豆田郵便受取所
今鍛冶屋町郵便受取所
惠美須町郵便受取所
東濱町郵便受取所
今博多町郵便受取所
柳町郵便受取所
道祖元町郵便受取所

德島二軒屋町郵便受取所
德島佐古町郵便受取所
德島福島町郵便受取所
德島助任町郵便受取所
高松鹽屋町郵便受取所
高松南新町郵便受取所
高松西通町郵便受取所
松山古町郵便受取所
田野郵便受取所
夜須郵便受取所
野市郵便受取所
高知蓮池町郵便受取所
高知農人町郵便受取所
三芳郵便受取所
熊本京町郵便受取所
熊本坪井町郵便受取所
熊本迎町郵便受取所
熊本春日郵便受取所
博多中石堂町郵便受取所
久留米瀬ノ下町郵便受取所
別府濱脇町郵便受取所
日田隈町郵便受取所
日田豆田町郵便受取所
長崎今鍛冶屋町郵便受取所
長崎惠美須町郵便受取所
長崎東濱町郵便受取所
長崎今博多町郵便受取所
佐賀柳町郵便受取所
佐賀道祖元町郵便受取所

鹿兒島市金生町
鹿兒島市下荒田町
鹿兒島市西田町
鹿兒島市和泉屋町
薩摩國日置郡下伊集院村大字苗代川
薩摩國日置郡串木野村大字串木野
薩摩國川邊郡勝目村大字中山田
薩摩國川邊郡西南方村大字坊村
日向國宮崎郡赤江村大字城ヶ崎

金生町郵便受取所
下荒田町郵便受取所
西田町郵便受取所
和泉屋町郵便受取所
苗代川村郵便受取所
串木野町郵便受取所
中山田村ノ内勝目郵便受取所
坊郵便受取所
城ヶ崎町郵便受取所

鹿兒島金生町郵便受取所
鹿兒島下荒田町郵便受取所
鹿兒島西田町郵便受取所
鹿兒島和泉屋町郵便受取所
苗代川郵便受取所
串木野郵便受取所
中山田郵便受取所
坊郵便受取所
宮崎城ヶ崎郵便受取所

○遞信省告示第二百六十六號
港務局所屬繫船浮標使用料規程左ノ通相定ム

明治三十一年十月七日

遞信大臣林 有造

港務局所屬繫船浮標使用料規程

第一條 繫船浮標使用料ハ使用時間二十四時ニ付三圓トス但二十四時未滿ノ端數ハ二十四時トシテ計算ス
第二條 前條ノ使用時間ハ港務局ニ於テ使用指定ノ時ヨリ起算ス
第三條 既納ノ繫船浮標使用料ハ使用者ニ於テ實際使用セサルトキト雖モ之ヲ還付セス

○陸軍省告示第十四號

來明治三十一年召募スヘキ士官候補生、地方幼年學校生徒ノ人員及志願者心得竝一年志願兵志願者試験格等左ノ通定ム

明治三十一年十月八日

陸軍大臣子爵桂 太郎

士官候補生 採用スヘキ人員豫定

歩兵科 三百三十一人
騎兵科 四十六人
野戰砲兵 八十二人
要塞砲兵 四十二人
地方幼年學校生徒 每校約五十人
志願者心得

工兵科 二十四人
輜重兵科 二十五人
計 五百五十人

一 志願シ得ヘキ者ノ生年月

士官候補生 明治十年一月ヨリ同十五年一月マテニ出生ノ者
地方幼年學校生徒 明治十六年十月ヨリ同十九年十月マテニ出生ノ者

二 士官候補生ヲ入隊セシムヘキ兵種隊號

歩兵科 近衛歩兵第一乃至第四聯隊、步兵第一乃至第二十四聯隊及步兵第二十九乃至第四十八聯隊、獨立歩兵大隊

騎兵科 近衛騎兵聯隊、騎兵第一乃至第六聯隊及騎兵第八乃至第十二聯隊

砲兵科 近衛野戰砲兵聯隊、野戰砲兵第一乃至第六聯隊及野戰砲兵第八乃至第十二聯隊

東京灣要塞砲兵聯隊、由良要塞砲兵聯隊、下ノ關要塞砲兵聯隊、吳要塞砲兵聯隊、佐世保要塞砲兵聯隊、藝伎要塞砲兵大隊、舞鶴要塞砲兵大隊、函館要塞砲兵大隊

工兵科 近衛工兵大隊、工兵第一乃至第六大隊及工兵第八乃至第十二大隊

輜重兵科 近衛輜重兵大隊、輜重兵第一乃至第六大隊及輜重兵第八乃至第十二大隊

一年志願兵志願者ノ學科試験
一年志願兵志願者ノ學科試験ハ士官候補生志願者ノ學科試験ト同日ヨリ之ヲ行フ其試験格左ノ如シ

試驗格

讀書 漢文
作文 漢字交り文
算術
代數學

幾何學
地理
歷史
圖畫

日本地理、外國地理
日本歷史、外國歷史
用器畫、自在畫

備考

試驗ノ程度ハ尋常中學全科卒業ノ學力ニ比準ス

○陸軍省告示第十五號 陸軍中央幼年學校生徒入學期日及納金ニ關スル件左ノ通定ム

陸軍大臣子爵桂 太郎

明治三十一年十月八日

- 一 地方幼年學校卒業ノ者ハ其ノ年九月一日中央幼年學校ニ入學セシム
- 二 中央幼年學校ニ入學ヲ命セラレタル者ヲ特待生ハ更ニ身元保證人ニ名ヲ定メ入學期日前ニ左ノ書式ニ依リ納金證書ヲ學校長ニ差出スヘシ

納金證書(用紙美濃白紙 收入印紙貼用)

今般中央幼年學校へ入學被命候ニ付テハ入校中ノ費用ハ御規定ノ通可相納萬一本人納兼候節ハ身元保證人ニ於テ可相納候仍テ身元保證人連署證書如斯候也

年月日

本人

氏 名印

身元保證人

氏 名印

府(縣)族籍職業

氏 名印

府(縣)郡(市)町(村)番地

氏 名印

同

氏 名印

陸軍中央幼年學校長氏名殿

前書之通相違無之候也

年月日

府(縣)郡(市)長 氏

名印

三 中央幼年學校生徒ノ納ムヘキ金額ハ左ノ如シ

半特待生

初度被服料金八圓
每月納金三圓五十錢

自費生

初度被服料金二十四圓
每月納金七圓

四 前項ノ納金ハ實費ヲ精算シ不足スルトキハ之ヲ追納セシメ殘餘ハ之ヲ還付ス

五 初度被服料及入學常月ノ納金ハ入學ノ前月二十八日迄ニ爾後毎月ノ納金ハ其ノ前月二十八日迄ニ身元保證人ヨリ中央幼年學校ニ納付スヘシ但シ便宜ニ依リ若干月分ヲ前納スルコトヲ得

○臺灣總督府告示第七十二號(官報十月八日)

明治三十一年九月二十五日ヨリ臺北縣景尾郵便電信局ニ於テ非常通信ヲ取扱ハシム

明治三十一年九月二十七日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○內務省告示第一百號

明治三十二年第一回醫術開業試驗並藥劑師試驗舉行ノ地及期日左ノ通相定ム

明治三十一年十月十日

內務大臣伯爵板垣退助

醫術開業試驗

東京府下東京市 四月六日

東京府下東京市 六月八日

大阪府下大阪市 五月八日

大阪府下大阪市 六月一日

長崎縣下長崎市 四月十五日

長崎市ニ於テハ齒科試驗ヲ施行セス

○賞勳局告示第一號
從來勳章記章褒章等受領者諸届出ノ節地方廳ヲ經由シタルモノ自今其儀ニ及ハス直ニ賞勳局總裁
ヘ差出スヘシ

明治三十一年十月十日

賞勳局總裁子爵大給恆

○文部省告示第六十號

陸軍中央幼年學校

右ハ明治二十六年勅令第百八十三號文官任用令第二條第三ニ依リ官立公立尋常中學校ト同等以上
ノモノト認ム

明治三十一年十月十一日

文部大臣尾崎行雄

○遞信省告示第二百六十七號

汽船臺東丸外八十五艘ヘ左ノ信號符字ヲ附ス
明治三十一年十月十一日

遞信大臣林 有造

信號符字	船免狀番號	船名	種類	定數	港	船主
HNBKJ	二一四三二143	臺東丸 Taiō Maru	汽大	阪	三井物産合名會社	
HNBK	二一四四二144	陽陽丸 Geiyō Maru	帆	中野	藤井 彌一	
HNBBL	二一四五二145	花蓮丸 Karen Maru	汽大	阪	三井物産合名會社	
HNBMB	二一四六二146	永田丸 Nagata Maru	汽大	阪	永田 三十郎	
HNBPP	二一四七二147	車城丸 Shinjō Maru	汽大	阪	三井物産合名會社	
HNBQQ	二一四八二148	大安丸 Dainan Maru	汽大	阪	三井物産合名會社	

HNBRR	二一四九二149	恒春丸 Koshun Maru	汽大	阪	三井物産合名會社
HNBBS	二一五〇二150	綠吉丸 Rikyoshi Maru	帆	新越	田代 三吉
HNBTT	二一五一二151	幸久丸 Kōjisa Maru	帆	新川	岡本 利助
HNBVV	二一五二二152	第一大浦丸 Ōura Maru No.1	帆	肥前	津前 熊次郎
HNBWW	二一五三二153	虎丸 Tora Maru	帆	東	長谷部鐵之助
HNBCB	二一五四二154	寶神丸 Hoshin Maru	帆	東	加藤 初太郎
HNCDD	二一五五二155	廣榮丸 Kōryō Maru	帆	三土	村田 芳太郎
HNCFF	二一五六二156	蛭子丸 Yelisu Maru	帆	長門	合田 濱藏
HNCGG	二一五七二157	福榮丸 Fukuyei Maru	帆	安藝	谷本 嘉四郎
HNCJJ	二一五八二158	走航丸 Sōko Maru	帆	佐江	鈴木 信太郎
HNCCK	二一五九二159	開進丸 Kaishin Maru	帆	大	尾崎 作治郎
HNCCL	二一六〇二160	幸福丸 Kōfuku Maru	帆	大陸	島田 留次郎
HNCMM	二一六一二161	仁王丸 Nō Maru	帆	肥前	三菱合資會社
HNCPP	二一六二二162	明石丸 Akashi Maru	帆	肥前	三菱合資會社
HNCQQ	二一六三二163	神丸 Jinsha Maru	帆	伊豫	胡井 役次
HNCRR	二一六四二164	第一順徳丸 Junto Maru No.1	帆	駿河	町 杉山 良太郎
HNCSS	二一六五二165	第一大島丸 Ōshima Maru No.1	帆	遠江	川島 平次郎
HNCTT	二一六六二166	第二大島丸 Ōshima Maru No.2	帆	遠江	川島 平次郎

H N G K	二二〇四二二〇四	住社	丸 Sumisha Maru	帆	伊豫	北條	吉宮	千代
H N G L	二二〇五二二〇五	八住	丸 Suniye Maru No. 8.	帆	安藝	月田	兒玉	伊勢松
H N G M	二二〇六二二〇六	福森	丸 Fukuju Maru	帆	安藝	江崎	藤本	淺吉
H N G P	二二〇七二二〇七	榮德	丸 Yeikoku Maru	帆	下土	田佐	平田	政太郎
H N G Q	二二〇八二二〇八	順寶	丸 Junho Maru No. 2.	帆	東安	野藝	村本	春吉
H N G R	二二〇九二二〇九	二住	丸 Suminoye Maru No. 2.	帆	安藝	戸田	堀内	調右衛門
H N G S	二二一〇二二一〇	福榮	丸 Fukuyei Maru	帆	東安	野藝	高槻	啓太郎
H N G T	二二一一二二一一	五郎大	丸 Ohama Maru No. 5.	帆	備前	前	大瀬	船泊株式
H N G V	二二一二二二一二	豐永	丸 Bunyei Maru	帆	下備	前	岩津	房次郎
H N G W	二二一三二二一三	日吉	丸 Hiyoshi Maru	帆	阿波	波	谷口	幸二郎
H N J B	二二一四二二一四	貫榮	丸 Kwanyei Maru	帆	神戶	津	戀田	清三郎
H N J C	二二一五二二一五	徳力	丸 Tokuriki Maru	帆	淡路	路	若松	政吉
H N J D	二二一六二二一六	大寶	丸 Daiho Maru	帆	御影	津	佐野	正太郎
H N J F	二二一七二二一七	鷹一	丸 Takachi Maru	帆	阿波	波	千葉	伊三郎
H N J G	二二一八二二一八	姪子	丸 Yebisu Maru	帆	阿波	波	瀧野	藤吉
H N J K	二二一九二二一九	兄弟	丸 Kiokai Maru	帆	土佐	里	久住	房五郎
H N J L	二二二〇二二二〇	枋野	丸 Boito Maru	汽	大	三井物産	合名	會社
H N J M	二二二二二二二二	勝利	丸 Shori Maru	帆	和歌山	市	橋	市左衛門

○大藏省告示第七十號

第三回發行

一無記名軍事公債證書額面六百圓

但明治三十一年六月渡以降利札附屬

內

百圓券

六枚

右明治二十八年勅令第三百二十七號ニ據リ陸軍省ヨリ一時賜金受給者ニ交付ノ手續中同三十一年三月七日岡山縣小田郡役所火災ノ際消滅セシ趣ヲ以テ代リ證書請求ニ付整理公債條例第二十條ニ據リ之ヲ交付セリ但消滅シタル證書ハ無効トス

明治三十一年十月十二日

大藏大臣松田正久

H N J Q	二二二三二二二三	辛久	丸 Kohisa Maru	帆	備前	水莊	岸本	流造
H N J R	二二二四二二二四	住重	丸 Suniui Maru	帆	井周	關防	竹代	彌太郎
H N J S	二二二五二二二五	浦安	丸 Urayasu Maru	帆	油周	防	中本	菊右衛門
H N J T	二二二六二二二六	大徳	丸 Daioku Maru	帆	佐賀	馬奈	倉成	萬作
H N J V	二二二七二二二七	浦通	丸 Seisui Maru	帆	伊豆	豆	山本	虎吉
H N J W	二二二八二二二八	若宮	丸 Wakamiya Maru	帆	伊豆	豆	山本	泰治郎
H N R B	二二〇四二三〇四	二八幡	丸 Yawata Maru No. 2.	帆	土佐	里	郷	龜七
H P D T	二四二二二四二二	二郎長	丸 Choon Maru No. 2.	帆	陸	石	横山	久太郎

此證書六枚

○遞信省告示第二百六十八號
廣島縣佐伯郡地御前村字阿品及比同縣下同郡嚴島町ノ内字小名切沖ニ設置ノ水底電線浮標修繕竣
工ニ依リ糞ニ設置シタル假浮標ヲ撤去シ本位置ニ復ス
明治三十一年十月十二日
遞信大臣林 有造

○外務省告示第十七號
在清國漢口帝國領事館本月十一日ヨリ開廳セリ
明治三十一年十月十三日
外務大臣伯爵大隈重信

○遞信省告示第二百六十九號
郵便電信取扱局所設置移轉郵便區變更等ニ關シ請願書ヲ提出セントスルトキハ管轄一等郵便電信
局ヲ經由スヘシ
明治三十一年十月十三日
遞信大臣林 有造

○海軍省告示第十六號
海軍少主計候補生四十五名採用ス明治三十一年十二月ニ於テ年齡滿二十年以上滿二十八年未滿
明治四十一年二月ヨリ同十ニシテ出身志願ノ者ハ明治三十年九月勅令第三百十四號海軍高等武官補充條
例及同年八月海軍省令第十五號海軍少主計候補生採用試驗規則 明治三十一年十月廿二日海軍省令第二十號及
ニ依リ明治三十一年十一月二十九日迄ニ海軍省經理局長ニ出願スヘシ
身體検査及學術試驗ハ明治三十一年十二月八日ヨリ海軍省內ニ於テ開始ス
明治三十一年十月十四日
海軍大臣侯爵西鄉從道

○文部省告示第六十一號
學生生徒ノ近視眼ヲ患フル者次第ニ増加スルハ教育上看過スヘカラサル所ナリ而シテ其原因多カ
ルヘシト雖モ日常誦讀スル圖書ノ文字印刷等衛生上不適當ナルモノアルコト其ノ原因タラスンハ
アラス依テ今回學校衛生顧問ニ諮詢シ檢定出願ノ教科用圖書ニ關シ左ノ標準ヲ定ム其他參考用圖
書等ニ關シテモ教師又ハ父兄ニ於テ十分ニ監督アランコトヲ望ム
明治三十一年十月十四日
文部大臣尾崎行雄

檢定出願ノ教科用圖書ノ文字印刷等ニ關シテハ明治三十二年四月一日以後左ノ標準ニ從フヘシ

一 文字	甲 漢字及假名	凡明朝活字初號(四十四ポイント)ノ大サ以上
乙 歐字	小學用ノモノ	尋常小學用ノモノ 年前期用ノモノ 尋常小學用ノモノ 年後中期用ノモノ 尋常小學用ノモノ 尋常小學用ノモノ 尋常小學用ノモノ 尋常小學用ノモノ
	小學用ノモノ	尋常小學用ノモノ 年前期用ノモノ 尋常小學用ノモノ 尋常小學用ノモノ 尋常小學用ノモノ 尋常小學用ノモノ 尋常小學用ノモノ 尋常小學用ノモノ

師範學校尋常中學校用ノモノ 同 四號(十四ポイント)ノ大サ以上
師範學校尋常中學校教科用圖書中ニ用フル註解例題參照若クハ之ニ類スルモノハ凡明朝活
字五號(十一ポイント)ヲ用フルコトヲ得
地圖挿畫表圖等ニ用フル文字ハ小學用ノモノニアリテハ凡明朝活字六號(八ポイント)著
色部ニハ五號師範學校尋常中學校用ノモノニアリテハ凡明朝活字七號(五ポイント半)著色
部ニハ六號マテヲ用フルコトヲ得

師範學校尋常中學校用ノモノ 凡「バイカ、オールドスタイル」(十二ポイント)ノ大サ以上
 師範學校尋常中學校歐文教科用圖書中註解例題參照若クハ之ニ類スルモノ、文字ハ凡「ロ
 ングプリマー、オールドスタイル」(十ポイント)マテヲ用フルコトヲ得
 師範學校尋常中學校歐文教科用圖書中地圖插畫表圖等ノ文字ハ凡「ミニオン、オールドスタ
 イル」(七ポイント)著色部ニハ「プレビア、オールドスタイル」(八ポイント)マテヲ用フルコト
 ヲ得

- 二 教科用圖書ハ習字科用ノモノヲ除キ文字ト文字トノ間ニ凡當該文字ノ四分ノ一以上ノ字間
 ヲ存スルヲ要ス
- 三 教科用圖書ハ習字科用ノモノヲ除キ行ト行トノ間ニ凡當該文字ノ大サ以上ノ行間ヲ存スル
 ヲ要ス但高等小學校用ノモノハ其行間ヲ凡當該文字ノ四分ノ三マテ減スルコトヲ得
 歐文ニアリテハ小學校用ノモノハ凡曲尺一分二厘師範學校尋常中學校用ノモノハ凡曲尺一
 分以上ノ行間ヲ存スルヲ要ス
- 四 教科用圖書中各行ノ長サ(輪廓アルモノハ其輪廓トモ)ハ習字科用ノモノヲ除キ縦行ノモノ
 ニアリテハ小學校用ノモノハ凡曲尺五寸五分以下其他ノモノハ凡曲尺五寸以下横行ノモノ
 若クハ歐文ノモノニアリテハ凡曲尺三寸三分以下スルヲ要ス
- 五 教科用圖書ノ用紙ハ白色ニシテ光澤ナク其質強靱ナルヲ要ス且成ルヘク裏面ノ文字若クハ
 圖書ノ表面ニ透ラサルモノヲ選フヘシ
- 六 印刷ハ其墨色眞黒ナルヘキハ勿論著色ノ部分ト雖モ區畫整正ニシテ鮮明ナルヲ要ス
- 七 掛圖ハ凡五間ノ距離ニ於テ其記載ノ事物ヲ明瞭ニ識別シ得ルヲ要ス
- 八 高等女學校教科用圖書ハ之ヲ用フヘキ學年ニ應シ小學校又ハ師範學校尋常中學校ノ例ニ準
 スヘシ

九 高等小學校第三學年以上ニ用フヘキ教科用圖書ハ師範學校尋常中學校ノ例ニ準スルコトヲ
 得

十 小學校教師用教科用圖書ハ總テ師範學校尋常中學校ノ例ニ準スヘシ

○遞信省告示第二百七十號
 明治三十一年十月二十日ヨリ十一月十日ニ至ル二十二日間越中國伏木ヲ船舶検査臨時執行地トシ
 船舶検査法ニ依リ船舶司檢所ノ検査ヲ受クヘキ船舶ノ検査ヲ執行ス
 明治三十一年十月十四日 遞信大臣林 有造

○遞信省告示第二百七十一號
 明治三十年七月遞信省告示第九十九號萬國電信條約附屬細目規則中各國適宜ニ規定スルヲ得ル事
 項ニ關スル外國電信主管局ノ決定中左ノ通り改正ス
 明治三十一年十月十四日 遞信大臣林 有造

「歐洲内外兩方法ニ關スル件」第一暗號電報(網第六條及目第六條第二節)ノ節「左ノ各電信主管局ハ萬國電信條約及細目規則ニ
 於テ定メタル制限ノ外他ノ制限ナク私報ニ暗號ヲ用フルヲ許ス」ノ項中「西班牙」ノ次ニ「西班牙殖民地」ヲ追加シ同伴同節「左ノ各
 電信主管局ハ特ニ制限ヲ設ケテ私報ニ暗號ヲ用フルヲ許ス」ノ項中「西班牙殖民地」ノ部ヲ削除ス

○海軍省告示第十七號
 本年三月海軍省告示第七號中海軍兵學校生徒「百二十四名」トアルヲ「百二十七名」ニ改ム
 明治三十一年十月十五日 海軍大臣侯爵西鄉從道

〔參照〕
 明治三十一年三月海軍省告示第七號海軍兵學校生徒召集並ニ志願者心得ナリ

○文部省告示第六十一號
 師範學校尋常中學校高等女學校教員免許規則(明治二十九年文部省令第十二號同三十一年同省令第二十一號參看)ニ依

リ來ル明治三十二年三月ヨリ檢定試驗施行スヘキニ付受驗者ハ本年十一月三十日マテニ願書ヲ地方廳ニ差出シ地方廳ハ同十二月二十八日マテニ當省ニ差出スヘシ但豫備試驗施行期日等ハ更ニ告示スヘシ

明治三十一年十月十五日

文部大臣尾崎行雄

○農商務省告示第二十二號

森林法第十六條ニ依リ左記保安林ヲ解除ス

明治三十一年十月十八日

農商務大臣大石正己

美作國大庭郡德田村大字上徳山字三平山六十三番ノ第二

保安林段別百三十四町九段四畝歩ノ内

一段別六十七町四段歩

所有者 德田村大字上徳山

同國同郡同村大字同字天谷千三百二十七番ノ第二保安林

一段別二十二町六段七畝歩

同

同國同郡同村大字下徳山字猶尾畝五百六十七番ノ第二保安林

一段別十七町三段歩

同 同村大字下徳山

同國同郡同村大字同字大平九百七番ノ第二保安林

一段別四十六町九段二畝歩

同

同國同郡同村大字同字苗代山中藤千九十二番ノ第一保安林

一段別二町四畝歩

同 長恆久藏外四十五名

同國同郡德田村大字下徳山字稅納千九十九番ノ第二保安林

一段別一町歩

同

同國同郡同村大字上福田字ニタ又仙二番ノ第一

一段別一町歩

同

保安林段別五十町歩ノ内

一段別三十五町歩

同 德田村大字上福田

同國同郡縣村大字下長田字杉谷二十五番ノ第二保安林

一段別二十七町五段五畝十九歩

同 縣村大字下長田

備前國津高郡野谷村大字菅野字落合二千六百四十番

保安林段別六町五段二十歩ノ内

同

一段別七畝二十三歩

同 野谷村大字 菅野

備中國小田郡塚村大字星田字黒田五千二百六十番ノ第三

保安林段別五段三畝歩ノ内

同

一段別一段八畝八歩

同 塚村大字星田

以上

○農商務省告示第二十三號

左ノ國有保安林解除ノ申請ハ採用セズ

備中國川上郡中村大字小泉字天神國有林

保安林段別八段五畝十七歩ノ内

一段別三段一畝十四歩

左ノ國有林保安林ニ編入ノ申請ハ採用セズ

美作國英田郡土居村大字白水字白水國有林

一段別 七十三町九段六畝歩

百十町九段四畝歩

明治三十一年十月十八日

農商務大臣大石正己

○大藏省告示第七十一號

第二回發行

一記名軍事公債證書額面五拾圓券附屬利札 三枚

泐號 五五七九四番

但明治三十一年十二月渡ヨリ同三十二年十二月渡マテ三期分

右鹿兒島縣肝屬郡鹿屋村中名千二十三番戸何源石所有ノ處明治三十一年八月十五日消滅ノ趣ヲ以テ代リ利札請求ニ付整理公債條例第二十條ニ據リ之ヲ交付セリ但消滅シタル利札ハ無効トス

明治三十一年十月十九日

大藏大臣松田正久

○大藏省告示第七十二號

第二回發行

一無記名軍事公債證書額面五拾圓券 一枚

泐號 四四五七貳番

但明治二十九年六月渡以降利札附屬

右熾手縣北閉伊郡小木村大字小本四十九番戸亡野崎千代藏所有ノ處明治二十九年六月十五日海嘯ノ害ニ罹リ消滅

第二回發行

一無記名軍事公債證書額面五拾圓券 一枚

泐號 四貳八參六番

但明治二十九年十二月渡以降利札附屬

右三重縣鈴鹿郡高津瀬村大字高宮十番屋敷澤井菊松所有ノ處明治二十九年九月七日水害ニ罹リ消滅

第三回發行

一無記名軍事公債證書額面五拾圓券 一枚

泐號 壹貳壹〇八番

但明治二十九年十二月渡以降利札附屬
右三重縣桑名郡長島村大字殿石七十番屋敷伊藤俊治所有ノ處明治二十九年八月三十日水害ニ罹リ消滅

以上消滅ノ趣ヲ以テ代リ證書請求ニ付整理公債條例第二十條ニ據リ之ヲ交付セリ但消滅シタル證書ハ無効トス

明治三十一年十月十九日

大藏大臣松田正久

○逓信省告示第二百七十二號

來十一月十六日ヨリ左ノ郵便局及郵便受取所ニ於テ郵便爲替及郵便貯金事務ヲ開始ス

明治三十一年十月十九日

河内國北河内郡中野郵便局
近江國栗太郡關ノ津郵便局
近江國伊香郡河合郵便局
肥前國南松浦郡世知原郵便局
肥前國西彼杵郡松島郵便局
肥前國虻田郡俱知安郵便局
肥前國虻田郡眞狩郵便局
後志國瀨棚郡利別郵便局
渡島國松前郡江良町郵便局
釧路國白糠郡白糠郵便局
陸前國栗原郡瀨峰郵便局
周防國佐波郡野谷郵便局
下野國那須郡伊王野郵便局

上野國利根郡高平郵便局
信濃國小縣郡和田郵便局
信濃國南安曇郡島々郵便局
羽後國北秋田郡白澤郵便局
陸奥國下北郡岩屋郵便局
陸奥國上閉伊郡宮守郵便局
伊豫國越智郡本庄郵便局
日向國西臼杵郡河内郵便局
大隅國熊毛郡壱永郵便局
安房國安房郡和田村郵便受取所
攝津國大阪市南區大阪生國魂前郵便受取所
相模國三浦郡横須賀邊見郵便受取所

相模國三浦郡横須賀船越郵便受取所
播磨國姫路市姫路野里郵便受取所
越後國新潟市新潟船場町郵便受取所
越後國新潟市新潟下古町郵便受取所
豐前國田川郡後藤寺郵便受取所
肥後國八代郡鏡町郵便受取所
肥後國熊本市熊本京町郵便受取所
越前國敦賀郡敦賀湊花郵便受取所
能登國鳳至郡黒島村郵便受取所
伊豫國周桑郡丹原村郵便受取所

○遞信省告示第二百七十三號

來十一月十六日ヨリ左ノ郵便局及郵便受取所ニ於テ郵便爲替事務ヲ開始ス
明治三十一年十月十九日

- 甲斐國中巨摩郡百田郵便局
- 甲斐國中巨摩郡御嶽郵便局
- 下總國千葉郡野田郵便局
- 大和國山邊郡染田郵便局
- 伊勢國員辨郡南大社郵便局
- 伊勢國三重郡水澤郵便局

- 美濃國安八郡大藏郵便局
- 磐城國互理郡元郵便局
- 安藝國豐田郡須波郵便局
- 備後國深安郡大門郵便局
- 攝津國大阪市西區大阪松島町郵便受取所

遞信大臣林 有造
 攝津國神戸市神戶三宮町郵便受取所
 備前國岡山市岡山五町郵便受取所
 越後國新潟市新潟上古町郵便受取所
 阿波國德島市德島二軒屋町郵便受取所

○遞信省告示第二百七十四號

東京電話交換局構内ニ電話所ヲ設置シ常盤橋内電話所ト稱シ本月二十日ヨリ電話通信ヲ開始ス
明治三十一年十月十九日

○遞信省告示第二百七十五號

本月二十日ヨリ攝津國大阪市大阪松島町郵便受取所ヲ同國同市西區松島町一丁目ニ移轉ス
明治三十一年十月十九日

遞信大臣林 有造
 遞信大臣林 有造

○臺灣總督府告示第七十三號(官報十月十九日)

汽船大屯號外二艘へ左ノ信號符字ヲ點附ス
明治三十一年七月五日

信號符字	船籍證書番號	船名	種類	定點場	船主
KBCF	ニ	大屯號 Taiungo	汽	淡北港	淡水税關
KECG	三	東雲號 Shinonomego	汽	淡北港	淡水税關
KBCH	四	小富士號 Kofujigo	汽	淡北港	淡水税關

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○遞信省告示第二百七十六號

來十一月十六日ヨリ左ノ郵便局及郵便受取所ニ於テ郵便貯金事務ヲ開始ス
明治三十一年十月二十日

- 武藏國西多摩郡羽村郵便局
- 紀伊國東牟婁郡佐本郵便局
- 紀伊國西牟婁郡平瀬郵便局
- 紀伊國那賀郡下野野郵便局
- 紀伊國東牟婁郡色川郵便局
- 紀伊國東牟婁郡九重郵便局
- 紀伊國東牟婁郡小口郵便局
- 大和國吉野郡柳村郵便局
- 丹波國北桑田郡北村郵便局
- 丹波國北桑田郡宮野郵便局
- 丹波國南桑田郡東加舎郵便局
- 丹波國南桑田郡佐伯郵便局
- 丹波國船井郡下大久保郵便局
- 山城國愛宕郡小出石郵便局
- 山城國葛野郡杉阪郵便局
- 山城國綴喜郡湯屋谷郵便局
- 丹後國加佐郡田井郵便局
- 丹後國與謝郡本庄上郵便局
- 近江國甲賀郡上朝宮郵便局
- 駿河國安倍郡宮澤郵便局
- 遠江國周智郡三倉郵便局
- 伯耆國東伯耆郡大鴨郵便局
- 播磨國加西郡和泉郵便局
- 播磨國赤松郡上野郵便局
- 播磨國美濃郡稻田郵便局

- 播磨國赤松郡三河郵便局
- 美作國久米北條郡鶴田郵便局
- 美作國勝北郡行方郵便局
- 備中國哲多郡釜村郵便局
- 備前國赤坂郡平佐郵便局
- 肥前國南松浦郡立中郵便局
- 肥前國南松浦郡瀧ノ浦郵便局
- 肥前國神埼郡三ノ瀬郵便局
- 天鹽國天鹽郡天鹽郵便局
- 根室國目梨郡羅臼郵便局
- 後志國壽都郡黒松内郵便局
- 膽振國千歳郡瀧郵便局
- 釧路國勇拂郡厚真郵便局
- 石狩國石狩郡新篠津郵便局
- 釧路國釧路郡昆布森郵便局
- 越後國刈羽郡北條郵便局
- 越後國刈羽郡會地郵便局
- 越後國南蒲原郡鹿野郵便局
- 越後國東頸城郡下保倉郵便局
- 越後國東頸城郡國川郵便局
- 越後國中魚沼郡大井平郵便局
- 越後國中魚沼郡大野郵便局
- 美濃國羽島郡駒塚郵便局
- 美濃國郡上郡大鷲郵便局
- 美濃國可兒郡久々利郵便局

遞信大臣林 有造

明治三十二年十月 告示

遞信省第二百八十二號

大藏省第七十四號

遞信省第二百八十三號

八七八

○遞信省告示第二百八十二號

來十一月十六日ヨリ武藏國東京市淺草黒船町郵便受取所ニ於テ郵便貯金事務ヲ開始ス
明治三十一年十月二十四日
遞信大臣林 有造

○大藏省告示第七十四號

一軍事公債證書額面四萬八千圓
但發行價格證書額面百圓ニ付金九拾貳圓五拾壹錢
右明治二十八年大藏省令第三號ニ據リ本月二十四日之ヲ發行セリ
明治三十一年十月二十五日
大藏大臣松田正久

○遞信省告示第二百八十三號

明治三十年^六遞信省告示第六十七號海外電報料金表中左ノ通改正ス
明治三十一年十月二十五日
遞信大臣林 有造

第三表北亞米利加地方ノ部「合衆國」ノ項中「オハイヲ」ノ次ニ左ノ通挿入ス

ワタホマテリイ(Oklahoma Territory)

第四表中央亞米利加地方ノ部中「サルヴェドル」ノ項ヲ左ノ通改正ス

サルヴェドル(Salvador)

リベルタド(Liberia)

其他各地

同表西印度地方ノ部「キューバ」ノ項中「カイマネラ」ノ下「グアタナモ」(カイマネラ經過)ニ關スル記事ヲ左ノ通改正ス

*此兩地ニ宛テタル電報ニシテ「ベルミウダ線」ヲ經テ傳送セントスルモノハ「十語」ニ付金二圓〇八錢及十語以上一語毎ニ金四

十二錢ヲ加課ス又本線路(キューバニ至ル線)ヲ經テ傳送セントスルモノハ「グアタナモ」ニ宛テタル電報ニ限リ之ヲ加課ス

○遞信省告示第二百八十四號

明治二十五年^三遞信省告示第五十六號電報ノ傳送及交付ニ關スル照會並料金還付ノ請求ニ應セザ

ル電信局中「ヴェネジューラ」ノ下「カラカス」及「ラゲーラ」ヲ除ク諸局ヲ「カラカス」コロ「ラゲーラ」及「プエルト、カベロ」ヲ除ク諸局ニ改ム
明治三十一年十月二十五日
遞信大臣林 有造

○遞信省告示第二百八十五號
來十一月一日ヨリ備後國御調郡糸崎鐵道停車場電信取扱所ニ於テ通信取扱時限外ト雖モ至急電報ノ受付及配達ヲ爲ス
明治三十一年十月二十五日
遞信大臣林 有造

○臺灣總督府告示第七十四號(官報十月二十五日)
明治三十一年十月二十一日ヨリ左ノ郵便受取所ニ於テ郵便爲替郵便貯金ノ取扱ヲ開始ス
臺灣總督府 兒玉源太郎
臺中縣下 南投郵便受取所 同 大湖郵便受取所
宜蘭廳下 羅東郵便受取所

○內務省告示第二百一號
北海道集治監網走分監本月三十一日限り廢止シ同所ニ來ル十一月一日ヨリ釧路分監出張所ヲ設ク
明治三十一年十月二十六日
內務大臣伯耆板垣退助

○遞信省告示第二百八十六號
臺灣總督府ハ本月二十一日ヨリ臺中縣下南投及大湖並宜蘭廳下羅東ノ各郵便受取所ニ於テ郵便爲替郵便貯金ノ取扱ヲ開始ス
明治三十一年十月二十六日
遞信大臣林 有造

○陸軍省告示第十六號
殉難者舊對州藩士平田大江及平田主米今般靖國神社へ合祀被 仰出候ニ付來十一月四日午前零時

明治三十一年十月 告示

遞信省第二百八十五號 第二百八十六號 臺灣總督府第七十四號
內務省第二百一號 陸軍省第十六號

八七九

三十分招魂式施行同日臨時大祭ノ際併セテ祭典執行同社へ合祀セラル
 明治三十一年十月二十七日 陸軍大臣子爵桂 太郎

○司法省告示第十二號
 大分地方裁判所管内白杵區裁判所ニ於テ本年十一月十日ヨリ刑事裁判事務ヲモ取扱フ
 明治三十一年十月二十七日 司法大臣大東義徹

○逓信省告示第二百八十七號
 一日本形船寶正丸 六十二石積
 右ハ三重縣南牟婁郡阿田和村百十三番屋敷石橋久左衛門所有ニシテ濱中音次郎外二名乗組ミ明治三十一年四月十日同地出帆三河國碧海郡新川へ向ケ航海中踪跡ヲ失ヒタル旨届出タルニ依リ其所
 在發見候モノハ速ニ管轄廳ニ申出ツヘシ
 明治三十一年十月二十七日 逓信大臣林 有造

○逓信省告示第二百八十八號
 來十一月一日ヨリ金澤高岡間鐵道運輸營業ヲ開始ス該區間各驛哩程及旅客乘車賃金左ノ通
 但營業開始ト同時ニ小荷物ノ配達ヲ取扱フ
 明治三十一年十月二十七日 逓信大臣林 有造

驛名	各驛間哩程	乘車賃金(各驛間)		
		一等	二等	三等
石動	八哩十五鎧	二十九鎧	二十一鎧	九鎧
津幡	七哩十七鎧	二十五鎧	十八鎧	八鎧
金澤				
福岡	四哩四十二鎧	十五鎧	十一鎧	五鎧
高岡	五哩三十五鎧	二十鎧	十四鎧	七鎧

○逓信省告示第二百八十九號
 來十一月一日ヨリ豊前國田川郡後藤寺鐵道停車場電信取扱所ニ於テ左項ニ據リ公衆電報ノ取扱ヲ開始ス
 但萬國電信條約書ニ據リ取扱フヘキ電報及歐文電報ハ取扱ハス
 明治三十一年十月二十七日 逓信大臣林 有造

一通信取扱時限
 三月一日ヨリ十月三十一日マテ午前六時ヨリ午後十時マテ十一月一日ヨリ翌年二月末日マテ
 午前七時ヨリ午後十時マテ
 一電報直配達區域
 取扱所ヨリ九町以内
 一電報別使配達區域
 田川郡弓削田村大字川宮、奈良、弓削田、伊田村大字伊田、猪位金村大字位登、猪國、川崎村大字池尻、川崎、田原

○文部省告示第六十三號
 富山縣立富山縣農學校本科
 右ハ明治二十六年勅令第百八十三號文官任用令第二條第三ニ依リ官立公立尋常中學校ト同等以上
 ノモノト認ム
 明治三十一年十月二十八日 文部大臣犬養 毅

○文部省告示第六十四號

本年文部省告示第五十五號ヲ以テ北海道廳管下根室國根室ニ建設ノ警報信號標柱破損セシニ付修繕出來迄信號標ノ揚卸ヲ中止スル旨告示セシ處今般修繕出來セリ

明治三十一年十月二十八日

文部大臣犬養 毅

○遞信省告示第二百九十號

秋田縣下羽後國南秋田郡北磯村入道崎及島根縣下出雲國八東郡美保關村地藏崎へ燈臺ヲ建設シ孰モ明治三十一年十一月二十日以後毎夜點火ス

但燈光區域ノ方位ハ海上ヨリ燈臺ニ向テ測定ス

明治三十一年十月二十九日

遞信大臣林 有造

入道崎燈臺

- 一該燈臺ノ位置ハ羽後國南秋田郡男鹿半島ノ北端ニシテ水路部出版第二百六十號ノ海圖ニ依レハ北緯四十度二十秒東經百二十九度四十一分三十六秒ニ當ル
 - 一該燈臺ハ鐵造六角形ニシテ白色ニ塗リ第一等回轉白色ノ燈明ヲ設ク其高サ基礎ヨリ燈火マテ八丈六寸ナリ
 - 一該燈火ハ眞方位北九度四十分東ヨリ北六十七度二十分西マテ二百八十三度間ニ於テ十秒時毎ニ一閃光ヲ發ス
 - 一該燈火ハ水面ヨリ高サ十八丈三尺六寸ニシテ其光達距離ハ晴天ノ夜二十海里ナリ
- 地藏崎燈臺
- 一該燈臺ノ位置ハ出雲國美保灣口ノ西北角ニシテ水路部出版第三百三十三號ノ海圖ニ依レハ北緯三十五度三十四分東經百二十三度十九分十五秒ニ當ル
 - 一該燈臺ハ石造圓形ニシテ白色ニ塗リ第一等回轉白色ノ燈明ヲ設ク其高サ基礎ヨリ燈火マテ二丈三尺ナリ

三尺ナリ

- 一該燈火ハ眞方位南六十四度三十五分東ヨリ北五十二度二十五分東マテ二百九十七度間ニ於テ二十秒時毎ニ一閃光ヲ發ス
 - 一該燈火ハ水面ヨリ高サ二十七丈三尺ニシテ其光達距離ハ晴天ノ夜二十三海里半ナリ
- (注意)
- シウラグリ暗礁ノ位置ハ本燈臺ヨリ眞方位約北四十五度三十分東ニ當リ其距離約二海里ナリ

○內務省告示第百三號

本月二十九日東京市隅谷巳三郎發行世界之日本第二卷第八號侍從內閣ノ亂憲ト題スル論說ハ新聞紙條例第三十二條ニ違反スルモノト認メ告發セラレタルニ付自今其ノ發賣頒布ヲ停止シ假ニ之ヲ差押ヘ且ツ其ノ論說ト同一主旨ノ論說ノ記載ヲ停止セリ

明治三十一年十月三十一日

內務大臣伯爵板垣退助

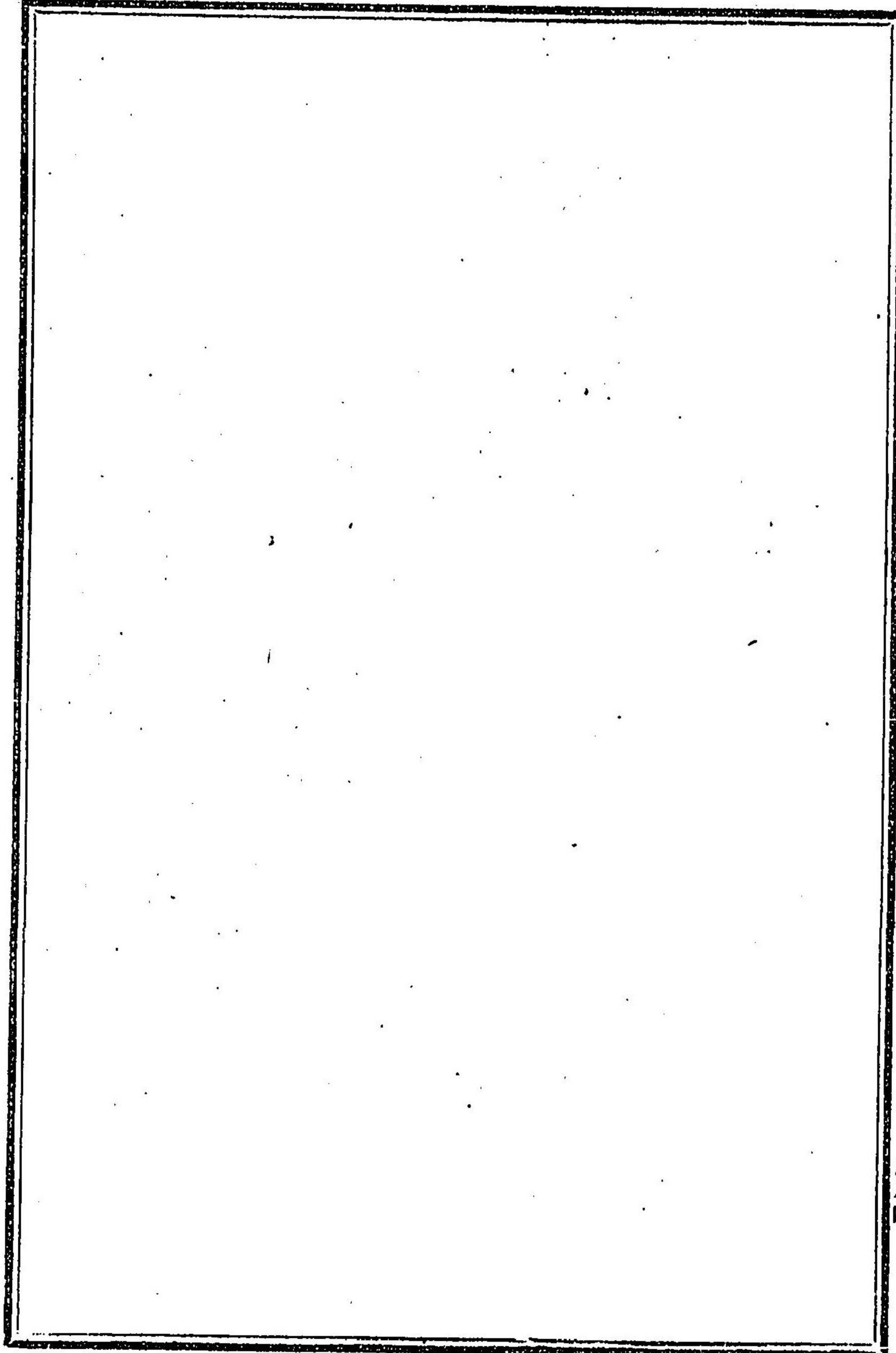
○司法省告示第十三號

名古屋地方裁判所管内新城區裁判所本月二十九日南設樂町新城町字石名號二番地へ移轉ス

明治三十一年十月三十一日

司法大臣大東義徹

明治三十一年十月 告示



○内閣告示第二號
 靖國神社臨時大祭ニ付在京陸海軍諸官員各軍隊諸生徒ハ本月四日ヨリ五日マテ各地方陸海軍諸官員各軍隊諸生徒ハ同日休暇休業其ノ他在京諸官員ハ同日休暇ヲ賜フ旨被 仰出
 右告示ス
 明治三十一年十一月一日
 内閣總理大臣伯爵大隈重信

○遞信省告示第二百九十一號
 來十二月一日ヨリ陸中國江刺郡八首郵便局ヲ米里郵便局ト改稱ス
 明治三十一年十一月一日
 遞信大臣林 有造

○臺灣總督府告示第七十五號 (官報十一月一日)
 明治三十一年六月告示第三十五號別冊臺灣發福州經過海外電報料金表中左ノ通改正ス
 臺灣總督男爵兒玉源太郎

第三表北亞米利加地方ノ部中「ヘルミウダ」ノ項ヲ左ノ通改正ス
 ヘルミウダ (Hermuda) 一〇、一五〇〇 四、〇六〇〇 二、一五〇〇 四、八六〇〇

第四表南亞米利加地方ノ部中「アルゼンタイン共和國」ノ二項ヲ左ノ通改正ス
 烏 拉 日 阿 斯 德 線

子線	子線	子線	子線
ブラジル (Brazil)	ブラジル、ハイ	ブラジル、ハイ	リス本經過
ヘルナムブコ (Pernambuco)	リス本經過	リス本經過	リス本經過
カメタ (Cameta)	リス本經過	リス本經過	リス本經過
モスタヒノロ (Mosqueiro)	リス本經過	リス本經過	リス本經過
ピンハイノク (Pinheiros)	リス本經過	リス本經過	リス本經過
ヌール (Soure)	リス本經過	リス本經過	リス本經過
ハラ (Para)	リス本經過	リス本經過	リス本經過

ブレイズ (Breves)	11:400	11:400	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500
グルン (Grunya)	11:400	11:400	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500
チヤム (Chives)	11:400	11:400	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500
マカプ (Macapn)	11:400	11:400	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500
モンテ (Monte Alegre)	11:400	11:400	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500
サンタレ (Santarem)	11:400	11:400	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500
アラマ (Alenquer)	11:400	11:400	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500
パリン (Parins)	11:400	11:400	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500
イタロ (Itacantara)	11:400	11:400	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500
マオス (Manaos)	11:400	11:400	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500
其他各地	11:400	11:400	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500
アルゼンタイン共和国 (Argentine Republic)	11:400	11:400	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500	11:030	11:100	11:230	11:300	11:430	11:500
但「ブレスト、ハイチ線」ノ料金ハ倫敦若「ハーパー」ヲ經テ傳送スル電報ニモ適用スルヲ以テ「倫敦經過」ハ (Via London & Haiti) ノ一ツト經過スル (Via Havre & Haiti) ナル指定ヲ記入スヘキモノトス														

第四表末尾備考第三ニ左ノ但書ヲ追加ス

但「ブレスト、ハイチ線」ノ料金ハ倫敦若「ハーパー」ヲ經テ傳送スル電報ニモ適用スルヲ以テ「倫敦經過」ハ (Via London & Haiti) ノ一ツト經過スル (Via Havre & Haiti) ナル指定ヲ記入スヘキモノトス

○臺灣總督府告示第七十六號 (官報十一月二日)

臺北縣錫口ニ停車場ヲ設置シ明治三十一年十一月一日ヨリ旅客及貨物ノ取扱ヲ開始ス
明治三十一年十月二十二日 臺灣總督男爵兒玉源太郎

○遞信省告示第二百九十二號

來十一月十六日ヨリ東京市神田區神田五軒町郵便受取所ヲ同市下谷區上野北大門町ニ移轉シ下谷上野大門町郵便受取所ト改稱ス
明治三十一年十一月二日 遞信大臣林 有造

○遞信省告示第二百九十三號
電話交換線路管轄局及其區域左ノ通相定ム

明治三十一年十一月四日

遞信大臣林 有造

管轄局名	管轄區域	京都電話交換局	滋賀縣下、京都府下
東京電話交換局	東京府下	大阪電話交換局	大阪府下
横濱電話交換局	神奈川県下、静岡縣下	神戸電話交換局	兵庫縣下
名古屋電話交換局	愛知縣下、三重縣下		

○內務省告示第四百四號

一 明治三十二年 七曜時候表 全一册

岐阜縣美濃國安八郡南枕 淺野五藤治發行
關村大字外野四十番戶

右出版物ハ略本層類似ト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス

內務大臣伯耆板垣退助

明治三十一年十一月五日

○內務省告示第五百五號

東京市ニ於テ發行スル内外新聞本月二日第百九十九號再ヒ新内閣ノ組織ヲ論スト題スル論說ハ新聞紙條例第三十二條ニ違反スルモノト認メ告發セラレタルニ付自今其ノ發賣頒布ヲ停止シ假ニ之ヲ差押ヘタリ
明治三十一年十一月七日 內務大臣伯耆板垣退助

○農商務省告示第二十四號

韓國釜山港ヨリ本邦ニ輸入スル牛畜及其皮骨類ニシテ同港本邦領事ノ檢疫證ヲ有シ他ノ有病地ヲ經過セス航海中異狀ナキモノニ限り本年四月農商務省告示第九號ノ檢疫ヲ受ケサルモ同告示第八號ヲ以テ輸入ヲ停止セル諸港ニ之ヲ陸揚スルコトヲ得
但陸揚ノ際所轄警察官署ニ届出ヘシ

明治三十一年十一月 告示

遞信省第二百九十三號

內務省第四百四號

第五百五號

農商務省第二十四號

明治三十一年十一月七日

農商務大臣大石正己

○逓信省告示第二百九十四號

本月十六日ヨリ能登國鳳至郡栗藏郵便局ヲ同國同郡岩倉村大字廣江ニ移轉シ廣江郵便局ト改稱ス
明治三十一年十一月七日
逓信大臣林 有造

○農商務省告示第二十五號

森林法第十六條ニ據リ左記ノ通り保安林ヲ解除ス
明治三十一年十一月八日
農商務大臣大石正己

陸奥國弘前市大字上白銀町三十四番國有保安林

一段別二段五畝十四歩ノ内

一段別二畝二十歩

○農商務省告示第二十六號

左ノ國有保安林解除ノ申請ハ採用セス

農商務大臣大石正己

明治三十一年十一月八日

陸奥國弘前市大字西茂森町五十五番 五十七番合併ノ二號國有保安林

一段別二町三段十歩ノ内

一段別一町一段七畝六歩

同國三戸郡田子村大字田子字風張二十七番國有保安林

一段別六段一畝十二歩

○逓信省告示第二百九十五號

島根縣周吉郡西郷東町字鹽濱沖へ設置ノ水底電線浮標修繕中假浮標ヲ設置ス
逓信大臣林 有造

明治三十一年十一月八日

○逓信省告示第二百九十六號

電信線路電話交換線路ノ移轉ヲ請求セントスルモノハ自今電信線路ニ付テハ電信建築ノ事務ヲ兼掌スル所轄一等郵便電信局へ電話交換線路ニ付テハ所轄電話交換局へ願書差出スヘシ
明治三十一年十一月八日
逓信大臣林 有造

明治三十一年十一月八日

○宮内省告示第十三號

本年十一月二日載仁親王殿下ノ妃智恵子殿下分娩王女降誕スエ季子ト名ケラル

明治三十一年十一月九日

宮内大臣子爵田中光顯

○内務省告示第六六號

一星學摘要 一册 京都市下京區河原町四條下ル稻荷町三十三番戸ノ内二十二號後藤重助發行
右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス
明治三十一年十一月九日
内務大臣侯爵西郷從道

明治三十一年十一月九日

○宮内省告示第十四號

中部都督部管下ニ於テ特別大演習御施行ニ付來ル十三日 御發轂大阪へ 行幸 仰出サル
明治三十一年十一月十日
宮内大臣子爵田中光顯

○内務省告示第七七號

本年ニ本省告示第九號第七條北海道移住民汽車賃汽船賃割引券中「内務省北海道局之印」ヲ「内務

大臣官房北海道課之印ト改ム但内務省北海道局之印ヲ押捺シタルモノハ來三十二年五月三十一日限り無効トス

明治三十一年十一月十日

内務大臣侯爵西郷從道

○内務省告示第百八號

明治三十一年九月早見 一册 京都市宮小路三條上ル千百十一番屋敷豐田有年發行
右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス

明治三十一年十一月十日

内務大臣侯爵西郷從道

○遞信省告示第百九十七號

本月十一日ヨリ陸中國盛岡市本町郵便受取所ヲ盛岡本町郵便受取所ト改稱ス
但印章類ハ當分ノ内從前ノモノヲ使用ス

明治三十一年十一月十日

遞信大臣子爵芳川顯正

○内務省告示第百九號

一社會評論 東京淺草區松葉町三十九番地安藤正純發行

右出版物ハ明治三十一年十一月六日發行臨時刊行記載ノ事項出版法第二條ノ範圍外ニ涉ルモノト認ムルヲ以テ自今出版法ニ依リ出版スルコトヲ差止ム

明治三十一年十一月十一日

内務大臣侯爵西郷從道

○遞信省告示第百九十八號

汽船玉吉丸外百七十八艘へ左ノ信號符字ヲ點附ス

明治三十一年十一月十一日

遞信大臣子爵芳川顯正

信號符字	船名	種類	定埠港	船主
HNKB	玉吉丸 Tamayoshi Maru	汽	肥前	福松
HNKC	盛運丸 Seibun Maru	帆	陸前	甚助
HNKD	金榮丸 Kaneyei Maru	帆	伊保	多吉
HNKF	虎丸 Tori Maru	帆	三土	龍太郎
HNKG	大黒丸 Daikoku Maru	帆	安江	西小森孫十郎
HNKJ	春日丸 Kasuga Maru	帆	東野	射場 澤太郎
HNKL	天津丸 Tenshin Maru	帆	北伊	豊田 隣太郎
HNKM	住榮丸 Sumiyei Maru	帆	肥前	反田 仙治郎
HNKP	澤崎丸 Sawasaki Maru	帆	尾備	山口 賀十郎
HNKQ	平井丸 Hirai Maru	帆	大崎	平井 政太郎
HNKR	幸友丸 Koyu Maru	帆	東安	野田 田窪 友平
HNKS	日出丸 Hinode Maru	帆	赤長	吉岡 豊吉
HNKT	大寶丸 Daibo Maru	帆	岩伊	田名後 只市
HNKV	先進丸 Senshin Maru	帆	田紀	伊城 龍神 豊吉
HNKW	豐基丸 Hoki Maru	帆	中周	藤本 幸一
HNLB	和丸 Kiowa Maru No. 1.	帆	楊駿	原河 眞野 房藏
HNLC	和丸 Kiowa Maru No. 2.	帆	楊駿	原河 眞野 勇八

H N L D	二二四六	津吉丸	丸	帆	神戶	津倉	勘六
H N L F	二二四七	大濱丸	丸	帆	備後	大濱船	株式
H N L G	二二四八	航野丸	丸	帆	下伊豆	丸宮	重助
H N L J	二二四九	金榮丸	丸	帆	本伊浦	山内	柳八
H N L K	二二五〇	仁王丸	丸	帆	沼津	鈴木	辰次郎
H N L M	二二五一	住吉丸	丸	帆	對馬	小西	卯太郎
H N L P	二二五二	三神丸	丸	帆	肥前	吉原	増太郎
H N L Q	二二五三	福寶丸	丸	帆	小肥前	緒方	武平
H N L R	二二五四	瑞穂丸	丸	帆	多度津	加藤	益太郎
H N L S	二二五五	金榮丸	丸	帆	伊豆	阿部	榮次郎
H N L T	二二五六	乙廻丸	丸	帆	門前	和泉	榮作
H N L V	二二五七	愛喜丸	丸	帆	伊豆	守田	孫四郎
H N L W	二二五八	稻荷丸	丸	帆	神戶	石富	七三郎
H N M B	二二五九	春日丸	丸	帆	中周防	神德	清三郎
H N M C	二二六〇	力丸	丸	帆	小肥前	緒方	武平
H N M D	二二六一	三浦丸	丸	帆	須土	三浦	重作
H N M E	二二六二	光陽丸	丸	帆	神戶	榎谷	重兵衛
H N M G	二二六三	住吉丸	丸	帆	神戶	入江	タツ

H N P Q	二二八三	2283	白鳥丸 Shiratori Maru	帆	日真居村	柳井 萬太郎
H N P M	二二八二	2282	住幸丸 Sumiko Maru	帆	西防浦村	村田惣右衛門
H N P J	二二七九	2279	住福丸 Keifuku Maru	帆	大防道村	光浦 清太郎
H N P G	二二七八	2278	二部住吉丸 Suniyoshi Maru	帆	油防田村	濱田 治郎助
H N P F	二二七七	2277	住福丸 Sunifuku Maru	帆	神前浦	高尾 甚五郎
H N P D	二二七六	2276	福榮丸 Fukuoh Maru	帆	新肥前宮	鹽崎 喜十郎
H N P C	二二七五	2275	浦安丸 Urayasu Maru	帆	油防田村	中本菊右衛門
H N P B	二二七四	2274	末廣丸 Suyehiro Maru	帆	平常湯陸港	大塚 下井
H N M W	二二七三	2273	珠磨丸 Kuma Maru	帆	若筑松前港	三菱合資會社
H N M V	二二七二	2272	嘉寶丸 Kaho Maru	帆	岩播見磨港	上西 宗兵衛
H N M T	二二七一	2271	馬壽丸 Senju Maru	帆	安加宅町	藤田 常作
H N M S	二二七〇	2270	白神丸 Shirakami Maru	帆	掛遠江港	伊藤 茂平
H N M R	二二六九	2269	幸福丸 Kofuku Maru	帆	致越前港	濱中 小三郎
H N M Q	二二六八	2268	安泰丸 Anhai Maru	帆	雄越島前村	中谷利右衛門
H N M P	二二六七	2267	高砂丸 Takasago Maru	帆	能羽代後港	井坂 直幹
H N M L	二二六六	2266	榮龍丸 Eirin Maru	帆	真肥申前港	山崎 喜平治
H N M K	二二六五	2265	幸丸 Saiwai Maru	帆	真肥申前港	草刈 武八郎
H N M J	二二六四	2264	快洋丸 Kwaiyo Maru	帆	函波館港	佐々木 平治

H N P R	二二八四	2284	澄吉丸	Sumiyoshi Maru	帆	三河	老津	小野田	澄吉郎
H N P S	二二八五	2285	大徳丸	Daitoku Maru	帆	阿波	茂波	高井	岩太
H N P T	二二八六	2286	幸盛丸	Kosei Maru	帆	三浦	庄後	楠見	宇太郎
H N P V	二二八七	2287	明榮丸	Mioyei Maru	帆	安藝	野浦	柏	夏治
H N P W	二二八八	2288	長發丸	Chohō Maru	帆	安藝	中野	小林	只之助
H N Q B	二二八九	2289	強運丸	Kioun Maru	帆	安藝	中野	中尾	敬太郎
H N Q C	二二九〇	2290	天救丸	Tensha Maru	帆	安藝	中野	岸本	ゼン
H N Q D	二二九一	2291	三住力丸	No. 3. Sumitoki Maru	帆	肥前	前	竹内	武平
H N Q F	二二九二	2292	金吉丸	Kaneyoshi Maru	帆	長門	前	長崎	委託株式
H N Q G	二二九三	2293	龍丸	Ryu Maru	帆	土佐	里	小松	龍太郎
H N Q J	二二九四	2294	福壽丸	Fukujū Maru	帆	安藝	江崎	岡本	倉吉
H N Q K	二二九五	2295	清松丸	Seishō Maru	帆	遠江	江	松下	英一
H N Q L	二二九六	2296	盛運丸	Seinun Maru	帆	遠江	江	加藤	三五郎
H N Q M	二二九七	2297	住榮丸	Sumiyei Maru	帆	伊豆	防	平原	藤十郎
H N Q P	二二九八	2298	伊勢丸	Ise Maru	帆	伊豆	防	田中	寅松
H N Q R	二二九九	2299	福榮丸	Fukuyei Maru	帆	伊豆	防	西本	吉右衛門
H N Q S	二三〇〇	2300	勢力丸	Seiriki Maru	帆	肥前	前	緒方	武平
H N Q T	二三〇一	2301	神力丸	Shinriki Maru	帆	周田	防	島	松治

H N Q V	二三〇二	2302	妙見丸	Miken Maru	帆	周防	日居	板倉	光太郎
H N Q W	二三〇三	2303	住吉丸	Sumiyoshi Maru	帆	淡路	口路	大西	三五郎
H N R C	二三〇五	2305	大榮丸	Daiyō Maru	帆	新三	川河	岡本	馮造
H N R D	二三〇六	2306	都留丸	Tsuru Maru	汽	大	阪中	村	丑太郎
H N R F	二三〇七	2307	住吉丸	Sumiyoshi Maru	帆	沖浦	防	西村	伊作
H N R G	二三〇八	2308	天社丸	Tensha Maru	帆	伊豆	防	栗原	郷八
H N R J	二三〇九	2309	松榮丸	Matsuyei Maru	帆	肥前	前	松崎	榮次郎
H N R K	二三一〇	2310	榮福丸	Yefuku Maru	帆	肥前	前	日野	増次郎
H N R L	二三一一	2311	一號大阪丸	No. 1. Osaka Maru	帆	大	阪	渡邊	市兵衛
H N R M	二三一二	2312	榮徳丸	Yetoku Maru	帆	沖浦	防	徳永	伊之助
H N R P	二三一三	2313	加徳丸	Kakoku Maru	帆	麻里	防	水田	永藏
H N R Q	二三一四	2314	遠洋丸	Yenyō Maru	汽	大	阪	中村	丑太郎
H N R S	二三一五	2315	加徳丸	Katoku Maru	帆	佐賀	防	鶴田	代吉
H N R T	二三一六	2316	一號金刀比羅丸	No. 1. Kotohira Maru	汽	大	阪	吉川	昇太郎
H N R V	二三一七	2317	幸福丸	Kōfuku Maru	帆	東	防	石津	小十郎
H N R W	二三一八	2318	二號順徳丸	No. 2. Junto Maru	帆	東	防	齋藤	虎吉
H N S B	二三一九	2319	三號共和丸	No. 3. Kiwa Maru	帆	駿	河	真野	房藏
H N S C	二三二〇	2320	三號神明丸	No. 3. Shinmei Maru	帆	伊豆	防	佐藤	惣五郎

H N S D	二三二一	二三二一	四	號	丸	Shigo Maru	帆	靜河	東海航業合資
H N S F	二三二二	二三二二	久	吉	丸	Hisayoshi Maru	帆	備前	村 藤田 財太郎
H N S G	二三二三	二三二三	大	一	丸	Daiichi Maru	帆	神戶	村 松澤 孫八
H N S J	二三二四	二三二四	大	神	丸	Daijin Maru	帆	安藝	村 谷本 峰吉
H N S K	二三二五	二三二五	大	寶	丸	Juhō Maru	帆	安藝	村 新宅 福松
H N S L	二三二六	二三二六	二	春	丸	Kasuga Maru	帆	佐賀	村 植村 寅太郎
H N S M	二三二七	二三二七	二	輝	丸	No. 2. Kishō Maru	帆	野土	村 久 貞兵衛
H N S P	二三二八	二三二八	仁	義	丸	Jingi Maru	帆	野土	村 根 三宮 儀太郎
H N S Q	二三二九	二三二九	清	高	丸	Seikō Maru	帆	沼越	町 谷 安六
H N S R	二三三〇	二三三〇	小	福	丸	Shōfuku Maru	帆	函渡	港 酒谷 長一郎
H N S V	二三三一	二三三一	住	吉	丸	Sun'yoshi Maru	帆	長門	村 大上 熊千代
H N S W	二三三二	二三三二	備	後	丸	Bingo Maru	帆	赤間	港 三菱合資會社
H N T B	二三三四	二三三四	二	近	丸	Omi Maru	帆	函渡	港 飯田 信三
H N T C	二三三五	二三三五	大	日	丸	Dainichi Maru	帆	新越	港 佐藤 善吉
H N T D	二三三六	二三三六	福	神	丸	Fukujin Maru	帆	湯島	村 土江 忠治郎
H N T F	二三三七	二三三七	靜	福	丸	Seifuku Maru	帆	周防	村 名和田元之助
H N T G	二三三八	二三三八	大	榮	丸	Daiyō Maru	帆	尾張	町 稻生 竹治郎
H N T J	二三三九	二三三九	長	榮	丸	Chōyō Maru	帆	周防	村 古谷 健三郎

HNTK	二三四〇	2340	福 壽 丸	Fukuju Maru	帆	肥前	西川	清
HNTL	二三四一	2341	十 日 丸	Toka Maru	帆	東防	小林	大藏
HNTM	二三四二	2342	吉 寶 丸	Kichihō Maru	帆	長崎	橋本	次助
HNTP	二三四三	2343	十 光 丸	Jikō Maru	帆	肥前	小西	繁太郎
HNTQ	二三四四	2344	神 力 丸	Shinriki Maru No. 2.	帆	肥前	西村	岩藏
HNTR	二三四五	2345	幸 丸	Saiwai Maru	帆	伊豫	杉野	順吉
HNTS	二三四六	2346	天 授 丸	Tenju Maru	帆	伊豫	石崎	庄兵衛
HNTV	二三四七	2347	觀 音 丸	Kwanon Maru	帆	三浦	朝田	善兵衛
HNTW	二三四八	2348	天 正 丸	Tenshō Maru	帆	安下	長尾	築太郎
HNVB	二三四九	2349	金 毘 羅 丸	Konpira Maru	帆	備中	長館	久喜
HNVC	二三五〇	2350	稻 力 丸	Inariki Maru	帆	安江	留田	好太郎
HNVD	二三五一	2351	天 寶 丸	Tenpō Maru	帆	佐安	森下	喜作
HNVE	二三五二	2352	大 和 丸	Yamato Maru	帆	東安	望月	圭介
HNVG	二三五三	2353	辨 丸	Sakaki Maru	帆	周防	中村	秋一
NHVJ	二三五四	2354	經 子 丸	Yebisu Maru	帆	周防	中村	岩吉
HNVK	二三五五	2355	順 寶 丸	Junpō Maru	帆	東防	淺野	備祐
HNVL	二三五六	2356	住 若 丸	Sumiyaka Maru	帆	本備	本正	庄吉
HNVM	二三五七	2357	開 光 丸	Kaiko Maru	帆	肥前	中野	三郎衛

明治三十一年十一月 告示 遞信省第三百九十八號

HNVP	二三五八	2358	山陽丸	San'yō Maru	帆	肥前	周里防	上田	森藏
HNVO	二三五九	2359	榮泰丸	Yōta Maru	帆	肥前	北見	大針	榮藏
HNVR	二三六〇	2360	大黒丸	Daikoku Maru	帆	肥前	周防	金井	佐七
HNVS	二三六一	2361	金比羅丸	Kompira Maru	帆	肥前	紀伊	荒木	喜右衛門
HNVT	二三六二	2362	千代丸	Chiyo Maru	帆	肥前	伊豫	石田	信次郎
HNWV	二三六三	2363	松榮丸	Matsuyei Maru	帆	肥前	伊豫	塚井	春治
HNWB	二三六四	2364	勢力丸	Seiriki Maru	帆	肥前	伊豫	山内	雪次郎
HNWC	二三六五	2365	航福丸	Kōfuku Maru	帆	肥前	伊豫	平山	勝次郎
HNWD	二三六六	2366	幸榮丸	Kōyēi Maru	帆	肥前	伊豫	兒玉	三藏
HNWF	二三六七	2367	萬福丸	Manfuku Maru	帆	肥前	土備	今治	孝治郎
HNWG	二三六八	2368	十光丸	Jikkō Maru	帆	肥前	土備	山口	永三郎
HNWJ	二三六九	2369	和合丸	Wagō Maru	帆	肥前	和歌山	中谷	忠八
HNWK	二三七〇	2370	六合丸	Rokugō Maru	帆	肥前	長門	古谷	末松
HNWL	二三七一	2371	日光丸	Nikkō Maru	帆	肥前	長門	生田	慶太郎
HNWM	二三七二	2372	幸榮丸	Kōyēi Maru	帆	肥前	長門	豐田	宗作
HNWP	二三七三	2373	明治丸	Meiji Maru	帆	肥前	伯耆	高山	治左衛門
HNWQ	二三七四	2374	榮徳丸	Yōtoku Maru	帆	肥前	淡路	榎本	永太郎
HNWR	二三七五	2375	利運丸	Riun Maru	帆	肥前	紀伊	鹽崎	竹松

HNWS	二三七六	2376	住吉丸	Samiyoshi Maru	帆	肥前	肥前	竹内	重吉
HNWT	二三七七	2377	大福丸	Dairoku Maru	帆	肥前	肥前	萩原	ミン
HNWV	二三七八	2378	永徳丸	Yōtoku Maru	帆	肥前	肥前	澤口	安治
HPBC	二三七九	2379	二天丸	No. 2. Tenjiku Maru	帆	肥前	肥前	武山	右衛門
HPBD	二三八〇	2380	同運丸	Kwain Maru	帆	肥前	肥前	馬場	利兵衛
HPBF	二三八一	2381	高運丸	Kōun Maru	帆	肥前	肥前	正月	三吉
HPBG	二三八二	2382	金毘羅丸	Kompira Maru	帆	肥前	肥前	阪岡	喜十郎
HPBJ	二三八三	2383	大福丸	Dairoku Maru	帆	肥前	安藝	湯淺	伊作
HPBK	二三八四	2384	長久丸	Chōkiū Maru	帆	肥前	佐賀	杉原	淺平
HPBL	二三八五	2385	觀盛丸	Kwansei Maru	帆	肥前	佐賀	岡野	盛吉
HPBM	二三八六	2386	金力丸	Kinriki Maru	帆	肥前	佐賀	村上	吉松
HPBN	二三八七	2387	寶榮丸	Hōyēi Maru	帆	肥前	佐賀	矢部	嘉太郎
HPBQ	二三八八	2388	八郎宮丸	No. 8. Yalamiya Maru	帆	肥前	伊豆	山本	泰治郎
HPBR	二三八九	2389	二福丸	Nifuku Maru	帆	肥前	伊豆	山内	磯八
HPBS	二三九〇	2390	二福丸	No. 2. Aboshi Maru	帆	肥前	伊豆	網子	鹽合資
HPBT	二三九一	2391	豐祥丸	Hōshō Maru	帆	肥前	伊豆	岡本	藤次
HPBV	二三九二	2392	石見丸	Iwami Maru	帆	肥前	日向	小田	清兵衛
HPBW	二三九三	2393	第一丸	No. 1. Ichi Maru	帆	肥前	土佐	島田	小平

HPCB	二三九四二八九四	福 壽 丸	Fukujū Maru	帆	高千門	岡手 梅次郎
HPCD	二三九五二三九五	金 松 丸	Kinshō Maru	帆	阿波	松浦 久平
HPCF	二三九六二三九六	金 松 丸	No. 2. Kinshō Maru	帆	阿波	松浦 久平
HPCG	二三九七二三九七	精 宇 丸	Seikō Maru	帆	伊豫	守田 孫四郎
HPCJ	二三九八二三九八	明 神 丸	Meijin Maru	帆	伊豫	德丸 德三郎
HPCK	二三九九二三九九	福 祥 丸	Fukushō Maru	帆	相模	相模石灰合資 會社
HPC L	二四〇〇二四〇〇	住 吉 丸	Sumiyoshi Maru	帆	淡路	近野 政逸
HPCM	二四〇一二四〇一	金 盛 丸	Kinsei Maru	帆	淡路	濱本 藤吉
HPCN	二四〇二二四〇二	榮 力 丸	Yeriki Maru	帆	上野	岡 仁藏
HPCR	二四〇四二四〇四	金 比 羅 丸	Kompira Maru	帆	西岐	西村 市五郎
HPCS	二四〇五二四〇五	住 吉 丸	Sumiyoshi Maru	帆	西岐	西野 豐之助
HPCT	二四〇六二四〇六	大 神 丸	Dajin Maru	帆	水周	菊元 岩吉
HPCV	二四〇七二四〇七	大 黒 丸	Daikoku Maru	帆	肥前	竹内 作三郎
HPCW	二四〇八二四〇八	住 福 丸	Sumifuku Maru	帆	玉備	山本 治八
HPDB	二四〇九二四〇九	壽 榮 丸	Juyei Maru	帆	瀬戶	芝田 與七
HPKL	二四七五二四七五	佐 渡 丸	Sado Maru	汽	東	日本郵船株式 會社
HP TC	二五七五二五七五	悅 丸	Yetsu Maru	帆	淡路	土井 長五郎
HQ G J	二六八三二六八三	春 日 丸	Kasuga Maru	汽	東	日本郵船株式 會社

○内務省告示第百十號

一明治三十二年 方位便覽 一冊

京都市下京區柳馬場五條上ル柏ヤ町十番戸内三號寺田清助發行

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス

明治三十一年十一月十二日

内務大臣侯爵西郷從道

○内務省告示第百十一號

十月二十九日東京市隅谷巳三郎發行世界之日本第二卷第八號侍從内閣ノ亂憲ト題スル論說ハ新聞紙條例第三十二條ニ違反スルモノト認メ告發セラレタルニ付其ノ論說ト同一主旨ノ論說ヲ記載スルヲ停止致置候處自今之ヲ解除ス

明治三十一年十一月十二日

内務大臣侯爵西郷從道

○文部省告示第六十五號

鹿兒島縣立鹿兒島縣農學校本科

右ハ明治二十二年法律第一號徵兵令第十三條ニ依リ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ム

明治三十一年十一月十二日

文部大臣伯爵樺山資紀

○文部省告示第六十六號

鹿兒島縣立鹿兒島縣農學校本科

右ハ明治二十六年勅令第百八十三號文官任用令第二條第三ニ依リ官立公立尋常中學校ト同等以上ノモノト認ム

明治三十一年十一月十二日

文部大臣伯爵樺山資紀

○遞信省告示第百九十九號

島根縣海士郡太井村沖ヘ設置ノ水底電線浮標修繕中假浮標ヲ設置ス

明治三十一年十一月 告示

内務省第百十號 第百十一號 文部省第六十五號 第六十六號
遞信省第百九十九號

明治三十一年十一月十二日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第三百號
本月二十一日ヨリ東京市芝區芝櫻川町郵便受取所ヲ同區愛宕町二丁目ニ移轉シ芝愛宕町郵便受取所ト改稱ス

遞信大臣子爵芳川顯正

明治三十一年十一月十二日

○臺灣總督府告示第七十七號 (官報 十一月十二日)
汽船利濟外二艘へ左ノ信號符字ヲ點附ス

臺灣總督男爵兒玉源太郎

明治三十一年十一月三日

信號符字	船籍證書番號	船名	種類	船籍港	船主
KBCJ	五	利濟	汽	北縣	周景期
KBCL	六	威甫丸	汽	北縣	周景期
KBCN	八	永南	汽	北縣	周景期

○內務省告示第百十二號
一 交合機論文のかけはし 全一冊 神田區瀨口町七番地野口幾太郎發行
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

內務大臣侯爵西鄉從道

明治三十一年十一月十四日

○內務省告示第百十三號
東京市ニ於テ發行スル内外新聞本月二日第百九十九號ハ發賣頒布ヲ停止シ假ニ之ヲ差押ヘ置キタル處自今之ヲ解除ス

內務大臣侯爵西鄉從道

明治三十一年十一月十六日

○大藏省告示第七十五號

第二回發行
一 記名軍事公債證書額面五拾圓券付屬利札 三枚
後號 貳九九六七番

但明治五十年十二月渡同五十二年十二月渡同五十三年六月渡三期分

右富山縣婦負郡鵜坂村大字分田村千七百七十七番地野上宗左衛門所有ノ處明治三十一年七月五日以後ニ於テ蟲害ニ罹リ消滅セシ趣ヲ以テ代リ利札請求ニ付整理公債條例第二十條ニ據リ之ヲ交付セリ但消滅シタル利札ハ無効トス

大藏大臣伯爵松方正義

明治三十一年十一月十六日

○遞信省告示第三百一號

船舶検査法ニ依リ船舶司檢所ノ検査ヲ受クヘキ船舶ノ検査執行地左ノ通追加ス

遞信大臣子爵芳川顯正

明治三十一年十一月十六日

東京船舶司檢所
相模國浦賀

○遞信省告示第三百二號

本月十六日ヨリ神田區神田松田町郵便受取所ヲ同區紺屋町ニ移轉シ神田紺屋町郵便受取所ト改稱ス

遞信大臣子爵芳川顯正

明治三十一年十一月十六日

○臺灣總督府告示第七十八號 (官報 十一月十七日)

明治三十一年十一月十一日ヨリ臺北縣坪林尾ニ郵便受取所ヲ設置シ坪林尾郵便受取所ト稱シ小包

郵便物受附ヲモ併セ取扱ハシム

明治三十一年十一月八日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第七十九號 (官報 十一月十七日)

明治三十一年十一月十一日ヨリ左ノ各郵便電信局ニ於テ非常通信ヲ取扱ハシム

明治三十一年十一月九日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

臺中縣中郵便電信局

同 鹿港郵便電信局

同 後壠郵便電信局

同 臺南縣嘉義郵便電信局

同 苗栗郵便電信局

同 埔里社郵便電信局

同 東勢角郵便電信局

同 樓仔脚郵便電信局

同 大甲郵便電信局

同 北斗郵便電信局

同 葫蘆墩郵便電信局

同 北港郵便電信局

同 彰化郵便電信局

同 雲林郵便電信局

同 北港郵便電信局

○宮内省告示第十五號

來ル二十日大阪 御發着靜岡御一泊東京 還幸 仰出サル

明治三十一年十一月十八日

宮内大臣子爵田中光顯

○遞信省告示第三百三號

本月十七日ヨリ下總國海上郡太田郵便局ヲ同國同郡旭町大字十日市場ニ移轉シ旭町郵便局ト改稱ス

明治三十一年十一月十八日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第三百四號

德島縣板野郡里浦村字坂田沖ニ設置ノ水底電線浮標修繕竣工ニ依リ囊ニ設置シタル假浮標ヲ撤去シ本位置ニ復ス

明治三十一年十一月十九日

遞信大臣子爵芳川顯正

○宮内省告示第十六號

本年十一月十四日博恭王殿下ノ妃經子殿下分婉王女降誕恭子ト名ケラル
宮内大臣子爵田中光顯

○内務省告示第四百十四號

一彌天教報 京都市上京區南禪寺町十二番戶東山隆雄發行
右出版物ハ第四十三號記載事項出版法第二條ノ範圍外ニ涉ルモノト認ムルヲ以テ自今出版法ニ依
リテ出版スルコトヲ差止ム

明治三十一年十一月二十一日

内務大臣侯爵西郷從道

○内務省告示第一百五號

一函森よせ都々逸第二集 全一冊 長野縣東筑摩郡松本町百九十三番地窪田誠發行
右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其ノ發賣頒布ヲ禁ス

明治三十一年十一月二十一日

内務大臣侯爵西郷從道

○農商務省告示第二十七號

森林法第十六條ニ據リ左記ノ通保安林ヲ解除ス
明治三十一年十一月二十二日 農商務大臣曾禰荒助
攝津國神戸市中山手通七町目字權現山國有保安林
一段別三段七畝十九步〇七ノ内
一段別四畝四步
淡路國三原郡福良町ノ内福良浦字刈藪國有保安林
一段別二町二畝十三步ノ内
一段別二段十步
同國津名郡由良町ノ内由良浦字今川口西國有保安林

一段別二段二畝二十五步

播磨國明石郡垂水村ノ内山田村字川西國有保安林

一段別一段四畝十二步ノ内

一段別十五步

攝津國神戸市葺合村字高松筋國有保安林

一段別二段五畝二十六步八合ノ内

一段別三畝九步

播磨國明石郡垂水村ノ内山田村字舞子濱國有保安林

一段別二町七畝二十步ノ内

一段別二段二畝二十步

○農商務省告示第二十八號

左ノ國有保安林解除ノ申請ハ採用セス

明治三十一年十一月二十二日

攝津國川邊郡立花村ノ内水堂村字十二番國有保安林

一段別五畝六步

農商務大臣曾禰荒助

○內務省告示第百十六號

一明治三十一年九月星便 全一册

一明治三十二年九月星 全一册

一明治三十二年九月星 全一册

一明治卅二年九月星 全一册

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

明治三十一年十一月二十四日

內務大臣侯爵西鄉從道

大阪市東區安土町四丁目五十一番屋敷澤山金作發行

京都市宮小路三條上ル千百十一番屋敷豐田有年發行

京都市三條通り河原町四番戸若林篤發發行

京都市二條通堺町西五入秋田實發行

○陸軍省告示第十七號

明治三十年當省告示第二十四號中「大村ヲ長崎ニ弘前ヲ青森ニ」ヲ削ル但士官候補生及地方幼年學校生徒志願者ヨリ差出シ濟ノ願書ニ長崎若クハ青森検査場ヲ記載シアルモノハ長崎ハ大村青森ハ弘前ト見做ス

明治三十一年十一月二十四日

陸軍大臣子爵桂 太郎

〔參照〕

明治三十年十一月三日 陸軍省告示第二十四號ハ陸軍召集規則第二十二條ノ検査場設置地名中當分變換ノ件ナリ

○遞信省告示第三百五號

臺灣總督府ハ新竹郵便電信局區内頭份郵便受取所ニ於テ本月二十五日ヨリ郵便爲替及郵便貯金事務ヲ開始ス

明治三十一年十一月二十四日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第三百六號

來十二月一日ヨリ陸奧國碓ヶ關鐵道停車場電信取扱所ニ於ケル公衆通信取扱時限ヲ午前七時ヨリ午後八時迄ニ改定ス

明治三十一年十一月二十四日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第三百七號

來十二月一日ヨリ和泉國堺市堺郵便局及電信局ヲ合併シ二等郵便電信局トシ堺郵便電信局ト稱ス

明治三十一年十一月二十五日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第三百八號

來十二月一日ヨリ東京市芝區芝櫻田本郷町郵便受取所ヲ同區櫻田太左衛門町ニ移轉シ芝櫻田郵便受取所ト改稱ス

明治三十一年十一月二十五日

遞信大臣子爵芳川顯正

○臺灣總督府告示第八十號(官報十一月二十五日)

明治三十一年十一月十一日ヨリ臺北縣竹北一堡樹杞林郵便受取所ヲ同縣同堡北埔街ニ移轉シ北埔郵便受取所ト改稱ス

明治三十一年十一月十日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第八十一號(官報十一月二十五日)

明治三十一年十一月二十五日ヨリ臺北縣下頭份郵便受取所ニ於テ郵便爲替貯金ノ取扱ヲ開始ス

明治三十一年十一月十一日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第八十二號(官報十一月二十五日)

明治三十年十二月五日帝國政府ト埃地利洪牙利國政府トノ間ニ締結シタル通商航海條約ハ未ダ批准交換ノ運ニ至ラサレトモ今般兩國政府間ニ於テ該條約ヲ明治三十二年七月十七日ヨリ又該條約ノ追加條約ヲ同年一月一日ヨリ實施スルコトニ協定セラレタリ

明治三十一年十一月十二日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第八十三號(官報十一月二十五日)

明治二十八年七月十六日締結ノ日英追加條約附屬稅目同二十九年四月四日締結ノ日獨通商航海條約議定書附屬稅目及同年八月四日締結ノ日佛通商航海條約議定書附屬稅目ハ明治三十二年一月一日ヨリ實施セララル

明治三十一年十一月十二日

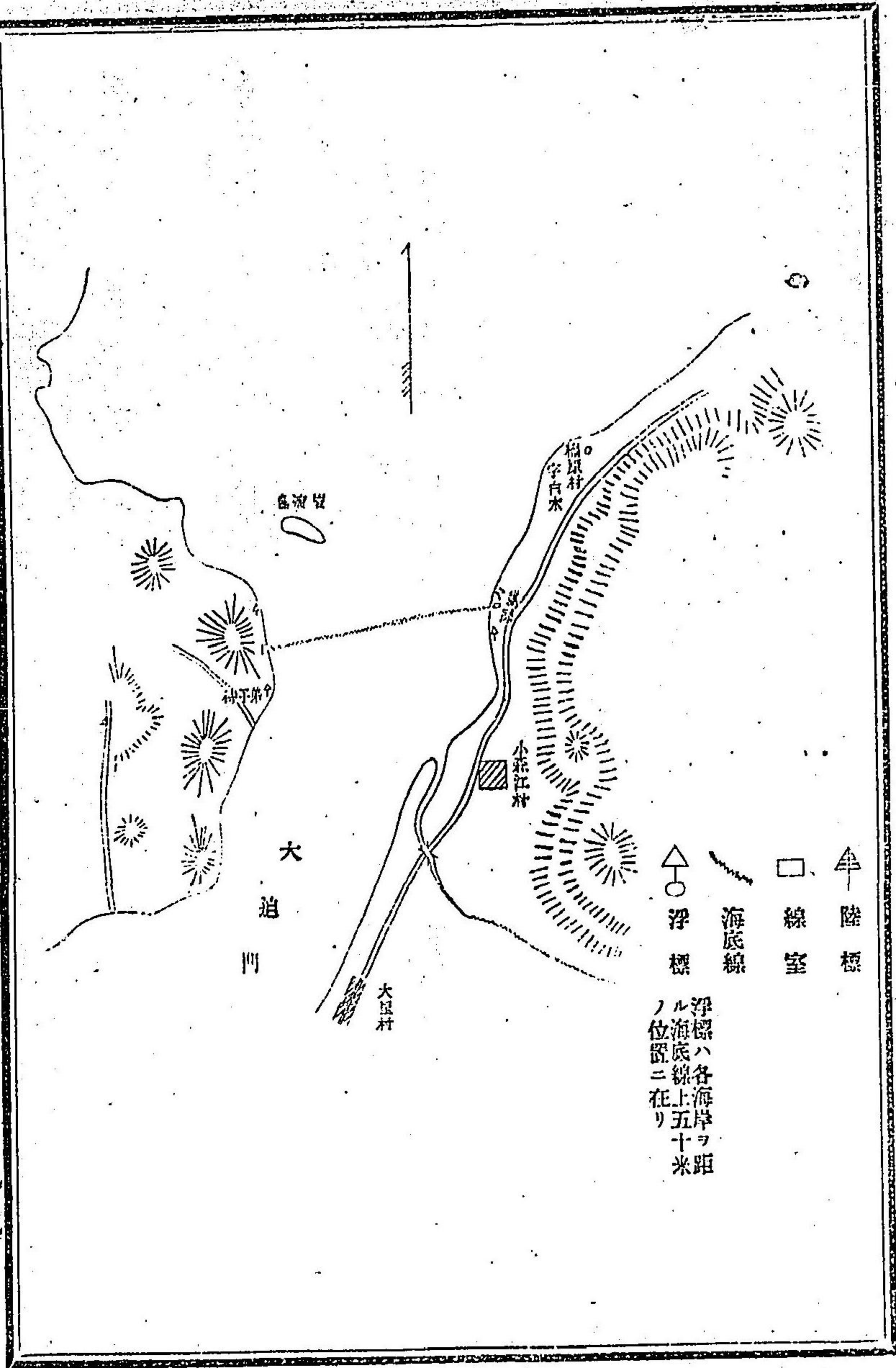
臺灣總督男爵兒玉源太郎

○陸軍省告示第十八號

福岡縣豐前國企救郡門司町字葛葉、山口縣長門國豐浦郡彦島村字弟子待間ニ海底電信線一條ヲ布設シ左圖線上ノ左右各三十間以內ヲ以テ該線路ト定ム

明治三十一年十一月二十六日

陸軍大臣子爵桂 太郎



○内務省告示第十七號

一九星方位便覽 一册 東京市下谷區萬年町二丁目六十七番地中田懸雄發行
右出版物ハ略本層類似ト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

明治三十一年十一月二十八日

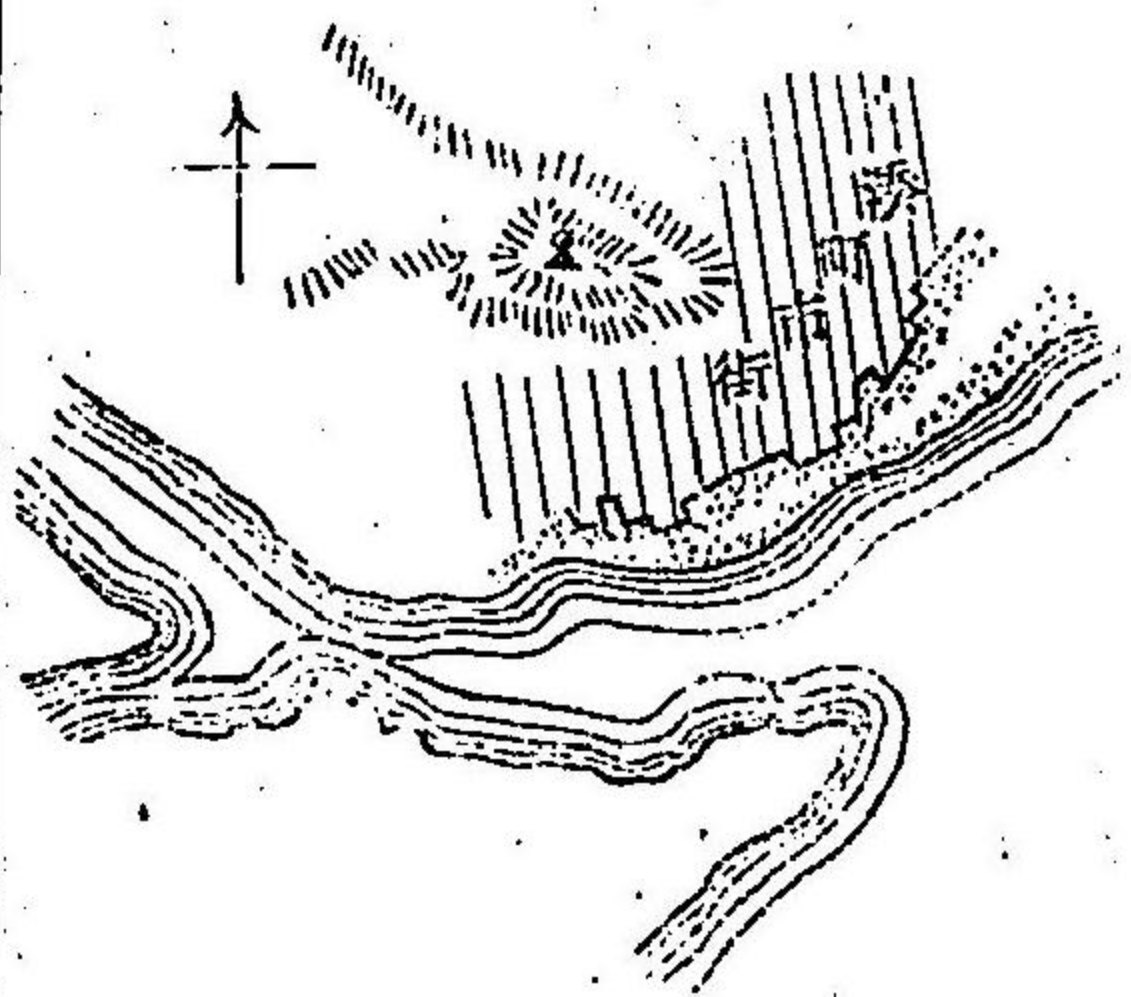
内務大臣侯爵西鄉從道

○大藏省告示第七十六號

本年十一月二十八日中央金庫所屬千住支金庫ヲ南足立郡千住町大字千住五丁目へ移ス
明治三十一年十一月二十八日 大藏大臣伯爵松方正義

○文部省告示第六十七號

茨城縣管下那珂郡湊町 即チ左ノ圖中ニ警報信號標ヲ設立シ本年十二月十五日ヨリ實施シタキ旨同縣同郡同町長ヨリ願出タルニ付同縣知事ニ於テ之ヲ許可セリ
明治三十一年十一月二十八日 文部大臣伯爵樺山資紀



○遞信省告示第三百九號

島根縣下八束郡千酌村大字千酌沖ニ設置ノ水底電線浮標修繕中假浮標ヲ設置ス
明治三十一年十一月二十八日 遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第三百十號

島根縣周吉郡西郷東町字鹽濱沖ニ設置ノ水底電線浮標修繕竣工ニ付囊ニ設置ノ假浮標ヲ撤去シ本位置ニ復ス
明治三十一年十一月二十八日 遞信大臣子爵芳川顯正

○内務省告示第一百八號

一新發 大陰陽略曆表 一枚 大阪市日本橋一丁目三五番邸千登勢源治郎發行
右出版物ハ略本層類似ト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

明治三十一年十一月二十九日

内務大臣侯爵西鄉從道

○内務省告示第一百九號

本年內務省告示第十號及同第五十八號臺灣地方ヨリ來ル船舶檢疫實施ノ儀本月三十日限り停止ス
明治三十一年十一月三十日 内務大臣侯爵西鄉從道

○内務省告示第二百二十號

一明治三十二年萬民ノ寶 一册 石川縣金澤市大隅町小泉隆三郎發行
右出版物ハ略本層類似ト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

明治三十一年十一月三十日

内務大臣侯爵西鄉從道

○農商務省告示第二十九號

森林法第十六條ニ據リ左記ノ通保安林ヲ解除ス
明治三十一年十一月三十日 農商務大臣曾禰荒助

大和國北葛城郡王寺村大字王寺字垣根國有保安林
 一段別二段三畝歩ノ内
 一段別四畝四歩
 同國同郡同村同大字字馬場協國有保安林
 一段別二段一畝二十九歩ノ内
 一段別十四歩
 同國宇智郡宇智村大字小島字赤井ノ尾國有保安林
 一段別五町六段十七歩ノ内
 一段別九畝十八歩
 同國磯城郡三輪町大字馬場字大御輪寺國有保安林
 一段別四段二畝二十一歩

○遞信省告示第三百十一號

京都府下丹後國竹野郡ノ北端經ヶ岬へ建設シタル燈臺ニ於テ第一等回轉白色ノ燈明ヲ設ケ明治三十一年十二月二十五日以後毎夜點火ス

明治三十一年十一月三十日

遞信大臣子爵芳川顯正

一該燈臺ノ位置ハ水路部出版第三百二十九號ノ海圖ニ依レハ北緯三十五度四十六分四十六秒ニシテ東經百三十五度十三分七秒ニ當ル
 一該燈臺ハ石造圓形ニシテ白色ニ塗リ基礎ヨリ燈火マテ高サ二丈九尺七寸ナリ
 一該燈火ハ眞方位北七十五度三十五分東ヨリ北四十六度十分西マテ二百三十八度十五分間ニ於テ二十秒時毎ニ三閃光ヲ連發ス
 但右方位ハ海上ヨリ燈臺ニ向テ測定ス
 一該燈火ハ水面ヨリ高サ四十七丈三尺七寸ニシテ其光達距離ハ晴天ノ夜二十九海里半ナリ

○大藏省告示第七十七號

明治三十一年一月一日ヨリ同年三月三十一日マテ稅關ニ於テ外國貨幣ノ換算ニ適用スル内外貨幣比較表左ノ通之ヲ定ム

但本表所掲ノ外國貨幣ト日本金貨トノ比較ハ從前ノ通

明治三十一年十二月一日

大藏大臣伯爵松方正義

内外貨幣比較表

外國貨幣		日本金貨
英 領 印 度	一ルーピー	六六〇
露 亞	一ルーブル	一一〇五
清 國	上海一兩 天津一兩	三二五 四〇六
墨 哥	一ドルラル	九九八
馬 刺	一ドルラル	九九六

○遞信省告示第三百十二號

一日本形船榮正丸 四百三十八石積

右ハ愛知縣碧海郡新川町五百三十五番戶淺井啓十所有ニシテ間瀬甚左衛門外五名乘組明治三十一年八月二十五日豊前國門司港出帆伊勢國津へ向ケ航海中踪跡ヲ失ヒタル旨届出タルニ依リ共所在發見候モノハ速ニ管轄廳ニ申出ツヘシ

明治三十一年十二月一日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第三百十三號
來十二月十六日ヨリ根室國花咲郡花咲村ニ電信取扱所ヲ置キ花咲電信取扱所ト稱シ左項ニ據リ電信取扱ヲ開始ス

明治三十一年十二月一日

遞信大臣子爵芳川顯正

一 電報受付時限ハ二十二年^{十一月} 遞信省告示第二百十四號ニ據ル

但至急電報ニ限り晝夜ノ別ナク受付發送ス

一 著信電報ハ花咲村ニ宛タルモノヲ除クノ外之ヲ取扱ハス

○遞信省告示第三百十四號

明治三十年^{六月} 遞信省告示第六十六號萬國電信條約附屬細目規則及稅表中左ノ通改正ス

明治三十一年十二月一日

遞信大臣子爵芳川顯正

目第二十八條第四節「西班牙」ノ項中「一ベセタ三四サンチモ」ヲ「一ベセタ六六サンチモ」ニ「葡萄牙」ノ項中「二九〇レイス」ヲ「三二五レイス」ニ改ム

B號稅表澳地利匈牙利ノ稅中總稅ノ部^{第二他ノ諸通信ノ記事ノ前ニ左ノ一項ヲ追加ス}

羅馬伯林間ノ直通線ニ依リ伊太利及亞細亞諸國間ニ發着スル電報ニシテ露西亞及印度歐羅巴鐵路ヲ經由シ且「伯林印度線路」ヲ指定ヲ有スルトキハ此料金ヲ減シテ十參ト爲ス

同表大貌列項及愛蘭ノ稅中「諸通信」及「英白線」「英蘭線」ノ中總稅ニ關スル記事中「愛蘭陸揚」ノ四字ヲ削除ス

○遞信省告示第三百十五號

島根縣海士郡太井村沖ニ設置ノ水底電線浮標修繕竣工ニ依リ曩ニ設置シタル假浮標ヲ撤去シ本位置ニ復ス

明治三十一年十二月一日

遞信大臣子爵芳川顯正

○臺灣總督府告示第八十四號(官報 十二月一日)
毎年一月一日ヨリ十五日マテノ間ニ内地ヨリ到著スル郵便葉書ニ限リ到著郵便日附印ヲ押捺セザ

ルコトアルヘシ

明治三十一年十一月二十二日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○外務省告示第十九號

明治三十一年八月十八日日清兩國委員間ニ協定シタル左記沙市日本居留地章程ハ茲ニ之ヲ認可シ直ニ實施ス

明治三十一年十二月二日

外務大臣子爵青木周藏

沙市日本居留地章程

第一條 沙市口洋碼頭荆州官地西界ヨリ起リ東南長江ニ沿ヒ直長三百八十丈其西界ヨリ直長八十丈間ハ幅八十丈以下直長三百丈間ハ幅百二十丈ノ地區ヲ以テ日本專管居留地ト定ム^{別圖}

嗣後他外國居留地ヲ設定スルトキハ日本居留地以下ノ地區ニ於テ制定スヘシ^{別圖}

第二條 居留地内總テノ道路橋梁溝渠埠頭隄防及ヒ警察ノ權ハ日本領事官ノ管理トス其道路橋梁及ヒ溝渠ハ日本領事官ヨリ隨時建築修理シ清國地方官ハ之ニ關涉スルヲ得ス

第三條 居留地ノ安固及ヒ浸水豫防ノ爲メ堅牢ナル隄防ヲ修築スヘシ其修築費及ヒ築隄ニ要スル地基ノ買收代價ハ^日兩國委員會同協算シ清國ハ其一半ヲ負擔スルモノトス

第四條 居留地内ノ地區ハ上中下ノ三等ニ區分シ左ニ各等每畝ノ地價ヲ定ム^{別表}

一 本章程施行ノ日ヨリ起リ光緒二十六年ノ終ニ至ル期間ニ於テ貸付スル地區ハ每畝上等地百

弗中等地八十弗下等地五十弗トス

一 光緒二十七年以後ニ於テ貸付スル地區ハ滿四年ノ期間毎年五弗ヲ遞加ス

一 右期間滿了ノ後ニ至リ貸付スル地區ハ前項滿四年目ノ地價即チ每畝上等地百二十弗中等地

百弗下等地七十弗ヲ以テ基價ト定メ隨時競貸ニ付スルモノトス

右借地區ニ對シテハ毎年每畝地租トシテ清錢一千文ヲ納付スルノ外何等ノ税金ヲ清國ニ納ムルヲ要セス

地區ノ分等ハ日本領事官清國地方官ト商定スヘシ

第五條 居留地内道路溝渠ニ供スル地區ノ代價ハ每畝上等地二十弗中等地十六弗下等地十弗ト定メ起工ノ時ニ於テ日本領事官ヨリ清國地方官ニ交付スヘシ

右地區ニ對シテハ地租其他何等ノ税金ヲ清國ニ納ムルニ及ハス

第六條 居留地内ノ地區ヲ永借セントスル者ハ其所要地區ヲ詳記シ日本領事官ニ願出ツヘシ日本領事官ハ之ヲ調査シタル後其地區ニ應シ所定ノ地價ヲ徵シ清國地方官ニ交付ス清國地方官ハ地券三通ヲ作り日本領事官ニ送付シ日本領事官ハ之ニ加印シ一通ハ借地人ニ給シ一通ハ清國地方官ニ返送シ又一通ハ日本領事館ニ存ス若シ水火盜難其他ノ事故ニヨリ借地人ニ於テ地券ヲ紛失シタルトキハ新地券ノ下付ヲ願出ツルコトヲ得

地券ノ書式ハ清國地方官日本領事官ト商定スヘシ

第七條 光緒三十一年以後ニ於テ地區ヲ永借セントスルモノアルトキハ日本領事官ハ其申出アリタル日ヨリ十五日乃至二十日ノ期間之カ競貸ヲ公告シ地方官立會ノ上ニテ舉行スヘシ而シテ競貸法ハ必ス最高價競人ニ貸付スルモノトス若シ二人又ハ二人以上ノ同額ノ競争者ヲ生シタルトキハ改メテ競貸ニ付スヘシ借地人定マリタルトキハ直チニ其地價五分ノ一ヲ内金トシテ納メ殘餘ハ一箇月以内ニ完納セシム其代收送付ノ手續及地券發給ノ方法ハ前條ニ同シ

第八條 毎年借地人ヨリ納付スヘキ地租ハ日本領事官徵收シ清曆四月十五日清國地方官ニ交付ス清國地方官ハ領收證ヲ日本領事官ニ送付スヘシ若シ意外ノ事變アリシトキハ事定マルノ後日本領事官ヨリ追徵シテ交付ス

第九條 清國人及外國人ハ居留地内ニ在テ居住營業スルヲ許ス但本章程ニ掲グル借地權利ナシ

第十條 借地人ニシテ其借地權ヲ買賣讓與セントスルトキハ雙方連署ヲ以テ日本領事官ニ願出ツヘシ日本領事官ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ清國地方官ニ照會シ清國地方官ハ地券ノ書換ヲ行フ

第十一條 居留地内ニ在ル墳墓家屋ノ移轉料ハ隨時日本領事官清國地方官ト商定スヘシ

清國地方官ハ向後墳墓家屋ノ添設ヲ嚴禁スヘシ

第十二條 日本領事官ハ隨時規程ヲ設ケ居留地内埠頭ニ停泊スル船舶ヨリ停泊料ヲ徵收シ居留地費ニ充ツ

第十三條 居留地内ニ埠頭ヲ修築シ又ハ庫船ヲ設置セントスルトキハ日本領事官海關長ト商議ノ上商船ノ往來ニ妨碍ナキ場所ヲ撰フヘシ

第十四條 居留地内ニ於テ草葺又ハ下等板葺ノ家屋ヲ建造シ或ハ火藥爆發物其他身體財產ニ危害アル物品ヲ貯藏携帶及運送スルヲ許サス但必要止ムヲ得サル場合ニ於テ爆發物類ヲ使用セントスルトキハ其用途ヲ詳記シ日本領事官ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

第十五條 清國地方官ハ日本領事官ト商議シ居留地内ニ立會裁判所ヲ設クヘシ其規則ハ上海ノ例ニ倣フ

第十六條 將來別ニ適當ナル地面ヲ撰ヒ日本人墓地ヲ設ケントスルトキハ隨時日本領事官清國地方官ト協定スヘシ

第十七條 現在及將來他外國人ニ許與シ又ハ許與スル事項ニシテ本章程ニ優ル所アラハ日本居留民モ亦一體均霑スヘシ

本章程ハ日本文清文各二通ヲ作り記名調印ノ上雙方各一通ヲ收メ證憑トナシ政府ノ承認ヲ俟テ實施セラルヘキコトヲ約ス

明治三十一年八月十八日

光緒二十四年七月二日

大日本帝國沙市在勤二等領事 永瀧久吉 畫押

大清帝國欽加二品銜分巡荆宜施道監督 俞鐘穎 畫押

(別表並ニ別圖ハ外務省ニ保存ス)

○陸軍省告示第十九號

明治二十七年七月二十五日ヨリ同二十八年十一月十七日迄ノ間ニ於テ戰役ニ從事シタル陸軍軍人軍屬ニシテ戰地(戰地トハ戰役間ニ於ケル朝鮮國瀋陽及澎湖島ヲ指シ尙内)ニ於テ戰陣中若クハ戰陣中ニアラサルモ敵ノ所爲ニ由リ負傷シ又ハ傳染病若クハ流行病ニ罹リ其他公務ノ爲メ傷疾ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ療養ノ末歸郷シタル者引續キ該傷病ヲ患ヒ若クハ一旦全治セシモ再發シ遂ニ之カ爲メ明治三十一年十一月十六日以前ニ於テ死亡シタル者ハ靖國神社ヘ合祀ニ關シ詮議上必要ニ候條遺族若クハ親族ヨリ左記書式ノ居書ニ地方醫師ノ死亡證書(初診當時ノ現症及爾後ノ若クハ軍醫ノ死亡證書寫ヲ添ヘ市町村長ノ奧書證明ヲ受ケ來ル明治三十二年一月三十日迄ニ所管聯隊區司令官ヲ經(軍屬ハ別ニ戰役中ノ履歷書ヲ添付シ)聯隊區司令官ヲ經由スルニ及ハス)テ當該師團長ニ差出スヘシ但臨時傭人軍役夫等ハ戰陣中若クハ戰陣中ニアラサルモ敵ノ所爲ニ由リ負傷シ遂ニ之カ爲メ死亡シタル者ニ限ル

明治三十一年十二月三日

死亡居書

陸軍大臣子爵桂 太郎

原籍府(縣)郡(市)町(村)番地華(士)族(平民)

住所府(縣)郡(市)町(村)番地住

元所屬部隊號

故官位勳功

爵氏

名

誕生年月日

- 一 明治何年何月何日何部隊ニテ從軍
- 一 同何年何月何日朝鮮國何道(清國何省)(臺灣島)何所ニ於テ何々ノ際何傷ヲ受ケ(何病ニ罹リ)何地兵站病院ニ入ル
- 一 同何年何月何日治療退院同何年何月何日凱旋何地港灣歸郷者同何日歸營
- 一 同何年何月何日内地へ還送セラレ同何日何地陸軍豫備病院ニ入ル(何月何日何地陸軍豫備病院へ轉送セラレ)何月何日退院
- 一 同何年何月何日召集解散ニ付歸郷(歸郷後發給申付)(何々ニ由リ歸郷)
- 一 同何年何月何日依願何地衛戍病院ニ入り同何月何日同院(自宅)(何病院)ニ於テ該傷病(該傷病再發)ニ因リ死亡
- 右之通達ニ死亡候ニ付別紙地方醫師ノ死亡證書(軍醫ノ死亡證書寫)和添(此段及御届候也)

明治何年何月何日

氏 名印

原籍府(縣)郡(市)町(村)番地華(士)族(平民)

住所府(縣)郡(市)町(村)番地住

何師團長爵氏名殿

前書之通相違無之候也

本籍府(縣)郡(市)町(村)長

氏

名印

明治何年何月何日

○遞信省告示第三百十六號

美作國津山町津山郵便電信局ヲ同國同町大字ニ階ニ移轉ス

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第三百十七號

明治三十年六月遞信省告示第百六十七號海外電報料金表第一表亞非利加地方ノ部中「ヲボック」ノ項ノ次ニ左ノ四項ヲ追加ス

明治三十一年十二月三日

遞信大臣子爵芳川顯正

- アスマン(Ashura)
- アズタクラン(Azuleran)
- チレン(Cheren)
- ギンダ(Ghinda)

- 三六六〇〇
- 三六六〇〇
- 三六六〇〇
- 三六六〇〇

○內務省告示第二百二十一號

- 一册 京都市上京區白川橋二百九十九番戶行桐太喜三郎發行
- 一册 京都市佛光寺一條下ル十番戶藤井正實發行

明治三十一年十二月五日

內務大臣侯爵西鄉從道

○內務省告示第二百二十二號

- 一册 京都寺町四條西五入七番戶家本健三發行

明治三十一年十二月五日

內務大臣侯爵西鄉從道

○文部省告示第六十八號

愛媛縣ニ於テ溫泉郡道後村大字持田松山地方測候所敷地内ニ警報信號標ヲ設立シ明治三十一年一月一日ヨリ實施ス

明治三十一年十二月五日

文部大臣伯爵樺山資紀

○內務省告示第二百二十三號

第十四號 東京市淺草區北松山町八十六番地林政治發行
右出版物ハ略本曆類似及出版法第二條ノ範圍外ニ涉ルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁シ且第十四號以下自今出版法ニ依リテ出版スルコトヲ差止ム

明治三十一年十二月六日

內務大臣侯爵西鄉從道

○內務省告示第二百二十四號

明治二十一年法律第一號市制第二百二十六條ニ依リ香川縣那珂郡丸龜町ヲ市制施行地ニ指定シ明治

三十二年四月一日ヨリ市制ヲ施行ス

明治三十一年十二月六日

內務大臣侯爵西鄉從道

○司法省告示第十四號

函館控訴院函館地方裁判所函館區裁判所新築中ノ處工事落成ニ付本月二日新廳舎ニ移轉セリ

明治三十一年十二月六日

司法大臣清浦奎吾

○文部省告示第六十九號

茨城縣ニ於テ水戸市上市水戸測候所構内ニ警報信號標ヲ設立シ明治三十二年一月一日ヨリ實施ス

明治三十一年十二月六日

文部大臣伯爵樺山資紀

○逓信省告示第三百十八號

本月十日ヨリ下野國下都賀郡鍋山郵便局ヲ同國同郡寺尾村大字梅澤ニ移轉シ寺尾郵便局ト改稱ス

明治三十一年十二月六日

逓信大臣子爵芳川顯正

○外務省告示第二十號

明治三十年十二月五日帝國ト埃地利洪牙利國トノ間ニ於テ締結セラレタル通商航海條約ハ去ル十一月三十日批准交換ヲ了ヘタルヲ以テ同條約第十八條及第二十三條第三項ニ依リ帝國臣民ハ同日ヨリ埃地利洪牙利國ニ於テ專賣特許、意匠、雛形、製造標、商標、商社號及商號ニ關シ埃地利洪牙利國臣民ト同一ノ保護ヲ受クルコトヲ得ヘシ

明治三十一年十二月七日

外務大臣子爵青木周藏

○內務省告示第二百二十五號

明治三十年法律第二十九號砂防法第二條ニ依リ砂防設備ヲ要スル土地左ノ通指定ス

明治三十一年十二月 告示

司法省第十四號 文部省第六十九號 逓信省第三百十八號
外務省第二十號 內務省第二百二十五號

明治三十一年十二月七日

岐阜縣

郡名	村名	大字	字	名
揖斐	坂内	廣瀬	川尻	南川尻 茂原 釜ヶ倉 上ヶ瀬
			田ノ尻	合小山 中洞道 上 高戸
			藤廻	皆洞 漆渡瀬 岩倉 黒津山
			西見々木	長田倉 小山 宮代 上ノ
			山	篠洞 北篠洞 小谷 押越 甚田
			ヶ原	ワイトビラ 高洞 カタテ
			マナビラ	荒倉 藤倉 カニクラ 峠
			ノ谷	ミマヤ ヲサカ 西又 ケンギ
			ヨウ	追立 フクツル カラクラ ミ
			ノジヨ	豆粉 飛越 ロジタニ 井口
			大洞	高ノシ 井ノ谷 下高ノシ
			中道	スゴ 大橋 小戸谷 北森山
			隠野	丁子口 中虎 毛ノ洞 荊安洞
			漆谷	大倉 下大倉 上大倉 エベ
			ス	高山谷 北道谷 高深瀬 北深瀬
黒淵	飯掛 クロブチ 小草屋 大草			
大草屋	下ノ平 南大草 見ナロ			
パイワ	ヒシラ スリ合 平鍋 片			
皮	殿又口 二子倉 丁 茂太夫			
南二子倉	西殿又口 ドウメキ 中			
根	宮ノ平 西オノサ 百市 栗ヶ谷			
高津野	ヤセヲ 棚原 大ガヤ 上			
ドウメキ	下ドウメキ 猪留 松平			
小ガヤ	根木ノ田戸 根木ノ尾 南鍋			
揖斐	坂内	川上	本巢	東根尾 板所
			平	足揚 藪子 金子清水 中ノ平
			深瀬	南深瀬 下道谷 道谷 猿草
			上猿草	上沙汰リ 深谷 上サカド
			上サカド	島 下サカド 上サカド セ
			ビ平	サカド 泉ノ澤 中尾 下サタ
			リ	池ノ平 谷口 土井 三浜 西ワ
			ラビ	中ワラビ 植ワラビ 上ワラビ
			尾和田	下ワラビ 蛇ノ谷 上ワイ
			モト	上ノ川原 ワイ本 下ワイモト
			ワノサ	
			小草屋	下出 村向 平岩 白水 猪
			平	上原 上原東 森ヶ鼻 下ノ谷
			平尾	地蔵平 杉尾 岩井谷 ナノ
			坂	向黒又 黒又 長畑 中ノ瀬 品
橋	浅又 橋 村ノ内 宮ノ高 中山			
白谷	字中 小倉谷 黒谷 小貝筋			
笹葉	小家谷 通坂 馬坂 ホケシ			
コ	與左衛門谷 瀧ノ下 早稻米 樽			
谷	上ヶ嶽 中小屋 池之又 鳥ヶ東			
枔ヶ洞	柳土場 枔戸 トカス ミ			
ツ又	神又 ワラビ尾 中津又 大樽			
尾				
扇谷	兔谷 溝田 黒山 蒲田 下村			
上村	脇出 島 中野 立花 竹後			
上段				

內務大臣侯爵西郷從道

○遞信省告示第三百十九號
 廣島縣下安藝郡吉浦村字狩留賀及同縣下同郡江田島村字先早瀬ノ沖へ設置ノ水底電線浮標修繕中
 假浮標ヲ設置ス
 明治三十一年十二月八日
 遞信大臣子爵芳川顯正

○臺灣總督府告示第八十五號(官報 十二月八日)
 明治三十一年六月告示第三十五號別冊臺灣發福州經過海外電報料金表中左ノ通改正ス
 臺灣總督男爵兒玉源太郎
 明治三十一年十一月二十五日

第三表北亞米利加地方ノ部「合衆國」ノ項中「オハイオ」ノ次ニ左ノ通挿入ス
 ワクラホマ、デットロイ(Oklahoma Territory) 八八〇〇 三五二〇〇 八八〇〇 三五二〇〇
 第四表中央亞米利加地方ノ部中「サルヴェドル」ノ項ヲ左ノ通改正ス
 サルヴェドル(Salvador) 一、一五〇〇 四、五〇〇 一、一五〇〇 四、五〇〇
 リベリタド(Libertia) 一、一五〇〇 四、五〇〇 一、一五〇〇 四、五〇〇
 其他各地 一、一五〇〇 四、五〇〇 一、一五〇〇 四、五〇〇
 同表西印度地方ノ部「キューバ」ノ項中「カイマネラ」「グアンタナモ(カイマネラ經過)」ニ關スル記事ヲ左ノ通改正ス
 *此兩地ニ宛タル電報ニシテ「ベルミウダ線」ヲ經テ傳送セントスルモノハ十語ニ付金二圓〇八錢(五法二十參)及十語以上一語
 毎ニ金四十二錢ヲ加課ス又本線路(キイウニスト線)ヲ經テ傳送セントスルモノハ「グアンタナモ」ニ宛テタル電報ニ限リ之ヲ
 加課ス

○臺灣總督府告示第八十六號(官報 十二月八日)
 明治三十一年十一月二十五日ヨリ左ノ各郵便電信局ニ於テ非常通信ヲ取扱ハシム
 臺灣總督男爵兒玉源太郎
 明治三十一年十一月二十五日

臺灣總督府告示第八十七號(官報 十二月八日)
 臺灣總督府告示第十九號ニ依リ通用スル一圓銀貨幣ノ價格ハ明治三十一年十二月一日以降一枚
 臺灣總督府告示第八十七號(官報 十二月八日)
 臺灣總督府告示第十九號ニ依リ通用スル一圓銀貨幣ノ價格ハ明治三十一年十二月一日以降一枚

ニ付金九十四錢ト改定ス

明治三十一年十一月二十六日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○臺灣總督府告示第八十八號(官報十二月八日)

明治三十年十月勅令第三百七十四號ニ依リ受授スル政府ノ極印付一圓銀貨幣ノ價格ハ明治三十一年十二月一日以降一枚ニ付金九十四錢ト改定ス

明治三十一年十一月二十六日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

○內務省告示第二百二十六號

一新潮

神奈川縣横濱市若菜町一丁目十四番地近藤常治發行

右出版物ハ第三十九號記載ノ事項出版法第二條ノ範圍外ニ涉ルモノト認ムルヲ以テ自今出版法ニ依リ出版スルコトヲ差止ム

明治三十一年十二月九日

內務大臣侯爵西鄉從道

○司法省告示第十五號

畿手縣九戸郡輕米村戸籍役場本年十月二十四日火災ニ罹リ戸籍簿、登記目錄、身分登記簿其他役場ニ保存シタル書類悉皆焼失シタルニ付キ左ノ各項ニ該當スルモノハ明治三十一年二月十五日マテニ更ニ同村戸籍吏ニ届書申請書若クハ身分ニ關スル證書ノ謄本ヲ差出シ又ハ報告請求送付等ヲ爲スヘシ

但前項ニ依リ届書又ハ申請書若クハ身分ニ關スル證書ノ謄本ヲ差出スニ付キ詳細ノ手續ハ同村戸籍役場又ハ監督區裁判所ニ就キ承合スヘシ

第一 明治二十年七月一日ヨリ同年十一月三十日マテニ同村長ニ戸籍ニ關スル届出ヲ爲シタル者

第二 明治二十二年一月一日ヨリ同年十二月三十一日マテニ同村長ニ戸籍ニ關スル届出ヲ爲シタル者

第三 明治二十年一月一日ヨリ同三十一年七月十五日マテニ同村長ニ後見人ニ關スル届出ヲ爲シタル者

第四 明治三十一年七月十六日ヨリ同年十月二十三日マテニ同村戸籍吏ニ戸籍ニ關スル届出ヲ爲シタル者

第五 明治三十一年八月一日ヨリ同年十月二十三日マテニ同村戸籍吏ニ身分ニ關スル届出又ハ申請ヲ爲シ若クハ身分ニ關スル證書ノ謄本ヲ差出シタル者

第六 明治三十一年七月十六日ヨリ同年十月二十三日マテニ同村戸籍吏ニ身分ニ關スル届書又ハ申請書ノ正本若クハ副本及ヒ戸籍ニ關スル届書ノ副本ヲ送付シ又ハ身分ニ關スル報告ヲ爲シ若クハ身分ニ關スル證書ノ謄本、身分ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ送付シタル者

第七 明治三十一年七月十六日ヨリ同年十月二十三日マテニ同村戸籍吏ニ身分登記取消ノ請求ヲ爲シタル者

前各號中第一號乃至第三號ノ届書ハ戸籍法施行以前ノ戸籍及ヒ後見人ニ關スル届出ノ例ニ依リ差出スヘシ第六號ノ身分ニ關スル届書又ハ申請ノ正本若クハ副本及ヒ戸籍ニ關スル届書ノ副本ハ監督區裁判所又ハ戸籍役場ニ保存セルモノニ就キ之ヲ謄寫シテ送付スヘシ

明治三十一年十二月九日

司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第十六號

畿手縣九戸郡輕米村役場本年十月二十四日火災ニ罹リ同役場ニ保存シタル出入寄留簿焼失シタルニ付キ現ニ同村ニ寄留スル者又ハ同村ヨリ他へ出寄留中ノ者ハ明治三十一年三月十五日マテニ明治二十九年內務省令第十九號中寄留者届出方ニ關スル規定ニ依リ其出入寄留ヲ更ニ同村長ニ届出ツ

明治三十一年十二月九日

司法大臣清浦奎吾

○内務省告示第百二十七號

三十二年改正

きぬふるひ

全一冊

名古屋岡井町百九十五番戶植田銀次郎發行

右出版物ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

明治三十一年十二月十日

内務大臣侯爵西郷從道

○逕信省告示第百二十號

本月十六日ヨリ安藝國賀茂郡阿賀村郵便受取所ヲ阿賀郵便受取所ト改稱ス

但印章類ハ當分ノ内從前ノモノヲ使用ス

明治三十一年十二月十日

逕信大臣子爵芳川顯正

○逕信省告示第百二十一號

明治三十年^{十二}月 逕信省告示第百九十一號左ノ通改正ス

毎年一月一日ヨリ七日マテノ間ハ郵便端書ニ到著日附印ヲ押捺セス

但外國ヨリ到著スル郵便端書ハ此限ニアラス

明治三十一年十二月十日

逕信大臣子爵芳川顯正

○逕信省告示第百二十二號

本月十六日ヨリ左ノ通郵便受取所ヲ改稱ス

但印章類ハ當分ノ内從前ノモノヲ使用ス

明治三十一年十二月十日

逕信大臣子爵芳川顯正

位 置	現 所 名	改 稱 所 名
能登國珠洲郡	松波村郵便受取所	松波郵便受取所

能登國羽咋郡	ニッ屋村郵便受取所	ニッ屋郵便受取所
--------	-----------	----------

○内務省告示第百二十八號

一冊^{明治三十一年十二月} 一冊

東京市下谷區仲御徒士町三丁目六十五番地田口浪藏發行

右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス

明治三十一年十二月十二日

内務大臣侯爵西郷從道

○文部省告示第七十號

北海道廳管下北見國宗谷郡稚内ニ建設ノ警報信號標柱破損セシニ付修繕出來迄信號標ノ揚卸ヲ中止ス

明治三十一年十二月十二日

文部大臣伯爵樺山資紀

○農商務省告示第二十號

第二十七回獸醫免許試驗並第十七回蹄鐵工免許試驗ノ舉行地及期日左ノ通り之ヲ定ム試驗出願者ハ明治三十二年一月中其願書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

明治三十一年十二月十二日

農商務大臣曾禰荒助

第二十七回獸醫免許試驗舉行地及期日

熊本縣下 熊本 明治三十二年四月十三日

京都府下 京都 同 年五月一日

東京府下 東京 同 年五月二十日

第十七回蹄鐵工免許試驗舉行地及期日

熊本縣下 熊本 明治三十二年四月二十一日

東京府下 東京 同 年五月二十七日

○逕信省告示第百二十三號

來明治三十二年一月一日ヨリ本邦及在韓國本邦郵便局ト在清國本邦郵便局トノ間並ニ在清國本邦

郵便局相互間ニ發着スル郵便物ハ内國郵便物トシテ取扱ヒ内國郵便税及手数料ヲ適用ス
明治三十一年十二月十三日
遞信大臣子爵芳川顯正

○外務省告示第二十一號
在白耳義國帝國公使館本月五日ヨリ開廳セリ

外務大臣子爵青木周藏

○海軍省告示第十八號
龍登國皆月ノ鼻及隱岐國西郷ノ兩望樓ニ於テ本月十七日ヨリ望樓事務開始ス

海軍大臣山本權兵衛

○外務省告示第二十二號

明治三十一年八月二十九日及同年十一月四日日清兩國委員間ニ協定シタル左記天津日本居留地取極書及同續約ハ茲ニ之ヲ認可シ直ニ實施ス

外務大臣子爵青木周藏

日本居留地取極書

清國政府ハ光緒二十二年北京總理衙門ト日本公使ト協定セシ隨定書第三條ニ照シ日本ニ天津ニ於テ專管居留地ヲ設立スルコトヲ允シ茲ニ北京駐紮日本全權公使ハ總理各國事務衙門ニ照會シテ居留地設立ヲ請求セリ總理各國事務衙門ハ直隸總督ニ訓令シテ海關道李天津道任ヲ以テ委員トシ日本全權公使ハ天津駐在領事鄭ヲ以テ委員トシテ會同議定セタリ左ニ議定セシ各條ヲ列記ス
第一條 清國政府ハ隨定書第三條ニ照シ日本ニ天津ニ於テ專管居留地ヲ設立スルコトヲ允シ茲ニ居留地四方ノ境界ヲ劃定ス即チ東界ハ福音堂ノ北界ヨリ起リ河ニ沿フテ溜米廠邢家木廠ノ北橫街ノ河岸ニ到ル其長八十五丈南界ハ福音堂ノ北界ヨリ起リ一直線ニ西ニ向ヒ土牆ニ達ス即チ英

國新設居留地ヲ距ルコト百五十丈ナリトス北界ハ溜米廠邢家木廠ノ北橫街河岸ヨリ起リ現在ノ道路ニ沿ヒ繞テ市街背後ノ空地ニ沿フテ出ツルコト計 丈此ヨリ西方ニ向ヒ一直線ニ現在ノ道路ニ到リ再ヒ道路ニ沿ヒ迂回シテ西方ニ向ヒ海光寺ノ東南角ニ在ル河溝外ノ道路ニ順ヒ土牆ニ再ヒ該止點ヨリ起リ土牆ニ沿フテ下リ南界線ニ達ス其長計 丈又西南兩境界線ノ止點トナリシ土牆ニハ須フク幅五丈ノ道路ヲ殘留シ假クヘシ此約定議定ノ後地方官ハ日本領事ト會同シ境界ヲ劃シテ界石ヲ建立スヘシ但シ東界界石ハ續約ノ議定ヲ俟テ再ヒ建立スルモノトス
第二條 居留地沿岸ニ在ル清國ノ稅關及厘金局ハ其儘留存シ又廟宇ニシテ道路開設ニ妨碍アルモノハ日本領事ハ地方官ト商議ノ上法ヲ設ケテ移遷スヘシ若シ實際移遷シ難キモノアルトキハ須ラク法ヲ設ケテ道路モ遷避スヘシ
第三條 居留地内ノ健康ヲ保全スル爲メ西南隅ニ一溝ヲ掘テ河水ヲ引用スヘシ
第四條 日本居留地ノ北界ハ本來開口ヲ以テ止點トナサンコトヲ請求セシモ困難ノ事情アリテ其請求通り讓與スルコト能ハス且ツ佛國居留地ノ上流へ汽船ノ航行スルハ舊規ノ准サハル所ナルヲ以テ清國ハ特ニ獨逸居留地ノ下流小劉莊ノ河岸ニ於テ別ニ空地一箇處約百畝内外ヲ劃讓シテ汽船停泊ノ埠頭ト爲スコトヲ承諾スヘシ
第五條 日本居留地河岸ニ於テ清國ノ貢米船、官船及稅關厘金兩關ニテ檢査スル貨物船並ニ巡船ノ停泊及船員ノ昇降ヲ許スヘシ又工程局ノ材料船モ亦停泊シ及貨物ノ積卸ヲ許スヘシ但シ其都度必ス日本領事ニ通知シタル上ニテ其積卸ヲ爲スヘシ又其貨物ニ對シテハ共ニ埠頭稅等ノ費用ヲ徵收セラレサルモノトス若シ日本所有ノ貨船到著セシトキハ清國ノ船舶ハ其碇泊場ヲ讓ルヘシ又清國船舶ハ居留地内ニ在ル日本商人所有ノ埠頭ニ停泊スルコトヲ得ス而シテ居留地内ニ於ケル清國商人所有ノ船舶ハ須ラク日本居留地規則ヲ遵守スヘシ又貢米船幅輦スルトキハ地方官

ハ特ニ巡兵ヲ派シテ其取締ヲ爲サシムヘシ

第六條 居留地四方ノ境界議定後地方官ハ日本領事ト會同シ居留地内ニ在ル家屋及地面ヲ詳細ニ調査シ一簿冊ヲ調製スヘシ其買收評價ノ方法ハ佛國居留地規則ノ前例ニ倣ヒ兩國ヨリ評價人數名ヲ選出シ時價ニ照シテ公平ノ價格ヲ議立シ家主及地主ハ任意ノ價格ヲ要求スルコトヲ得ス買主モ亦強買スルコトヲ得サルモノトス

第七條 居留地内ニ在ル家屋地面ニシテ買收ノ必要ナキモノハ從前ノ通り住居スルコトヲ許可シ買收ノ必要アルモノハ前條ニ掲ケタル明細書ノ價格ニ照シテ計算シ日本領事ハ地方官ニ照會シ地方官ハ地主ニ通告シ地主ヲシテ自ラ其地券ヲ日本領事館ニ送呈シ評價ニ照シテ代價ヲ領收セシメ此代價受領當日ヨリ二箇月以内ニ家屋地面ヲ悉ク交付セシム而シテ日本領事ハ住居人每一戸ニ付移轉料トシテ銀十兩ヲ給與スルモノトス

第八條 居留地内ノ地面ヲ丈量登簿ノ後ハ再ヒ家屋ヲ建築シ竝ニ泥土ヲ他ニ販賣運搬スルコトヲ得サル旨清國地方官ヨリ居留地人民ニ諭達スヘシ倘ホ又人民私ニ家屋ヲ建築スル者アラハ買收ノ際領事ハ家屋代竝ニ移轉料ヲ給セスシテ其家屋ヲ取毀テ他處ニ移轉セシムヘシ

第九條 居留地内ニ在ル墓地ハ其儘留存スルモ將來道路家屋ノ築造ニ障碍アル者アラハ日本領事ハ清國地方官ニ請求シテ其墳墓ノ持主タル子孫ヲシテ改葬セシムヘシ若シ紳士ノ墳墓ニシテ實際改葬ヲ願ハサル者アラハ道路家屋ノ築造ハ法ヲ設ケテ讓歩スヘシ

第十條 居留地内ノ地面代價受授ノ際其地主ハ各其地面ヲ永久日本ニ貸與ストノ文句ヲ明細ニ記載シ地面ノ畝數四方ノ丈尺ヲ詳ニ地券内ニ記入シ日本領事ハ之ヲ天津海關道ヲ經テ天津縣衙門ニ送付シ捺印ヲ受ケ保存シ置クモノトス

第十一條 居留地内ノ地面ニ對シ日本領事館ヨリ每一畝ニ付毎年大錢一千文ヲ仕拂フヘシ納期ハ佛國居留地ノ例ニ倣ヒ翌年度ノ借地料トシテ毎年十二月十五日ニ天津縣衙門ニ前納スヘシ此借

地料ハ既ニ買收セル地面ノミニ限り未タ買收セル地面ニ對シテハ納付スルニ及ハス地主自ラ上納スルモノトス

第十二條 居留地議定ノ上ハ此地面ノ既ニ日本居留地タルコトヲ北洋大臣ヨリ人民ニ諭達スヘシ

第十三條 居留地取極書ハ漢文日本文各六本ヲ調製シ兩國委員署名花押調印ノ上一本ハ北京總理各國事務衙門一本ハ東京外務省一本ハ北洋大臣一本ハ北京日本公使館一本ハ天津海關道署一本ハ日本領事館ニ送付保存スルモノトス

第十四條 居留地内ノ件ニ關シ雙方ニ於テ尙ホ未タ盡サ、ル事項ハ向後再ヒ地方官ト日本領事トニ於テ商議シ別ニ續約ヲ設クヘシ

本取極書附屬議定書

第一條 清國ハ溜米廠ヨリ朝鮮公館南牆外ノ道路ニ至リ又此所ヨリ一直線ニ西ニ向ヒ日本現定居留地ノ界ニ接スル場所ヲ以テ日本豫備居留地ト爲ス若シ將來日本ノ商業繁盛シ河岸一帶ノ地實際際餘地ナキニ至ルトキハ日本領事ハ清國地方官ト協議ノ上先ツ溜米廠ヨリ河岸ニ沿ヒ朝鮮公館南口河岸ニ至リ又其背後ハ義和順棧ヨリ日本現定居留地ノ界線ニ接スル所ヲ以テ日本居留地ヲ開設スルコトヲ承允スヘシ直線ノ經過スル民屋地所ニシテ直線ノ内外ニ跨ル者アルトキハ須ラク時價ニ照シテ購入シ任意裁割スルコトヲ得ス又將來居留地ヲ開設スルニ際シ其境界ハ原定ノ線外ニ出ツルコトヲ得ス若シ其西方溜米廠裏小路ノ背後ニ在ル民家ニシテ緊急ノ入用アラサルトキハ仍ホ清國ノ管轄ニ歸シテ從前ノ通り住居セシムヘシ但シ今回ノ取極書議定シタル後ハ其區域内ノ地面家屋ハ他外國人ニ賣與スルコトヲ得サルモノニシテ唯日本人ノミ該所人民ト隨時賣買スルコトヲ許可スルモノトス

第二條 清國ハ獨逸居留地下流ニ一箇所ノ地面ヲ劃シテ日本汽船停泊ノ埠頭ト爲シ該埠頭ト天津南門トノ間ニ日本商人清國商人ノ組合ヲ以テ馬車鐵道事業ヲ營ムコトヲ許可シ地所買入レ車道

ノ設計等ハ一切同會社ニ於テ計畫シ兩國ノ官員ハ隨時會同シテ保護ヲ與フヘシ若シ該馬車鐵道ノ通過スル地面及小劉莊民家又ハ墳墓ニシテ賣與移轉スルコト能ハサル者アラハ須ラ便宜車道ヲ遶避スヘシ

明治三十一年八月二十九日
光緒三十四年七月十三日

大日本國天津駐在一等領事 鄧 登輝
大清欽命分巡天津河間兵備道 任 登輝
大清欽命直隸津海關道 李 登輝

日本居留地取極書續約

- 一 日本ハ其居留地區域内ニ公衆ノ往來ヲ便ナラシムル爲メ清國ニ於テ共同道路一條ヲ開通スルコトヲ承諾シ通行ノ車馬ニ對シテハ一切ノ諸稅ヲ徵收セサルヘシ而シテ道路修築費ハ全ク清國ノ負擔ニ歸スルモノトス
- 一 共同道路ノ幅ハ四丈トシ其高低修繕掃除等ノ諸事ハ居留地内ノ道路ト同様タルヘシ
- 一 共同道路ヲ開通スル迄ハ居留地内ニ在ル從前ノ道路ヲ以テ共同ノ往來ニ供シ日清兩國ニ於テ共同道路ノ位地ヲ釐定シタル上ハ清國ニ於テ直ニ道路ヲ修築シ永遠兩國共同ノ管理ニ歸スルモノトス
- 一 稅關厘金局ヲ通過スル船舶ニシテ貨物ヲ搭載スルモノハ規則ニ照シ其前面ノ河岸ニ停泊セシメ檢査ヲ行フカ故ニ日本商人ハ稅關厘金局前面河岸ニ棧橋ヲ修築スルコトヲ得ス
- 一 居留地内ノ共同道路ヲ通過スル貨物ヲ檢査スル爲メ共同道路ノ傍ニ清國厘金分局ヲ設立スルコトヲ承諾ス
- 一 居留地内ニ居住スル清國人ノ婚嫁喪祭等ハ清國ノ風俗ニ從テ執行シ與馬儀仗モ總テ居留地内ノ

道路ヲ通行スルコトヲ許可シ又居留地外ニ居住スル清國人ノ輿馬儀仗ハ共同道路ノ外通行スルコトヲ得ス若シ道路ヲ共同道路ニ取ルコト能ハサル事情アリテ居留地内ヲ通過スル者ハ先ツ日本警察署ニ届出ツヘシ

一 地價ハ分テ四等ト爲シ河岸ニ沿フマル宅地ヲ第一等ト爲シ此宅地背後 丈ヲ以テ第二等ト爲シ中部 丈ヲ以テ第三等ト爲シ土墻ニ接スル 丈ノ地ヲ以テ第四等ト爲ス復タ一等地ヲ除キ二三四等ノ地ヲ區分シテ高地平地低地沼地ノ四類ト爲ス其地價ハ別ニ兩國ヨリ公正ノ評價人ヲ選出シ時價ニ從テ公平ナル價格ヲ釐定セシムヘシ而シテ其釐定シタル價格ハ釐定後三年間ハ該價格ニ照シ買收スルコトヲ得然レトモ右期限經過後ノ土地買收ハ其當時ノ公平ナル時價ヲ以テ標榜トナシ賣者ハ高直ナル價格ヲ請求スルコトヲ得買者モ亦強買スルコトヲ得ス

一 家屋ノ價ハ宜シク四等ニ區分スヘシ即チ第一等内ノ店舖住屋ヲ第一等トナシ第二等内ニ在ル者ヲ第二等ト爲シ第三等内ニ在ル者ヲ第三等ト爲シ第四等内ニ在ル者ヲ第四等ト爲ス此外尙ホ其構造ノ煉瓦瓦葺石灰塗大小新舊ヲ按シテ評價スヘシ其評價ノ法ハ兩國ヨリ選出シタル立會人ノ評價ニ依リテ定ムルモノトス

一 現定居留地内ニ日本警察署ヲ設立シテ居留地内一切ノ警察事務ヲ取扱フノ外別ニ豫備居留地内ニ共立警察署一箇所ヲ公設シ都テ現定居留地内ノ清國犯罪人ハ共立警察署ヨリ巡査ヲ派シテ捕縛セシメ之ヲ清國官衙ニ押送處分セシムヘシ又居留地内ノ清國人ニ對シ清國官衙ヨリ召喚狀及拘引狀ヲ發シタル時ハ之ヲ領事ニ送付シ檢閱ヲ經タル上共立警察署ノ巡査ハ其清國人ヲ拘留シテ派遣シタル吏員ヘ引渡スヘシ現定居留地内ノ清國犯罪人豫備居留地内ニ遁入リタルトキモ亦共立警察署ヨリ探偵逮捕ノ上清國官衙ニ押送シテ處分シ些細ノ違犯者ハ共立警察署ニ於テ公平ニ處分スヘシ又共同道路ハ共立警察署ノ巡査ヲ派シテ管理セシムルモノトス而シテ共立警察署一切ノ規則ハ兩國官員協議ノ上之ヲ定ムルモノトス尙ホ豫備居留地内ニ於テ召喚狀及ヒ拘引狀

上野國青葉郡三原郵便局
常陸國東茨城郡長岡郵便局
常陸國真壁郡辻村郵便局
常陸國鹿島郡海老澤郵便局
常陸國行方郡山田郵便局
信濃國北安曇郡津島郵便局
信濃國上伊那郡市野郵便局
信濃國下伊那郡泰阜郵便局
信濃國西筑摩郡王瀬郵便局
信濃國下木内郡森郵便局
陸奥國上北郡沼津郵便局
陸奥國東津輕郡根岸郵便局
陸奥國中津輕郡國吉郵便局
陸奥國北津輕郡相内郵便局
陸奥國下閉伊郡門馬郵便局
陸奥國和賀郡杉名畑郵便局
羽後國雄勝郡大澤郵便局
羽後國雄勝郡田代郵便局
羽後國平鹿郡十文字郵便局
羽後國平鹿郡小松川郵便局
羽後國由利郡新波郵便局
陸前國氣仙郡上有住郵便局
陸前國足羽郡市波郵便局
越前國大野郡大宮郵便局
越中國婦負郡片掛郵便局
土佐國土佐郡土佐山郵便局
土佐國安藝郡坂ノ木郵便局
土佐國安藝郡馬路郵便局

土佐國高岡郡市野郵便局
伊豫國伊豫郡總津郵便局
伊豫國上浮穴郡東古味郵便局
伊豫國北宇和郡三浦郵便局
伊豫國北宇和郡上畑郵便局
伊豫國北宇和郡戸島郵便局
伊豫國喜多郡成能郵便局
阿波國那賀郡櫻谷郵便局
阿波國那賀郡川井郵便局
阿波國三好郡川崎郵便局
大隅國大島郡秋名郵便局
大隅國肝煎郡牛根郵便局
大隅國肝煎郡百引郵便局
大隅國肝煎郡通山郵便局
日向國兒湯郡都於郡郵便局
日向國西諸縣郡野尻郵便局
日向國北諸縣郡有水郵便局
琉球國國頭郡金武郵便局
琉球國國頭郡今歸仁郵便局
琉球國中頭郡宜野灣郵便局
琉球國中頭郡羽地郵便局
琉球國中頭郡北谷郵便局
琉球國中頭郡美里郵便局
琉球國中頭郡那城郵便局
琉球國中頭郡那原郵便局
琉球國島尻郡東風平郵便局
琉球國島尻郡東風平郵便局
武藏國東京市芝區芝愛宕町郵便局

武藏國東京市墨田區飯田橋郵便局
武藏國東京市本所區本所清水町郵便局
武藏國東京市麻布區麻布三軒家町郵便局
武藏國東京市京橋區京橋五郎兵衛町郵便局
武藏國東京市本郷區本郷元町郵便局
武藏國東京市下谷區下谷金杉上町郵便局
武藏國東京市芝區芝柴井町郵便局
武藏國東京市深川區深川官岡門前町郵便局
攝津國大阪府南區大阪長堀橋筋二丁目郵便局
攝津國大阪府西區大阪新町南通郵便局
攝津國大阪府東區大阪天満橋郵便局
紀伊國東牟婁郡大島浦郵便局
丹後國與謝郡四ノ辻郵便局
近江國蒲生郡常樂寺郵便局
近江國蒲生郡八幡池田町郵便局
近江國蒲生郡西大路郵便局
近江國大上郡彦根本町郵便局
備前國岡山市岡山富田町郵便局
備前國淺口郡大谷郵便局
備前國下道郡岡田村郵便局
備前國賀陽郡高松郵便局
肥前國長崎市長崎今鏡治屋町郵便局
肥前國西區函館辨天町郵便局
後志國高島郡小樽手宮町郵便局
根室國根室郡和田村郵便局
尾張國知多郡成岩町郵便局
三河國幡豆郡平坂郵便局
尾後國玉名郡伊倉郵便局
筑後國三井郡小郡町郵便局
陸前國宮城郡仙臺原ノ町郵便局
陸前國仙臺市仙臺八幡町郵便局
安藝國賀茂郡阿賀郵便局
安藝國佐伯郡五日市郵便局
備後國御調郡宇津戶村郵便局

出雲國松江郡宇龍郵便局受取所
石見國隠岐郡大浦郵便局受取所
常陸國那珂郡額田郵便局受取所
陸奥國青森市青森新町郵便局受取所

陸奥國東津輕郡今別郵便局受取所
陸奥國盛岡市盛岡本町郵便局受取所
陸奥國丹生郡糠田郵便局受取所

能登國鹿島郡徳丸郵便局受取所
能登國珠洲郡松波郵便局受取所
陸奥國鹿兒島市鹿兒島下荒田町郵便局受取所

薩摩國川邊郡中山田郵便局受取所
伊豫國越智郡大井郵便局受取所
阿波國美馬郡半田郵便局受取所
阿波國那賀郡答島郵便局受取所

○臺灣總督府告示第八十九號(官報十二月十六日)
汽船大義丸外二艘へ左ノ信號符字ヲ附ス
明治三十一年十二月八日

臺灣總督男爵兒玉源太郎

信號符字	船籍證書番號	船名	種類	船籍港	船主
KBCM	七	大義丸 Taiji Maru	汽	北	源榮
KBCP	九	大武丸 Taihu Maru	汽	北	又銘
KBCQ	十	大經丸 Taikai Maru	汽	北	陳志誠

○內務省告示第三百三十號
一明治卅二年日用便書 全一册 京都市北區東町四番目大木當治發行
右出版物ハ略本曆類似ト認ムルヲ以テ其發賣頒布ヲ禁ス
明治三十一年十二月十七日 內務大臣侯爵西鄉從道

○大藏省告示第七十八號
本年十二月二十五日秋田本金庫ヲ秋田市本町四丁目へ移ス
明治三十一年十二月十七日 大藏大臣伯爵松方正義

○海軍省告示第十九號

本年六月海軍省告示第十一號海軍機關學校生徒三十名「トアル」ヲ四十名ニ改ム
明治三十一年十二月十七日 海軍大臣山本權兵衛

〔參照〕

明治三十一年六月十五日海軍省告示第十一號ハ海軍機關學校生徒召募並ニ志願者心得ノ件ナリ

○司法省告示第十七號

長野地方裁判所管内上田區裁判所本月十八日信濃國小縣郡上田町新築廳舎ニ移轉ス

明治三十一年十二月十七日 司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第十八號

東京地方裁判所管内東京區裁判所來明治三十二年一月八日東京市芝區巴町三番地假廳舎ニ移轉ス

明治三十一年十二月十七日 司法大臣清浦奎吾

○司法省告示第十九號

福井縣吉田郡上志比村戶籍役場備付ノ戶籍簿中同村大字大野島戶籍簿登錄戶數 十二月 一册本年八月六日ヨリ九月二十四日マテノ間ニ於テ紛失シタリ

明治三十一年十二月十七日 司法大臣清浦奎吾

○農商務省告示第三十一號

東京鑛山監督署本月十八日ヲ以テ東京市麴町區道三町三番地へ移轉ス

明治三十一年十二月十七日 農商務大臣曾禰荒助

○遞信省告示第三百二十五號

本月二十日ヨリ陸前國王造郡鍛冶屋澤郵便局ヲ同國同郡溫泉村大字大口字川渡ニ移轉シ川渡郵便局ト改稱ス
明治三十一年十二月十七日 遞信大臣子爵芳川顯正

○大藏省告示第七十九號

第二回發行 一記名軍事公債證書額面五拾圓券 一枚
號 八六四六七番

但明治三十一年十二月渡以降利札付屬

右德島縣阿波郡土成村大字成當村百番屋敷大塚兼次郎所有ノ處明治三十一年十月十九日火災ニ罹リ消滅ノ趣ヲ以テ代リ證書請求ニ付整理公債條例第二十條ニ據リ代リ證書ヲ交付セリ但消滅シタル證書ハ無効トス
明治三十一年十二月十九日 大藏大臣伯爵松方正義

○大藏省告示第八十號

本月二十五日山口本金庫所屬赤間關支金庫ヲ赤間關市大字西南部町へ移ス
明治三十一年十二月十九日 大藏大臣伯爵松方正義

○遞信省告示第三百二十六號

明治三十二年一月一日以降內國郵便爲替ヲ取扱フ郵便電信局、郵便局(在韓國仁川本邦郵便)ヲシテ一般ニ外國郵便爲替ノ受拂業務ヲ取扱ハシム

但當分ノ内各支局ニ於テハ香港爲替(香港煤介爲替ヲ含マズ)ノ拂渡業務ヲ、在清國上海本邦局ニ於テハ獨逸爲替佛國爲替、英國及其煤介爲替及伊國及其煤介爲替ノ受拂業務竝ニ白耳義爲替、加那太爲替及香港及其煤介爲替ノ拂渡業務ヲ、在韓國本邦局所ニ於テハ獨逸爲替ノ受拂業務ヲ取扱ハス又臺灣ニ於ケル外國郵便爲替ニ關シテハ本年^四月^四日^四遞信省告示第百八號ニ依ル

明治三十一年十二月十九日

遞信大臣子爵芳川顯正

○遞信省告示第三百二十七號

兵庫縣下播磨國飾磨郡飾磨町ニ於テ飾磨港西波止場へ燈臺ヲ建設シ不動白色^無ノ燈明ヲ設ケ明治三十一年一月一日以後毎夜點火ス

明治三十一年十二月十九日

遞信大臣子爵芳川顯正

一該燈臺ノ位置ハ水路部出版第五十號ノ海圖ニ依レハ北緯約三十四度四十七分十秒ニシテ東經約百三十四度四十分十五秒ニ當ル

一該燈臺ハ木造四角形ニシテ白色ニ塗リ基礎ヨリ燈火マテ二丈三尺ナリ

一該燈火ハ真方位南十五度二十五分西ヨリ南五十四度三十五分東マテ二百九十度間ヲ照輝ス

但右方位ハ海面ヨリ燈臺ニ向テ測定ス

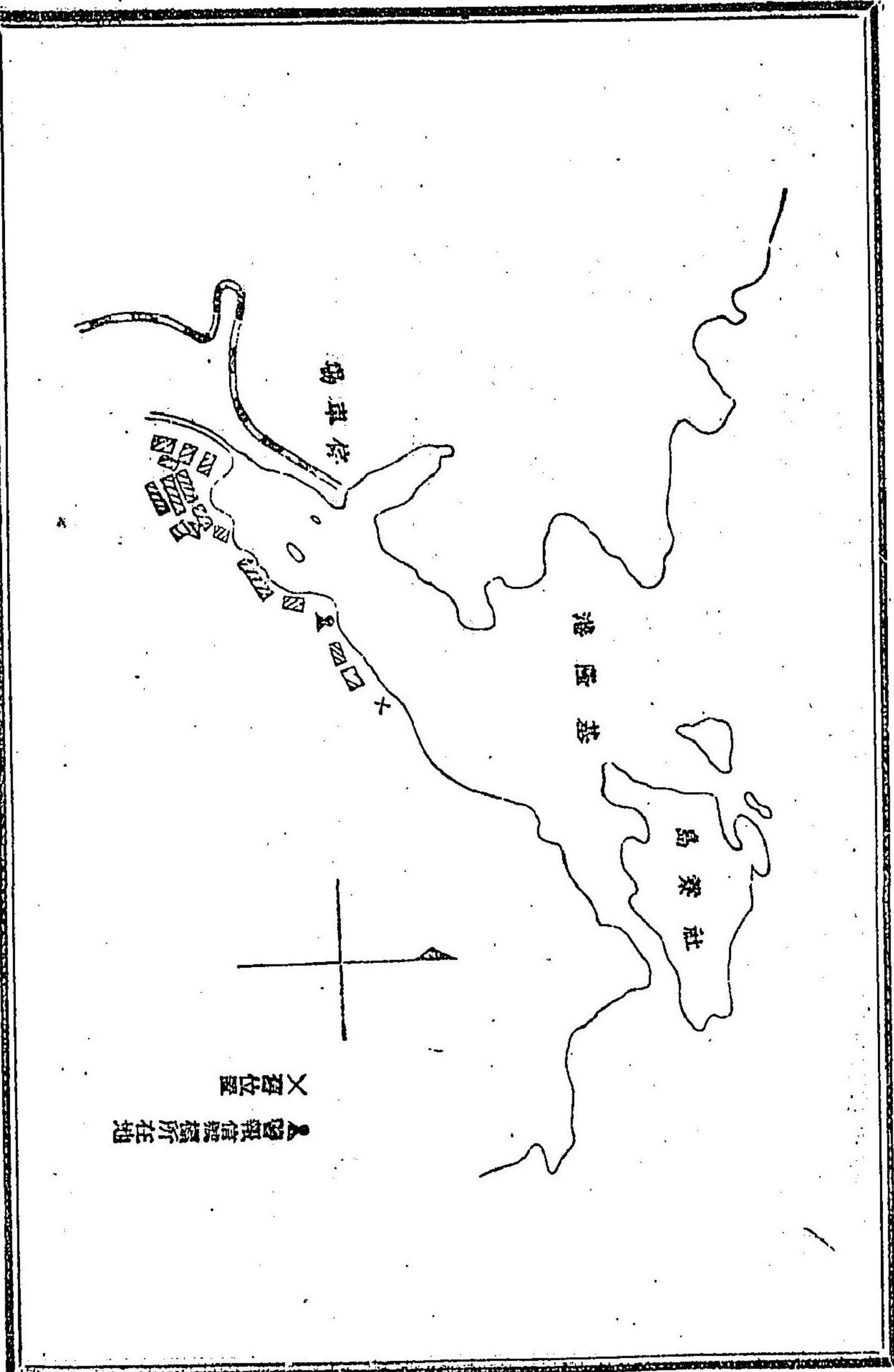
一該燈火ハ水面ヨリ高サ三丈四尺ニシテ其光達距離ハ晴天ノ夜六海里ナリ

○臺灣總督府告示第九十號(官報十二月十九日)

臺北縣基隆港ニ沙灣鼻ニ建設セル警報信號標ハ明治三十一年八月中破損セシヲ以テ揭示方停止セシカ之ヲ同港ニ沙灣基隆辨務署水上支署構内ニ移シ同年十二月九日ヨリ揭示ス但揭示方ハ明治三十年^十月^十日^十告示第六十二號ニ依ル

明治三十一年十二月八日

臺灣總督男爵兒玉源太郎



▲警報信號標所在
×燈台

○文部省告示第七十一號

本年文部省告示第七十號ヲ以テ北海道廳管下北見國宗谷郡稚内ニ建設ノ警報信號標柱破損セシニ付修繕出來迄信號標ノ揚卸ヲ中止スル旨告示セシ處今般修繕出來セリ

明治三十一年十二月二十日

文部大臣伯爵樺山資紀

○遞信省告示第三百二十八號

本月二十六日ヨリ豐前國田川郡後藤寺鐵道停車場電信取扱所ニ於ケル電報別使配達區域ヲ左ノ通改定ス

明治三十一年十二月二十日

遞信大臣子爵芳川顯正

一電報別使配達區域

田川郡 弓削田村大字川宮、奈良、弓削田

伊田村大字伊田ノ内字上伊田、中伊田

猪位金村大字位登、猪國

川崎村大字池尻、川崎、田原

○外務省告示第二十三號

明治三十一年一月一日ヨリ韓國水浦ニ於テ明治二十六年當省令第一號ヲ實施ス

明治三十一年十二月二十一日

外務大臣子爵青木周藏

〔參照〕

外務省令第一號(明治二十六年三月十八日)

清國及朝鮮國駐在日本帝國領事ニ於テ徵收スル左ノ種目ノ手数料ハ登記印紙ヲ以テ納付スヘシ

旅券査査證手数料

船離報告及證書或證書手續料

清國及朝鮮國內地旅行免狀手数料

居住婚姻出生死亡證明書手数料

船舶健康證書手数料

餘事手数料(居住婚姻出生死亡證明書及船舶健康證書其外他日本帝國領事規則第二十五條ニ依ル手数料)

船舶ノ國旗掲揚認可書手数料

船舶賣却及抵當公認手数料

船泊出入港手数料

海員雇入雇止證書公認手数料

右實施ノ場所及期日ハ其時々告示スヘシ

○遞信省告示第三百二十九號

帆船神洲丸外百五十四艘へ左ノ信號符字ヲ點附ス

明治三十一年十二月二十一日

遞信大臣子爵芳川顯正

信號符字	船免狀番號	船名	種類	定	緊	港	船主
H P C Q	二四〇三二四〇三	神洲丸 Shinsū Maru.	帆	北	伊	條	永井 菊太郎
H P D C	二四一〇二四一〇	住吉丸 Suniyoshi Maru.	同	大	阪	岩山	丈之助
H P D F	二四一一二四一一	住榮丸 Suniyei Maru.	同	上	周	關	防 淺吉
H P D G	二四一二二四一二	神吉丸 Shinyoshi Maru.	同	周	華	防	村 高松 吉藏
H P D J	二四一三二四一三	萬吉丸 Manyoshi Maru.	同	新	伊	宮	伊 木田 定三郎
H P D K	二四一四二四一四	商運丸 Shōun Maru.	同	熱	尾	田	張 伊藤 彦八
H P D L	二四一五二四一五	住吉丸 Suniyoshi Maru.	同	東	安	野	村 高橋 庄松
H P D M	二四一六二四一六	英雄丸 Yeiū Maru.	同	同	同	村	高橋 順松
H P D N	二四一七二四一七	和神丸 Washin Maru.	同	長	肥	前	島 鍛冶 幸吉
H P D Q	二四一八二四一八	新伊勢丸 Shin-Ise Maru.	同	中	伊	島	勢 北井 龜吉
H P D R	二四一九二四一九	鶴吉丸 Tsuruyoshi Maru.	同	長	肥	前	島 水田 市五郎

HPDS	二四二〇2420	薩摩丸	丸 Satsuma Maru.	同	伊豫	青野	吉松
HPDV	二四二二2422	八幡丸	丸 Yawata Maru.	同	長崎	水田	市郎衛
HPDW	二四二三2423	若吉丸	丸 Wakayoshi Maru.	同	久賀	大上	平太郎
HPFB	二四二四2424	天社丸	丸 Tensha Maru.	同	佐安	松本	嘉一郎
HPFC	二四二五2425	大吉丸	丸 Daiyoshi Maru.	同	長崎	村上	友平
HPFD	二四二六2426	海鏡丸	丸 Kaisai Maru.	同	同	三浦	浪五郎
HPFG	二四二七2427	德福丸	丸 Sunifuku Maru.	同	油田	濱崎	淺五郎
HPFJ	二四二八2428	勝洋丸	丸 Tanyo Maru.	同	函館	星	源左衛門
HPFK	二四二九2429	大生丸	丸 Daisho Maru.	帆	小樽	岡野	辰造
HPFL	二四三〇2430	自由丸	丸 Jiyu Maru.	同	同	米岡	龜太郎
HPFM	二四三一2431	福島丸	丸 Fukushima Maru.	同	石巻	鈴木	市十郎
HPFN	二四三二2432	住友丸	丸 Sumitomo Maru.	同	井原	原田	貞助
HPFQ	二四三三2433	山陽丸	丸 Sanyo Maru.	同	秋田	長平	虎之助
HPFR	二四三四2434	神力丸	丸 Shiriki Maru.	同	長門	谷村	平一
HPFS	二四三五2435	神樂丸	丸 Shinyei Maru.	同	井原	西田	梅治郎
HPFT	二四三六2436	幸徳丸	丸 Kotoku Maru.	同	東海	國廣	淺太郎
HPFV	二四三七2437	甚福丸	丸 Jinfuku Maru.	同	後志	山田	忠兵衛
HPFW	二四三八2438	幸幸丸	丸 Kotai Maru.	同	本莊	岸本	喜太郎

HPGB	二四三九2439	金寶丸	丸 Kimpō Maru.	同	井原	吉村	政右衛門
HPGC	二四四〇2440	發郎丸	丸 Yuka Maru.	同	蒲野	倉田	常太郎
HPGD	二四四一2441	一若丸	丸 No. 1. Wakayoshi Maru.	同	久賀	賀村	大上 平太郎
HPGF	二四四二2442	住力丸	丸 Sumitaki Maru.	同	東海	伊藤	吉兵衛
HPGJ	二四四三2443	壽寶丸	丸 Juhō Maru.	同	三土	入交	榮治
HPGK	二四四四2444	千早丸	丸 Chihaya Maru.	同	東海	眞當	永三郎
HPGL	二四四五2445	高寶丸	丸 Tomihō Maru.	同	井原	重村	官三郎
HPGM	二四四六2446	秀榮丸	丸 Shūei Maru.	同	牛久	岡	義太郎
HPGN	二四四七2447	大榮丸	丸 Daiyō Maru.	同	阿波	林	卯之助
HPGQ	二四四八2448	第十丸	丸 No. 2. Toka Maru.	同	家室	長井	武吉
HPGR	二四四九2449	福榮丸	丸 Fukuyei Maru.	同	油田	宮崎	彌之助
HPGS	二四五〇2450	東丸	丸 Azuma Maru.	同	伊豫	眞鍋	龜太郎
HPGT	二四五一2451	大陽丸	丸 Taiyō Maru.	同	安藝	大崎	商船合資
HPGV	二四五二2452	加悦丸	丸 Kayetsu Maru.	同	周里	沖永	誠一
HPGW	二四五三2453	金福丸	丸 Kanefuku Maru.	同	伊保	今井	種松
HPJB	二四五四2454	住徳丸	丸 Sunitoku Maru.	同	井原	竹代	光三郎
HPJC	二四五五2455	三浦安丸	丸 No. 3. Urayasu Maru.	同	油田	中本	菊右衛門
HPJD	二四五六2456	朝日丸	丸 Asahi Maru.	同	井原	藤村	富士太郎

HPJF	二四五七	2457	幸 運	丸 Kōun Maru.	同	羽後	秋野	平藏
HPJG	二四五八	2458	三 榮	丸 Sanyei Maru.	同	三谷	藤田	佐次平
HPJK	二四九九	2459	住 吉	丸 Sumiyoshi Maru.	同	東岐波	綿田	源平
HPJL	二四六〇	2460	小 柳	丸 Koyanagi Maru.	同	長肥	三菱合資會社	
HPJM	二四六一	2461	三 吉 祥	丸 No. 3. Kashio Maru.	同	同	中村	市太郎
HPJN	二四六二	2462	大 寶	丸 Daiho Maru.	同	日原	杉原	惣吉
HPJQ	二四六三	2463	摸 稜	丸 Morio Maru.	同	日向	河野	宗四郎
HPJR	二四六四	2464	妙 豐	丸 Micho Maru.	同	楊駿	木村	治平
HPJS	二四六五	2465	久 榮	丸 Kiyei Maru.	同	須伊	田中	寅松
HPJT	二四六六	2466	大 榮	丸 Daiyei Maru.	同	下伊	佐々木	傳次郎
HPJV	二四六七	2467	若 榮	丸 Wakayei Maru.	同	上淡	長塚政右衛門	
HPJW	二四六八	2468	金 毘 羅	丸 Konpira Maru.	同	吉淡	前田	與三郎
HPJB	二四六九	2469	利 濟	丸 Risa Maru.	汽	宇安	久米	秀次郎
HPKC	二四七〇	2470	大 寶	丸 Daiho Maru.	帆	久周	緒方	藤吉
HPKD	二四七一	2471	幸 榮	丸 Kōyei Maru.	同	長肥	平山	末吉
HPKF	二四七二	2472	明 幸	丸 Mioko Maru.	同	同	池田	喜太郎
HPKG	二四七三	2473	三 伊 勢	丸 No. 2. Ise Maru.	同	上防	池田利右衛門	
HPKJ	二四七四	2474	教 榮	丸 Kiōyei Maru.	同	末武	沼	孝之進

HPKM	二四七六	2476	三 神	丸 Saajin Maru.	同	東岐波	末次	兼祐
HPKN	二四七七	2477	榮 久	丸 Yeikū Maru.	同	久周	緒方	為助
HPKQ	二四七八	2478	三 永 寶	丸 No. 2. Yeiho Maru.	同	油周	大沼	彦兵衛
HPKR	二四七九	2479	有 田	丸 Arita Maru.	同	宮紀	御前	兼
HPKS	二四八〇	2480	三 住 榮	丸 No. 3. Sumiyei Maru.	同	油周	松井	兼吉
HPKT	二四八一	2481	廣 崎	丸 Hirotsaki Maru.	同	長肥	杉原	磯吉
HPKV	二四八二	2482	神 森	丸 Shingū Maru.	同	北伊	永井	菊太郎
HPKW	二四八三	2483	神 力	丸 Shinkiri Maru.	同	同	永井	雅之
HPLB	二四八四	2484	五 第 明 神	丸 No. 5. Meijin Maru.	同	高伊	濱田	久太郎
HPLC	二四八五	2485	神 社	丸 Jinsha Maru.	同	北伊	永井	菊太郎
HPLD	二四八六	2486	神 幸	丸 Jinko Maru.	同	長肥	濱谷	貞次
HPLF	二四八七	2487	廣 盛	丸 Kosei Maru.	同	同	杉原	磯吉
HPLG	二四八八	2488	金 福	丸 Kanefuku Maru.	同	同	中屋	太助
HPLJ	二四八九	2489	六 第 生 幸	丸 No. 6. Saikō Maru.	同	同	中村	市太郎
HPLK	二四九〇	2490	住 寶	丸 Suniho Maru.	同	井周	渡崎	藤兵衛
HPLM	二四九一	2491	明 隆	丸 Meitū Maru.	同	阪播	高川	定十郎
HPLN	二四九二	2492	金 榮	丸 Kinzei Maru.	同	日原	中川	權次郎
HPLQ	二四九三	2493	正 吉	丸 Shōyoshi Maru.	同	阪播	江崎	彦次郎

HP L R	二四九四	2494	千 歲	丸 Chitose Maru.	同	大 阪	阿部 安次郎
HP L S	二四九五	2495	妙 見	丸 Michen Maru.	同	日 本	板倉 梅治郎
HP L T	二四九六	2496	純 粹	丸 Junsui Maru.	同	太 華	三牧 太三郎
HP L V	二四九七	2497	五 郎 生	丸 Seiko Maru. No. 5.	同	長 崎	中村 市太郎
HP L W	二四九八	2498	二 寶	丸 Nijo Maru.	同	日 本	小川 惣助
HP M B	二四九九	2499	改 運	丸 Kaim Maru.	同	小 松	平田 德松
HP M C	二五〇〇	2500	二 卵	丸 Uhoi Maru. No. 2.	同	大 阪	丹保 佐吉郎
HP M D	二五〇一	2501	中 一	丸 Nakichi Maru.	同	森 野	藤原 宇左衛門
HP M F	二五〇二	2502	寶 榮	丸 Hozei Maru.	同	酒 田	小倉 金藏
HP M G	二五〇三	2503	雷 電	丸 Raiden Maru.	同	長 崎	三菱 合資會社
HP M K	二五〇五	2505	榮 久	丸 Yekiu Maru.	同	久 賀	沼野 馬次郎
HP M L	二五〇六	2506	進 榮	丸 Shinyei Maru.	同	沖 浦	米元 吉兵衛
HP M N	二五〇七	2507	喜 德	丸 Kitoku Maru.	同	伊 保	和田 梅吉
HP M Q	二五〇八	2508	光 榮	丸 Koyei Maru.	同	三 田	光永 勝藏
HP M R	二五〇九	2509	榮 德	丸 Yeitoku Maru.	同	東 岐	國重 伊兵衛
HP M S	二五一一	2510	佳 力	丸 Sumitaki Maru.	同	大 阪	藤井 多喜馬
HP M T	二五一一	2511	三 幸	丸 Sankō Maru.	同	久 賀	中村 長吉
HP M V	二五一一	2512	三 一	丸 Tei Maru. No. 2.	同	蒲 野	藤井 喜十郎

HP M W	二五一三	2513	神 龜	丸 Shinkei Maru.	同	長 肥	谷口 伊豫次
HP N B	二五一四	2514	三 郎 神 力	丸 Shiriki Maru. No. 3.	同	同	西村 ハン
HP N C	二五一五	2515	金 刀 比 羅	丸 Kotohira Maru.	同	沖 浦	中元 仲二郎
HP N D	二五一六	2516	海 子	丸 Yebisu Maru.	同	蒲 野	田中 安治郎
HP N F	二五一七	2517	佳 德	丸 Sunioku Maru.	同	沖 浦	富岡 藤八
HP N G	二五一八	2518	德 運	丸 Tokun Maru.	同	函 島	石川 宇之松
HP N J	二五一九	2519	金 榮	丸 Kinyei Maru.	同	齊 津	濱口 類吉
HP N K	二五二〇	2520	木 原	丸 Kihara Maru.	同	吉 安	木原 順藏
HP N L	二五二一	2521	三 郎 榮 一	丸 Yeiichi Maru. No. 3.	同	下 田	平田 勝太郎
HP N M	二五二二	2522	永 德	丸 Yeitoku Maru.	同	千 土	原 林太郎
HP N Q	二五二三	2523	富 吉	丸 Tomiyoshi Maru.	同	東 野	望月 芳太郎
HP N R	二五二四	2524	恭 寶	丸 Kiho Maru.	同	同	藤永 熊五郎
HP N S	二五二五	2525	佳 江	丸 Sumiye Maru.	同	安 野	兒玉 伊勢松
HP N T	二五二六	2526	利 寶	丸 Rihō Maru.	同	東 野	望月 倉松
HP N V	二五二七	2527	妙 見	丸 Mōken Maru.	同	井 野	中野 芳太郎
HP N W	二五二八	2528	金 榮	丸 Kinyei Maru.	同	同	浦田 友治郎
HP Q B	二五二九	2529	一	丸 Tei Maru.	同	蒲 野	藤井 善吉
HP Q C	二五三〇	2530	東 海	丸 Tokai Maru.	同	日 本	山村 長兵衛

HPQD	二五三一	住	悅	丸	Sumiyetsu Maru.	同	井周	關防	池村	榮治郎
HPQF	二五三二	八	幡	丸	Yawata Maru.	同	久周	賀防	川野	甚兵衛
HPQG	二五三三	政	榮	丸	Masayei Maru.	同	井周	關防	河野	梅藏
HPQJ	二五三四	末	吉	丸	Suyeyoshi Maru.	同	同	同	編田	市太郎
HPQK	二五三五	住	吉	丸	Sumiyoshi Maru.	同	蒲周	野防	松野	傳治
HPQL	二五三六	住	福	丸	Sumifuku Maru.	同	井周	關防	磯金	虎治郎
HPQM	二五三七	神	恵	丸	Shinye Maru.	同	太周	華防	高松村	右衛門
HPQN	二五三八	神	勢	丸	Shinsei Maru.	同	荒越	後	川口	濱吉
HPQR	二五三九	住	榮	丸	Sumiyei Maru.	同	若筑	松前	加藤	徳兵衛
HPQS	二五四〇	發	寶	丸	Juho Maru.	同	三士	里佐	入交	榮治
HPQT	二五四一	一	明神	丸	Migin Maru.	同	新居	濱	明星	長太郎
HPQV	二五四二	神	通	丸	Jintsu Maru.	同	吉伊	井豫	寺田	市太郎
HPQW	二五四三	加	寶	丸	Kaho Maru.	同	蒲周	野防	寶井	三太郎
HPRB	二五四四	一	丸	Ichi Maru.	同	同	同	同	藤井	喜十郎
HPRC	二五四五	觀	音	丸	Kwan-on Maru.	同	同	同	深井	磯助
HPRD	二五四六	叶	子	丸	Kano Maru.	同	井周	關防	磯中	孫太郎
HPRE	二五四七	發	來	丸	Yebisu Maru.	同	同	同	藤谷	吉兵衛
HPRG	二五四八	發	來	丸	Hori Maru.	同	同	同	國弘	友治郎

HPRJ	二五四九	喜	徳	丸	Kitoku Maru.	同	麻周	里防	山本	久治郎
HPRK	二五五〇	開	運	丸	Kaiun Maru.	同	鶴磯	羽防	木村	和吉
HPRL	二五五一	周	陽	丸	Shiyō Maru.	同	井周	關防	香川	真助
HPRM	二五五二	觀	音	丸	Kwan-on Maru.	同	同	同	徳本	龜藏
HPRN	二五五三	住	榮	丸	Sumiyei Maru.	同	同	同	山村	安太郎
HPRQ	二五五四	三	天龍	丸	Tenri Maru.	同	長肥	崎前	池田	喜太郎
HPRS	二五五五	三	強運	丸	Kionn Maru.	同	同	同	中尾	敬太郎
HPRR	二五五六	明	吉	丸	Akiyoshi Maru.	同	伊周	保防	藤村	宇太郎
HPRV	二五五七	山	陽	丸	Sanyō Maru.	同	麻周	里防	石崎	勝太郎
HPRW	二五五八	住	吉	丸	Sumiyoshi Maru.	同	沖周	浦防	吉村	喜治郎
HPSB	二五五九	二	神吉	丸	Kamiyoshi Maru.	同	長肥	崎前	池田	喜太郎
HPSC	二五六〇	四	御幸	丸	Miyuki Maru.	同	同	同	馬越	幸助
HPSD	二五六一	御	文	丸	Mitsumi Maru.	同	淵肥	前	守田	文七
HPSE	二五六二	貫	力	丸	Kwanriki Maru.	同	戸肥	町前	福田	次太郎
HPTE	二五八二	淺	海	丸	Asau Maru.	汽	鷺對	村國	支廠	軍兵器
HPVS	二六〇一	浩	徳	丸	Seioku Maru.	帆	長肥	崎前	門	政次郎
HQDV	二六六一	一	寶神	丸	Hoshin Maru.	同	東	崎前	京	酒井
HQSL	二八〇六	日	本	丸	Nippon Maru.	汽	同	同	會社	東洋汽船株式

○內務省告示第三百三十一號

一北海教報

北海道後志國小樽郡信香町十二番地多田公隆發行

右出版物ハ第三號記載ノ事項出版法第二條ノ範圍外ニ涉ルモノト認ムルヲ以テ自今出版法ニ依リ出版スルコトヲ差止ム

明治三十一年十二月二十二日

內務大臣侯爵西鄉從道

○陸軍省告示第二十號

明治三十一年ニ於テ陸軍一年志願兵條例第四條ニ依リ官費ヲ以テ服役ヲ許可スヘキ定員左ノ通定

明治三十一年十二月二十二日

陸軍大臣子爵桂 太郎

師團	兵種		計
	歩兵	騎兵	
近衛	三六	三	三九
第一	四八	三	五一
第二	四八	三	五一
第三	四八	三	五一
第四	四八	三	五一
第五	四八	三	五一
第六	四九	三	五二
第七	二	一	三
計	三六	一	三七

備考	一近衛師團工兵定員中ニハ鐵道大隊ニ於テ服役ヲ許スヘキ者三名ヲ包含ス		一第六師團歩兵及要塞砲兵定員中ニハ對馬警備隊ニ於テ服役ヲ許スヘキ者各一名ヲ包含ス	
	計	五六七	三二	九五
第八	四八	二	六	六
第九	四八	二	六	六
第十	四八	二	六	六
第十一	四八	二	六	六
第十二	四八	二	六	六
計	五六七	一〇	二四	七九

○司法省告示第二十號

青森地方裁判所管内八戸區裁判所本月十日三日郡長者村新築廳舎ニ移轉セリ

明治三十一年十二月二十二日

司法大臣清浦奎吾

○逓信省告示第三百三十號

本年十二月二十日勅令ヲ以テ公布セラレタル萬國郵便條約ノ施行細則左ノ通定ム

明治三十一年十二月二十二日

逓信大臣子爵芳川顯正

萬國郵便聯合

獨逸及獨逸保護國、中央亞米利加大共和國、亞米利加合衆國、亞然的音共和國、奧地利洪島、利、白耳義、「ボリビエ」、「ボスニア、ヘルゼゴヴィナ」、伯西兒、勃爾瓦利、智利、清帝國、古倫比亞共和國、公果獨立國、韓王國、古西多利加共和國、丁抹及丁抹殖民地、「ドミニカ」共和國、埃及、「エクアートル」、西班牙及西班牙殖民地、佛蘭西、佛蘭西殖民地、大不列顛及大不列顛

諸殖民地、英領印度、濠太刺利大不列顛殖民地、加那太、南亞弗利加大不列顛殖民地、希臘、「ガテマラ」、「ハイチ」共和國、布哇共和國、伊太利、日本、「リベリア」共和國、歷山堡、墨西哥、滿得涅各羅、那威、「オランジニ」自由國、「バラゲー」、和蘭、和蘭殖民地、白露、波斯、葡萄牙及葡萄牙殖民地、羅馬尼、露西亞、塞爾維、暹羅王國、南亞弗利加共和國、瑞典、瑞西、突尼斯攝政國、土耳其、「ウルゲー」及「ベネメラ」合衆國ノ間ニ締結セル萬國郵便條約施行細則

下ニ署名スル諸員ハ千八百九十七年六月十五日華盛頓ニ於テ締結セル萬國郵便條約第二十條ニ憑據シ各其ノ郵政廳ニ代リ該條約實施ノ爲協議決定セシ條款左ノ如シ

第一條 郵便物差立線路

- 一 各郵政廳ハ他國ヨリ交付セシ閉塞及開塞郵便物ハ自廳ノ郵便物ヲ差立テ得ヘキ最速達ノ線路ヲ經テ之ヲ差立ツヘシ
- 二 或ル線路ニ屬スル特別ノ費用トシテ補充料ヲ徵收スル權利ヲ有スル郵政廳ハ他ニ遞送ノ途アルトキハ不足料ノ郵便物ニ限リ差出人ヨリ特ニ該線路ノ經過ヲ要求スルニアラサレハ其ノ線路ヲ經過シ差立テサルノ自由ヲ有スルモノトス

第二條 閉塞郵便物交換

- 一 聯合郵政廳間閉塞郵便物ノ交換ハ當該郵政廳相互ノ間事務ノ都合ニ依リ協議規定スヘシ
- 二 郵便物ノ交換他ノ一國若ハ數國ノ媒介ニ依リ施行セラルルトキ媒介諸國ノ郵政廳ハ豫メ其ノ通知ヲ受クヘキモノトス
- 三 第二項ノ場合ニ於テ郵便物ノ數夥多ニシテ媒介廳ノ業務ヲ妨グル旨同廳ヨリ通知アルトキハ必ス閉塞ヲ以テ差立ツヘシ
- 四 二國郵政廳ノ間ニ他ノ一國若ハ數國ノ媒介ニ依リ施設スル閉塞郵便物ノ交換上變更アルトキハ其ノ變更ヲ惹起セル郵政廳ハ媒介諸國ノ郵政廳ニ之ヲ通知スヘシ

第三條 特殊ノ遞送

特殊ノ遞送ハ特別ノ費用ヲ要シ其ノ費額ハ關係郵政廳ニ於テ條約第四條ニ從ヒ協議決定スヘキモノトス特殊ノ遞送ハ左記ノモノニ限ルヘシ

- 第一 印度郵便ト稱スル郵便物ヲ急速陸送ノ爲ニ保持スル遞送
- 第二 亞米利加合衆國郵政廳ニ於テ太平洋ト太平洋トノ間ニ閉塞郵便物運送ノ爲其ノ領地内ニ保持スル遞送
- 第三 「コロン」及「パナマ」ノ間ニ鐵道ヲ以テ郵便物運送ノ爲施設スル遞送

第四條 郵便料ヲ定ムル方法

條約第十條ヲ實施スルニ當リ「フランク」ヲ以テ貨幣ノ單位トセサル聯合諸國ノ郵政廳ハ左ノ比例ニ從ヒ郵便料ヲ徵收スヘシ

聯 名	逸	國	名	逸
亞然	二十五サンチム	和 國	八センタヴオ	四センタヴオ
的音共	二十サンチム	地 利	十クロイツエル	五クロイツエル
塊 地	二十サンチム	洪 島	十センタヴオ	四センタヴオ
ポ	二十サンチム	リ	十クロイツエル	二センタヴオ
ポ	二十サンチム	スニ	十クロイツエル	三クロイツエル
伯	二十サンチム	西	二百レイ	五十レイ
加	二十サンチム	那	五セント	一セント

波	斯	十二シアイ	五シアイ	三シアイ
葡萄牙(マデール及アソールを含む)	六十五レイ	二十五レイ	十五レイ	
葡萄牙殖民地(葡領印度澳門及チモールを除く)	五十レイ	二十レイ	十レイ	
葡領印度	二ダシガス	十レイ	五レイ	
澳門及チモール	十アヴォー、ド、バ タカ	四アヴォー、ド、バ タカ	二アヴォー、ド、バ タカ	
中央亞米利加大共和國	五セシタヴォ	二セシタヴォ	一セシタヴォ	
露	西	十コベツク	四コベツク	二コベツク
暹	羅	十アツト	四アツト	二アツト
南亞弗利加共和國	二ベシス半	一ベシニ	半ベシニ	
瑞	典	二十オール	十オール	五オール
土	耳	四十バラ	二十バラ	十バラ
ウ	ル	ビアシトル五セシ タヴォ	ビアシトル二セシ タヴォ	ビアシトル一セシ タヴォ

二 前項ニ記載スル諸國ノ一國ニ於テ貨幣ノ制度ヲ變更スル場合若ハ貨幣ノ價值ニ著シキ變動ヲ生スル場合ニ在テハ該國郵政廳ハ前項ノ比例ヲ變更スル爲メ瑞西郵政廳ト協議スヘシ瑞西郵政廳ハ萬國郵便聯合總局ヲ經由シ聯合ノ他廳ニ此ノ變更ヲ通知スヘシ

三 不足料ノ郵便物ニ適用スル郵便料ヲ追徴スルニ當リ或ハ聯合外ノ國ト交換スル郵便物ノ郵便料ヲ算定スルニ當リ或ハ聯合ノ通常郵便料ト條約第五條ニ掲載スル増郵便料トヲ合算スルニ當リ貨幣ニ端數ヲ生スルトキハ之ヲ徴收スル郵政廳ニ於テ全數ニ切上クルコトヲ得然レトモ爲ニ増加スル額ハ決シテ「一」フランクノ二十分ノ一(五サンチム)ヲ超過スルヲ得ス

第五條 重量ノ變例

内國規則ニ據リ十位昇降ノ重量ヲ使用シ難キ諸國ハ特例トシテ常量「オンス」(二一八「グラム」)三(四六五)ヲ以テ之ニ代ヘ半「オンス」ヲ十五「グラム」、二「オンス」ヲ五十「グラム」ニ相當シ使用スルコトヲ得且必要アルニ於テハ新聞紙一通分ノ重量ヲ四「オンス」ト制限スルコトヲ得然レトモ此ノ場合ニ於テハ必ス一通分ノ郵便料十「サンチム」ヨリ低下ナルヘカラス又數號ノ新聞紙ヲ一束トシ差出ストキト雖一號毎ニ前記ノ郵便料ヲ徴收スヘシ

第六條 郵便切手

一 聯合ノ通常郵便料若ハ各國貨幣ニ於ケル其ノ相當額ヲ表示スル郵便切手ハ成ルヘク左ノ彩色ヲ以テ之ヲ製作スヘシ

二十五「サンチム」ノ切手 濃青色

十「サンチム」ノ切手 紅色

五「サンチム」ノ切手 綠色

二 郵便切手ハ第四條ニ記載スル貨幣比例表ニ從ヒ郵便料前拂ノ爲メ表示スル實際ノ價額ヲ切手面ニ記載セサルヘカラス

第七條 聯合外ノ國ト交換ノ郵便物

聯合外ノ國ト關係ヲ有スル聯合郵政廳ハ左記事項ヲ記入スル聯合外ノ國名表ヲ調製シ聯合ノ他廳ヘ之ヲ送付スヘシ

第一 聯合疆外ノ遞送ニ適用スヘキ海路若ハ陸路ノ繼越遞送料

第二 郵送シ得ル郵便物ノ種類

第三 郵便料ハ前拂ヲ要スルコト若ハ然ラサルコト

第四 各種ノ郵便物ニ對シ徴收セシ郵便料效力ノ限度(名宛地迄陸揚港迄等)

第五 書留郵便物ニ關スル賠償責任ノ有無

第六 到達證請求ノ許否
第七 成ルヘクハ聯合外諸國ヨリ聯合諸國ヘノ現行郵便料

第八條 押印方

- 一 聯合諸國ヨリ發送スル郵便物ニハ差出地ト郵便ニ付シタル日附トヲ指示スル印章ヲ押捺スヘシ
- 二 名宛局ハ該郵便物到着ノトキ信書ハ裏面ニ郵便端書ハ表面ニ日附印ヲ押捺スヘシ
- 三 郵便船上ニ於テ函内ニ投入シ或ハ船長ニ交付セシ郵便物ハ條約第十一條第三項ニ掲載スル場合ニ於テハ乗込郵便吏員ニ於テ日附印ヲ押捺シ該吏員乗込ミナキトキハ右郵便物ヲ受取スル郵便局ニ於テ押印ス該郵便局ハ此ノ如キ場合ニ於テハ右郵便物ニ通常日附印ノ外 Paquet 郵便ナル文字ヲ記載スル印章ヲ押捺シ若ハ筆書スヘシ
- 四 聯合外ノ諸國ヨリ發送スル郵便物ハ之ヲ集送スル聯合郵政廳ニ於テ其ノ管掌ニ歸シタル處ノ地名ト日附トヲ指示スル印章ヲ押捺スヘシ
- 五 未納料及不足料ノ郵便物中聯合内ヨリ發送ノモノハ差出國郵政廳又聯合外ヨリ發送ノモノハ郵便物ノ聯合内ニ到着セシ國ノ郵政廳ニ於テ右印章ノ外 T (郵便料ヲ拂フヘシ) 字ノ印章ヲ押捺スヘシ
- 六 別配達ノ郵便物ハ Express (別配達) ト大書セシ印章ヲ押捺スヘシ但シ各郵政廳ハ此ノ印章ニ代ヘ Express (別配達) ノ文字ヲ印刷セシ標符ヲ貼用シ或ハ該文字ヲ筆記シ色鉛筆ヲ以テ其ノ下一線ヲ劃スルモ妨ケナシトス
- 七 總テ T 字ノ印章ヲ押捺セサル郵便物ハ完納料ノモノト看做シ取扱フヘシ但シ明瞭ナル誤謬アルモノハ此ノ限ニアラス
- 八 差出局ニ於テ誤謬若ハ脱漏ニ因リ消印セサル郵便切手ハ之ヲ發見セシ郵便局ニ於テ通常ノ方

法ニ依リ消印スヘシ

第九條 通數ノ記入

未納料若ハ不足料ノ信書又ハ總テ其ノ他ノ郵便物ニシテ重量一通分以上ノ郵便料ヲ課セラルヘキモノアルトキハ場合ニ依リ差出國郵政廳若ハ該郵便物ノ聯合内ニ到着セシ國ノ郵政廳ニ於テ通常ノ數字ヲ以テ表記ノ上部左隅ニ其ノ通數ヲ記載スヘシ

第十條 不足料郵便物

- 一 郵便切手ヲ以テ不十分ニ前拂シタル郵便物ハ差出局ニ於テ不足額ヲ「Frank」及「Sancie」ニ換算シ黒色ノ數字ヲ以テ切手ノ側ニ記載スヘシ
- 二 名宛國交換局ハ此ノ記載ニ從ヒ不足料ノ郵便物ニ不足額ノ二倍ヲ課徴スヘシ
- 三 郵便料前拂ノ爲效力ナキ郵便切手ヲ貼用シタルトキハ無効トシテ處分ス此ノ如キ場合ニ於テハ切手ノ側ニ零字(0)ヲ記シテ之ヲ指示スヘシ

第十一條 書留郵便物ニ關スル條件

- 一 冠字ヲ以テ名宛ヲ記載シ若ハ鉛筆ニテ名宛ヲ記載セシ郵便物ハ書留ト爲スコトヲ許サス
- 二 書留郵便物ノ形狀竝ニ封緘方ニ付テハ毫モ特殊ノ條件ヲ設ケス各郵政廳ハ其ノ内地郵便ニ關シ制定セル規則ヲ適用スルコトヲ得
- 三 書留郵便物ニハ本細則附錄第一號離形ニ適合若ハ類似セル標符ヲ貼用スヘシ該標符ニハ差出局名竝ニ同局ニ於テ該郵便物ヲ登記セシ逐次番號ヲ記載スヘキモノトス
但シ締盟郵政廳中現時内地ノ制度上此ノ標符ノ貼用ヲ許ササルモノニ在リテハ其ノ貼用ヲ見合セ從前ノ如ク書留郵便物ヲ指示スル爲印章ヲ使用スルコトヲ得
然レトモ各書留郵便物ハ必ス逐次番號ヲ以テ之ヲ指示スヘシ若シ再發廳ノ内地規則上新規ノ逐次番號ニ依リ書留郵便物ヲ指示スルヲ必要トスルトキハ該廳ハ讀下シ得ル様注意ヲ加ヘ原

番號ヲ塗抹スヘシ
 四 未納料若ハ不足料ノ書留郵便物ハ郵便料ヲ課セスシテ名宛人ニ配達ス然レトモ此ノ如キ郵便物ヲ受取リタル郵便局ハ點檢狀ヲ以テ差出局ヲ管理スル郵政廳ヘ之ヲ報告スヘシ該點檢狀ニハ極メテ正確ニ該郵便物ノ差出地、差出日附及番號ヲ記載セサルヘカラス
 此ノ規程ハ再發ノ爲高額ノ郵便料ヲ課セサルヘカラサル書留郵便物ニハ之ヲ適用セス此ノ如キ郵便物ハ本細則第二十五條第二項ノ規程ニ據リ取扱フモノトス

第十二條 書留郵便物亡失賠償

甲 郵政廳書留郵便物ノ亡失ニ關シ其ノ責ニ任スヘキ乙 郵政廳ニ代リ賠償金ヲ支拂ヒタルトキ乙 郵政廳ハ支拂ノ通知ヲ受ケタル後三箇月以内ニ郵便爲替銀行爲替若ハ貸主國ノ通貨ヲ以テ償還セサルヘカラス但シ償還上費用ヲ要スルトキハ常ニ借主國ニ於テ之ヲ負擔スヘシ

第十三條 書留郵便物到達證

一 差出人ニ於テ到達證ヲ請求セル郵便物ニハ Avis de réception (到達證) ナル文字ヲ明瞭ニ記載シ若ハ A. R. ナル記號ノ印章ヲ押捺スヘシ
 二 該郵便物ニハ附録第二號雛形ニ適合若ハ類似スル式紙ヲ添附ス此ノ式紙ハ差出局若ハ差出處ノ指定スル他ノ郵便局ニ於テ調製シ關係郵便物ト共ニ綴リ以テ縱横ニ結束スヘシ該到達證名宛局ヘ到達セサルトキハ同局ニ於テ新ニ之ヲ調製スヘシ
 到達證ハ佛蘭西語ニテ記載シ若ハ佛蘭西語ノ譯文ヲ字下ニ添書スヘシ
 三 名宛局ハ第二號式紙ニ式ノ如ク記入セシ後之ヲ封皮ニ納メ事務用書留トシテ差出局ヘ返送スヘシ
 四 差出人書留郵便物ヲ差出シタル後其ノ到達證ヲ請求スルトキハ豫メ到達證手数料ニ相當スル郵便切手ヲ貼附セル第二號式紙ヘ差出局ニ於テ該郵便物ニ關スル詳細ノ事項(郵便物ノ品種、

五

差出局名、差出日附、番號、表記)ヲ記載スヘシ該式紙ニハ搜索ニ係ル書留郵便物ヲ關係郵政廳ノ所轄ニ屬スル交換局ヘ宛發送シタル便名ヲ添記シ郵政廳ヨリ關係郵政廳ヘ送付スルモノトス名宛局ニ於テハ該式紙ニ式ノ如ク記入シタル後第三項ニ規定スル方法ニ從ヒ差出局ヘ返送スヘシ
 差出人ニ於テ書留郵便物差出ノ際正當ニ請求セル到達證ニシテ豫期ノ日限ニ差出局ヘ到達セサルトキハ第四項ノ規程ニ遵ヒ不著到達證請求ノ手續ヲナス但シ此ノ場合ニ於テハ差出局ニ於テ第二號式紙ヘ郵便切手ヲ貼附セス Reclamation de l'avis de réception, etc. (到達證請求等)ノ文字ヲ其ノ頭部ヘ記入スヘシ

第十四條 代金引換渡書留郵便物

一 代金引換渡書留郵便物ニハ Remboursement (代金引換渡)ナル文字ヲ記載スル印章ヲ押捺シ若ハ標符ヲ貼用スヘシ
 二 取立代金額ハ郵便物ノ表面ニ羅匈字ニテ文字ト數字トヲ以テ塗抹重書スルコトナク名宛國ノ貨幣ニテ記載スヘシ差出人ハ代金額ノ下ニ等シク羅匈字ヲ以テ其ノ氏名及住所ヲ記載スヘシ
 三 該郵便物名宛局ヘ到達ノ翌日ヨリ起算シ歐洲諸國相互ノ關係ニ於テハ七日、歐洲諸國及歐洲外諸國ノ關係竝ニ歐洲外諸國相互ノ關係ニ於テハ十五日以内ニ其ノ名宛人代金ヲ納付セサルトキハ該郵便物ハ差出局ヘ返送スヘシ
 四 取立テタル金額ハ他ノ約定アル場合ヲ除キ條約第七條第二項ニ規定セル取立手数料及通常郵便爲替料ヲ控除シタル後郵便爲替事務約定施行細則ニ據リ調製スル郵便爲替券表面ノ頭部ニ

五

代金引換渡(代金引換渡)ト記載スル郵便爲替券トナスヘシ該爲替券ノ通知券面ニハ代金引換渡郵便物名宛人ノ氏名住所竝ニ該郵便物ノ差出地名及日附ヲ記載スヘキモノトス
 代金引換渡郵便物ハ他ノ約定アル場合ヲ除キ此ノ業務ヲ實施スル一國ヨリ他ノ一國ヘ宛之ヲ

再發スルコトヲ得該郵便物ハ再發ノ場合ニ於テハ差出人自ラ請求シタル如ク最初ノ代金引換
渡ノ請求ヲ完全ニ繼續スルモノトス確定名宛應ハ取立代金額ヲ表示スル貨幣ト自國ノ貨幣ト
異ナルトキハ同應ニ限リ郵便爲替ニ關スル現行ノ割合ニ從ヒ該代金額ヲ自國ノ貨幣ニ換算ス
ヘシ又同應ハ取立代金額ヲ差出國宛ノ爲替ト爲スヘシ

第十五條 郵便端書

一 郵便端書ハ露出ノ儘差出シ表面ノ上部ニ佛蘭西語ヲ以テ明瞭ニ Carte postale (郵便端書)ト標
記シ若ハ佛蘭西語ノ譯文ヲ字下ニ添書スヘシ此ノ標記ニハ成ルヘク Union postale universelle
(萬國郵便聯合) Carte réservée à l'adresse (名宛ヲ記スヘキ面)ナル文字ヲ附記スヘキモノトス自
餘ノ表面ニハ郵便切手ヲ印刷若ハ貼附シ郵便事務ニ關スル事項(書留、到達證等)ヲ記載シ及
受取人ノ名宛ヲ掲記スルモノトス此ノ名宛ハ筆書シ若ハ長五「センチメートル」以內幅二「サン
チメートル」以內ノ紙札ヲ貼附シテ指示スルコトヲ得

差出人内國郵便用ノ郵便端書ヲ外國郵便ニ使用スルトキ該端書ニシテ Carte postale (郵便端書)
ナル標記ヲ印書若ハ筆書セルモノ又ハ該標記ニ相當スル差出國ノ國語ヲ有スルモノハ之カ郵
送ヲ許スモノトス
且差出人ハ郵便端書ノ表面ニ筆頭、印章若ハ其ノ他印刷ノ方法ニヨリ自己ノ氏名住所ヲ記載
スルコトヲ得

景色畫若ハ廣告畫ハ表面ニ印刷スルコトヲ得但シ名宛ノ明瞭ナル記載竝ニ郵便事務用ノ印章
及告知ハ毫モ之ヲ侵害スヘカラス

本項第一節及本條第四項ニ掲載スル郵便切手及紙札ヲ除キ郵便端書ニハ一切他ノ物品ヲ添附
スルヲ許サス
二 郵便端書ハ左ノ尺寸ヲ超過スヘカラス

長十四「センチメートル」幅九「センチメートル」

三 郵便往復端書ハ第一部ノ表面ヘ Carte postale avec réponse payée (郵便往復端書) 第二部ノ表面ヘ
Carte postale réponse (郵便返信端書)ト標記スヘシ其ノ第一部及第二部共各郵便通常端書ニ關
スル他ノ條件ヲ遵守シ互ニ折合スヘシ決シテ封緘スルヲ許サス

四 郵便往復端書ノ差出人ハ其ノ返信部ノ表面ニ筆頭ヲ以テ若ハ紙札ヲ貼附シ以テ自己ノ氏名住
所ヲ指示スルコトヲ得

五 端書發行國ノ郵便切手ヲ以テ前拂セル返信部ハ往復端書ノ兩部附着シテ差出國ヨリ到着シ且
同國ニ返送スルモノニアラサレハ前拂ノ效力ナキモノトス其ノ他ノ場合ニ於テハ未納料郵便
端書トシテ取扱フヘシ

六 民間製造ニ係ル通常端書及往復端書ト雖モ差出國ノ制度ニ抵觸セス及外國トノ交換ニ關シ郵
政廳發行ノ郵便端書ヲ減料ニテ郵送スル爲本條ニ規定スル諸條件ヲ充足シ及差出應發行ノ端
書ト形狀紙質ニ於テ不同ナキモノハ聯合國內ニ其ノ通用ヲ許スヘシ

七 成規ノ標記、寸尺、形狀等ニ關シ本條ニ規定スル條件ニ適合セサル郵便端書ハ信書トシテ取扱
フヘシ

然レトモ最初差出國内地ヘ宛發送シ後外國ヘ再發ニ係ル郵便端書ニシテ差出國内地ニ於ケル
郵便端書郵送ノ條件ヲ充足シ且本條第二項ニ規定セル寸尺ノ制限ヲ超過セサルモノハ減料遞
送ノ利益ヲ享受スルコトヲ得

第十六條 業務用書類

一 業務用書類ト看做シ條約第五條ノ低料ヲ以テ郵送スヘキモノハ全部若ハ一部ヲ筆書シタル各
種ノ書類ニシテ現ニ相互ノ間ニ往復スル通信文ノ性質ヲ有セサルモノ例ヘハ訴訟用ノ書類、
裁判所公吏ノ調製セル各種ノ書類、車積證書、船積證書、送狀、保險會社ノ事務ニ關スル各種ノ

書類、印紙附或ハ無印紙ノ紙ニ筆書シ私印ヲ捺シタル證書ノ謄書及拔萃、筆書セシ樂譜及斷斷ニ送付スル著述物或ハ新聞紙ノ草稿、校正セル學生ノ課程書ニシテ其ノ成績上ニ關スル贊評ヲ附セサルモノ等トス

二 業務用書類ノ形狀及郵送ニ關スル條件ハ印刷物(第十八條)ノ規定ニ準據スヘシ

第十七條 商品見本

一 商品見本ハ左ノ條件ニ適合スルモノニ限り條約第五條ニ掲載スル低料ヲ以テ郵送スヘシ
二 商品見本ハ袋、箱若ハ開封ノ封皮ニ容レ容易ニ検査シ得ヘキ様包裝スヘシ
三 商品見本ハ一切市價ヲ有スルコトヲ得ス該見本ニハ差出人ノ氏名、屋號、名宛人ノ氏名、住所、製造標、商標、番號、代價、重量、大小、寸尺、供給シ得ル數量若ハ商品ノ製產地及品種ヲ明示スル爲必要ノ事項ヲ除キ其ノ他ハ一切筆書スヘカラス

四 硝子器、水液、水油、脂肪、乾燥セル著色性若ハ不著色性ノ粉末物及生活蜜蜂ハ左ノ如ク包裝シアルモノニ限り商品見本トシテ郵送スルコトヲ得

甲 硝子器ハ郵便物及郵便吏員ニ危害ヲ與ヘサル様金屬製、木製、革製若ハ板紙製ノ箱ヲ用井堅固ニ包裝スヘシ

乙 水液、水油及容易ニ溶解シ得ル物品ハ玻璃製ノ壺子ニ盛り密閉シ木製ノ箱ニ納メ其ノ間隙ニ鋸屑、綿花其ノ他海綿質ノ物品ヲ十分ニ填充シ以テ壺子破壊ノ際ニ當リ液體ヲ吸收スルノ手當ヲ施シ然ル後更ニ金屬製ノ箱、螺旋ヲ以テ開閉シ得ル蓋附ノ木箱若ハ強硬ノ革箱ニ納ムヘシ

但シ脆弱ナル部分ニ於テ厚少クモ二「ミリメートル」卒ヲ有スル鑽開セル木製ノ容器ヲ用井吸收性ノ物質ヲ以テ其ノ内部ニ填充シ且蓋ヲ以テ閉塞スルトキハ更ニ之ヲ他ノ箱ニ納ムルヲ要セス

丙 膏藥、軟性石鹼、樹脂等ノ如キ容易ニ溶解シ得サル脂肪品ハ其ノ遞送上患害少ナルヲ以テ木箱、布製、羊皮紙製等ノ袋ニ納メ然ル後木製ノ箱、金屬製ノ箱若ハ強硬ノ革箱ニ納ムヘシ

丁 乾燥セル著色性若ハ不著色性ノ粉末物ハ板紙製ノ箱ニ納レ更ニ布製若ハ羊皮紙製ノ袋ニ納ムヘシ

五 生活蜜蜂ハ危害ヲ避ケ且検査シ得ル構造ノ箱ニ納ムヘシ
戊 博物學上ノ物品即チ乾燥若ハ保存セル動物及植物、地質學上ノ標本等ニシテ其ノ發送商業上ノ目的ヲ有セス且其ノ包裝方商品見本ニ關スル一般ノ規定ニ適合スルモノハ商品見本ノ料金を課徴シテ之ヲ郵送スルコトヲ得

第十八條 各種印刷物

一 新聞紙及定時刊行物、本綴若ハ假綴ノ書籍、小冊子、樂譜、名刺、「カルト、アドレフス」(姓名及商標ノ名稱ニシテ印刷物)ノ下刷(其ノ事ニ關スル筆記ヲ加ヘ若ハ加ヘサルモノ、商人用凸字紙、札ノ如キモノ)銅版物、寫眞、寫眞ヲ含有スル寫眞帖、圖畫、繪圖、地圖、目錄、「ブロスベクテニス」(書籍ノ刊行其ノ主意ヲ記シ廣)廣告及活版、銅版、石版若ハ「オートグラフロイ」製各種ノ報知及一般ニ活版、銅版、石版若ハ「オートグラフロイ」其ノ他容易ニ印書タルヲ知り得ヘキ各種ノ器械中數寫器械及寫字器械ヲ除キ其ノ他ノ器械ヲ以テ紙、羊皮紙若ハ板紙ニ印刷寫出シタルモノハ總テ印刷物ト看做シ條約第五條ノ低料ヲ以テ郵送スヘシ

二 筆頭若ハ寫字器械ニテ書寫セルモノヲ「ポリグラフロイ」(クロモグラフロイ等)ノ器械ヲ以テ刷製セルモノハ印刷物ト看做スヘシ然レトモ全ク同一ノモノ二十通以上郵便局ノ窓口ヘ差出スニアラサレハ低料ヲ以テ郵送スルコトヲナシ

三 前拂ノ證タル切手、式紙等ノ消印シ若ハ消印セサルモノ及金額ヲ代表スル各種印刷物ハ低料

ヲ以テ郵送スルノ限ニアラス

三 一旦印刷セシ後其ノ本文ヲ筆頭若ハ器械ヲ以テ變更セル印刷物若ハ其ノ本文ニ約束語ヲ組成スヘキ各種ノ記號ヲ添記セル印刷物ハ低料ヲ以テ郵送スルヲ許サス

四 左ニ掲クル事項ハ第三項ノ例外トス

イ 郵便物ノ外部ニ差出人ノ氏名、屋號及住所ヲ記入スルコト

ロ 印刷製ノ名刺ニ差出人ノ住所、位階並ニ願望、祝詞、謝辭、弔詞又ハ五語以内ノ語辭若ハ略符號(ロ、リ等)ヲ表示スル其ノ他禮儀上ノ式辭ヲ筆書スルコト

ハ 印刷物ニ筆頭若ハ器械ヲ以テ差出日附並ニ差出人ノ記名、屋號、職業及住所ヲ記入シ若ハ之ヲ變更スルコト

ニ 校正セル下刷ヘ其ノ筆記物ヲ附加スルコト並ニ該下刷ヘ其ノ校正、形狀及印刷方ニ關スル事項ヲ附記シ及變更スルコト若シ餘白ナキトキハ別紙ニ此ノ附記ヲ爲スモ妨ケナシ

ホ 且下刷ニアラサル印刷物ニ其ノ正誤ヲナスコト

ヘ 印刷物本文ノ章句ヲ讀ミ難クナス爲塗抹スルコト

ト 本文ノ語辭若ハ章句ニ注意ヲ促ス爲接續線及字下線ヲ引クコト

チ 筆頭若ハ器械ヲ以テ物價表、引札、株式報告、商業上ノ回文及「プロスベクチニス」ニ數字、並ニ旅行報知書ニ旅行者ノ氏名、旅行計畫ノ日附及地名ヲ記入シ若ハ訂正スルコト

リ 船舶出帆廣告ニ出帆日ヲ筆書スルコト

メ 招待狀及集會狀ニ宛人ノ氏名、會合ノ日附、目的並ニ場所ヲ記入スルコト

ル 書籍、樂譜、新聞紙、寫真、版行物並ニ耶蘇降誕及新年賀狀ニ捧呈ノ文言ヲ記入スルコト並ニ其ノ物品ニ關スル送狀ヲ添附スルコト

ヲ 書林發行ノ著述物、即チ書籍、新聞紙、版行物、樂譜ニ關スル注文書若ハ加入申込書ニ注文若ハ贈付ノ著述物ヲ筆書シ及印刷セル通知文ノ全部若ハ一部ヲ塗抹シ若ハ字下線ヲ引クコト

ワ 肖像畫及地圖等ニ著色スルコト

カ 新聞紙及定時刊行物ノ切抜ニ筆頭若ハ器械ヲ以テ其ノ抜萃事項ヲ登載セル本紙ノ名稱日附番號及名宛ヲ附記スルコト

五 特ニ本條ニ規定セル例外ニ屬スルモノヲ除キ印刷物普通ノ性質ヲ失ハシメ且相互ノ間ニ往復スル通信文ノ性質ヲ有セシムル事項ハ其ノ筆書タルト印刷タルトヲ問ハス之ヲ記入スルヲ許サス

六 印刷物ハ帶紙ニテ纏ヒ或ハ軸ニ卷キ或ハ板紙ニテ挾ミ或ハ二面若ハ兩端ノ開キタル箱ニ納メ或ハ開封ノ封皮ニ納レ或ハ物質ヲ隱蔽セサル様ニ折合セ或ハ容易ニ開鎖スヘキ様絲ニテ結縛スヘシ

七 「カルト、アドレッシ」及其ノ他折合セサル「カルト」ノ形狀紙質ヲ有スル總テノ印刷物ハ帶紙封皮及絲ヲ用井ス或ハ疊マシテ差出スコトヲ得、其ノ表面ニハ郵便切手ヲ貼附シ郵便事務ニ關スル事項及名宛人ノ氏名、住所ヲ記載スヘキモノトス、差出人ハ同面ニ印章若ハ其ノ他印刷ノ方法ニ依リ其ノ氏名、職業及住所ヲ記載スルコトヲ得書林注文書ニハ別ニ書林注文書若ハ書林注文ト印書スルコトヲ得

八 郵便端書ト標記セル「カルト」ハ印刷物ノ料金ヲ以テ郵送セス

第十九條 合裝郵便物

商品見本、印刷物並ニ業務用書類ハ合裝シテ差出スコトヲ得但シ左ノ條件ヲ遵守スヘシ

第一 各品一箇ノ重量寸尺共規定ノ制限ヲ超過スヘカラス

第二 合裝郵便物ノ全重量ハ一箇ニ付二キログラムヲ超過スヘカラス
 第三 合裝郵便物ニシテ業務用書類ヲ包含スルトキハ郵便料二十五「サントーム」、印刷物及商品
 見本ヨリ組成スルトキハ郵便料十「サントーム」ヨリ低下ナルヘカラス
 第二十條 書狀目錄

- 一 聯合ニ郵政廳ノ間ニ交換スル郵便物ニ添附スヘキ書狀目錄ハ本細則附錄第三號雛形ニ準シテ
 調製シ「feuille d'avis」(書狀目錄)ト明瞭ニ記載セル色封皮ニ納ムヘシ
- 二 書狀目錄ニ關係スル郵便ヲ組成スル別箇ノ行囊若ハ包束物ノ員數ハ其ノ目錄上部ノ右方ニ掲
 記スヘシ
 毎日若ハ定日ニアラサル定期海路交換ノ郵便ニ付テハ反對ノ約定アル場合ヲ除キ各差出局ハ
 各名宛局ニ對シ毎年其ノ一定ノ順序ヲ逐ヒ附スヘキ番號ヲ書狀目錄左方ノ上部ニ記載シ且郵
 便物搭載ノ船名ヲモ番號ノ上部ニ成ルヘク併記スヘシ
- 三 書狀目錄ノ頭部ニハ書留郵便物數、該郵便物ノ包束物數若ハ行囊數、該包束物若ハ該行囊以外
 ニ於ケル書留郵便物數並ニ別配達郵便物數ヲ登記スヘシ但シ別配達郵便物中ニ書留郵便物ア
 ルトキハ之ヲ區別スヘシ
- 四 書留郵便物ハ書狀目錄第一表ニ下記ノ事項即チ差出局名及同局ニ於ケル該郵便物ノ登記番號
 又ハ差出局名、名宛人氏名及名宛地名ヲ各別ニ登記スヘシ
 附註欄内ニハ到達請求郵便物ノ記載ニ對シ「A.P.」(到達證)ナル文字ヲ記入ス又同欄内ニハ代
 金引換渡書留郵便物ノ記載ニ對シ「Reco」(代金引換渡)ナル文字並ニ取立代金額ヲ數字ニテ記
 入スヘシ
 返送スヘキ到達證ハ其ノ員數ノ多少ニ從ヒ箇々若ハ一纏メニ前表ヘ登記スヘシ
- 五 一交換局ヨリ他ノ交換局ニ每常送付スル書留郵便物數夥多ナルトキハ特別目錄一葉若ハ數葉

- 六 書狀目錄第二表ヘハ其ノ目錄ニ關係スル直接郵便ニ依リ遞送スル閉蓋郵便物ヲ登記シ且式ノ
 ニ登記スヘシ
 此ノ特別目錄ニ記載スル書留郵便物數、目錄數及該郵便物ノ包束物數若ハ行囊數ハ書狀目錄
 如ク詳細ニ記入スヘシ
- 七 Recommendation d'Office (事務用書留)ト題スル欄ヘハ開封ノ事務用信書、交換事務ニ關係ス
 ル差出局ノ通報若ハ要求並ニ返送空行囊ノ員數ヲ記載スルモノトス
- 八 或ル關係ノ爲書狀目錄中更ニ他表ヲ作り若ハ野欄ヲ設クルヲ必要ト認ムルトキハ關係郵政廳
 相互ノ間ニ協議ヲ遂ケ之ヲ施設スルコトヲ得
- 九 一交換局ヨリ關係交換局ヘ送付スヘキ郵便物一モナキトキハ唯「ナシ」ト記載セル書狀目錄ノ
 ミヲ郵便物トシテ例ノ如ク送付スヘシ
- 十 一郵政廳ヨリ他ノ一郵政廳ヘ商船ヲ以テ閉蓋郵便物ノ運送ヲ依托スルトキ該郵便物ノ搭載ヲ
 保證スル郵政廳ヨリ請求アルニ於テハ信書及其ノ他ノ物品ノ員數若ハ重量ヲ書狀目錄及該郵
 便物名宛ノ場所ニ記載スヘシ

第二十一條 書留郵便物遞送
 一 書留郵便物、到達證、別配達郵便物並ニ第二十條第五項ニ記載スル特別目錄アルトキハ該目錄
 ハ共ニ一箇若ハ數箇ノ包束物又ハ行囊ニ之ヲ納メ其ノ安全ヲ保ツカ爲適宜ニ包裝若ハ封緘シ
 テ封印ヲ施スヘシ
 書留郵便物ハ目錄ヘ記入ノ順序ニ從ヒ區分包束スヘシ目錄數葉ヲ使用スルトキハ目錄ニ關係
 アル書留郵便物ノ包束物毎ニ各目錄ヲ裝入スヘシ
 二 書留郵便物ノ包束物ハ書狀目錄入ノ色封皮ト共ニ縱横ニ結束シタル後郵便行囊ノ中央ニ納ム

- 三 第一項ニ記載スル特別目録ニ登記セル書留郵便物ノ包束物行囊内ニ存在シアルトキハ書狀目録ノ頭部ニ其ノ旨ヲ特記スルカ或ハ差出國ニ於テ書留郵便物ニ使用スル標符ヲ貼附シ若ハ印章ヲ押捺シ以テ之ヲ指示スヘシ
- 四 第二項及第二項ニ記載スル書留郵便物ノ包裝及遞送ノ方法ハ通常ノ關係ニ限リ適用シ非常ノ關係ニ於テハ其ノ相關係スル郵政廳ノ間ニ協議ヲ以テ特別ノ方法ヲ定ムヘシ但シ何レノ場合ト雖モ其ノ品種類形状、大小ニ依リ郵便行囊ニ納メ難キ書留郵便物ノ遞送ヲ要スルトキハ交換局長臨機處置スヘシ
- 但シ書留郵便物ヲ包束物トナサス若ハ特別ノ行囊ニ納メス通常郵便物ト相混シテ行囊ニ納レ發送スルトキハ差出交換局ハ其ノ員數ヲ書狀目録ノ上部ニ記シ該目録ノ附註欄内ニハ右郵便物ノ記載ニ對シ en dehors (在外)ノ文字ヲ記入スヘシ
- 右郵便物ハ成ルヘテ絲ヲ以テ結束シ標符ヲ添附スヘシ標符ニハ先ツ結束物ノ員數ヲ記載シ次ニ *Recommandés en dehors* (在外書留)ナル文字ヲ明瞭ニ記入スヘシ
- 第二十二條 郵便物ノ包束
 - 一 郵便物ハ其ノ品種類ニ從ヒ完納料郵便物ト未納料若ハ不足料郵便物トヲ類別結束スルヲ通則トス
 - 開封若ハ破損ノ痕跡ヲ存スル信書ニハ其ノ事實ヲ記載シ且之ヲ發見セシ郵便局ノ日附印ヲ押捺スヘシ
 - 二 總テ郵便物ハ結束シタル後其ノ損傷ナキ様強硬ノ紙ヲ十分ニ用井テ包纏シ更ニ之ヲ結束シ封緘若ハ護謄引封印紙ヲ以テ封緘シ局印ヲ押捺シ、、、ヨリ、、、ヘト差出局名ハ小字名宛局名ハ大字ニテ印書シタル標札ヲ添附スヘシ

- 三 右郵便物ハ其ノ數夥多ナルトキハ行囊ニ納メ適宜ニ封緘若ハ封鉛ヲ以テ封緘シ標札ヲ添附スヘシ
- 四 別配達郵便物ノ包束物若ハ行囊ハ局員ノ注意ヲ促ス爲其ノ外部ニ該郵便物ヲ指示スヘシ
- 五 紙製ノ標札ヲ用ウルトキハ木札ニ貼附スヘシ
- 六 各行囊ノ重量ハ四十キログラム以内タルヘシ
- 七 郵便行囊ハ關係郵政廳ノ間ニ特別ノ約束アルニアラサレハ空虛ノ儘次便ヲ以テ差出局ニ返送スヘシ
- 第二十三條 郵便物點檢
 - 一 郵便物ヲ受取リタル交換局ハ書狀目録及書留目録ノ添附シアルトキハ書留目録ニ登記シタル事項ノ正否ヲ點檢スヘシ
 - 郵便行囊ハ破壞セサル様注意シテ送達スヘシ然レトモ其ノ破壞ノ故ヲ以テ拒絕スルコトヲ得ス他局宛ノモノナルトキハ原初ノ包裝ハ成ルヘク其ノ儘ニ保存シ更ニ包裝スヘシ郵便物ニ異狀アリト認ムルトキハ更ニ包裝ヲ爲スニ先チ點檢スヘシ
 - 二 交換局ニ於テ誤謬若ハ脫漏ノ件アルコトヲ發見スルトキハ直ニ書狀目録若ハ書留目録ニ必要ノ正誤ヲ爲スヘシ但シ其ノ誤謬ヲ塗抹スルニ當リ原字ヲ讀ミ得ル様注意スヘシ
 - 三 此ノ正誤ハ吏員二名協議ノ上施行シ明瞭ノ誤謬アラサル限ハ原初ノ調査ヨリ確實ノモノト認ムヘシ
 - 四 點檢狀ハ本細則附錄第四號雛形ニ從ヒ名宛局ニ於テ調製シ事務用書留トシテ遲滞ナク差出局ヘ送付スルト同時ニ差出局ヲ管理スル郵政廳ヘ其ノ騰書ヲ送致スヘシ
 - 五 本條第一項ニ記載スル場合ニ於テハ點檢狀ノ騰書ハ再裝郵便行囊中ニ納ムヘシ
 - 差出局ハ點檢狀檢閱ノ上意見アルトキハ之ヲ記載シテ返送スヘシ

六 郵便行囊 書留郵便物 書狀目錄若ハ書留目錄不足セルトキハ名宛交換局ノ吏員二名成規ノ手續ニ從ヒ直ニ其ノ事實ヲ證明シ點檢狀ヲ以テ差出交換局ニ照會スヘシ必要ノ場合ニ於テハ尙ホ電報ニテ照會シ其ノ費用ハ電報ヲ發送シタル郵政廳ニ於テ負擔スヘシ且同時ニ名宛局ヨリ差出局ヲ管理スル郵政廳へ點檢狀ヲ送付スルモノトス

七 差出局若ハ媒介局へ不著ノ旨ヲ通報セル郵便物ノ到着セントキハ該郵便物接受ノ旨ヲ記載セル第二點檢狀ヲ同局へ送付スルモノトス

八 媒介郵政廳ハ閉塞郵便物亡失ノ場合ニ於テ其ノ行囊在中ノ書留郵便物ニ對シ條約第八條ニ定ムル制限内ニ於テ辨償ノ責ニ任スルモノトス但シ該行囊不達ノ旨ヲ成ルヘク速ニ媒介廳ニ通知セシ場合ニ限ル

九 名宛郵便局ヨリ點檢ノ後初發便ヲ以テ誤謬若ハ其ノ他違例ノ廉ヲ證明セル點檢狀ヲ差出局ニ送付セサルトキハ反對ノ證據アル迄行囊及其ノ在中郵便物ヲ接受シタルモノト看做スヘシ

第二十四條 軍艦ト交換ノ郵便物

一 聯合國ノ一郵政廳ト同廳所屬國ノ艦隊若ハ軍艦トノ間ニ閉塞郵便物ノ交換ヲ開始スルトキハ成ルヘク豫メ其ノ旨ヲ媒介廳へ通知スヘシ

二 該閉塞郵便物ハ左ノ如ク表記スヘシ

從、、、、、、、郵便局

、、、、、、、、地碇泊艦隊(國名及艦隊名)宛

、、、、、、、、地投錨軍艦(國名及軍艦名)宛

或ハ

從、、、、、、、地碇泊艦隊(國名及艦隊名)

從、、、、、、、地投錨軍艦(國名及軍艦名)

、、、、、、、、郵便局宛

三 艦隊若ハ軍艦發著ノ郵便物ハ特ニ遞送線路ヲ指定シアルモノヲ除クノ外郵便局間ニ交換スル郵便物ト同一ノ規則ニ從ヒ最速達ノ線路ヲ經テ差立ツヘシ

四 艦隊若ハ軍艦宛ノ郵便物ニシテ行囊ニ納メシテ發送セララルトキハ之ヲ遞送スル郵便船長ハ名宛艦隊若ハ軍艦ノ司令官ヨリ要求アル場合ニ於テハ該郵便物ヲ航海途中ニ於テ交付スルモノトス

五 艦隊若ハ軍艦宛ノ郵便物其ノ名宛地ニ到着ノ際艦隊若ハ軍艦ノ碇泊シアラサルトキハ郵便局ニ保管シ名宛人ノ來局ヲ俟テ交付スルカ又ハ他ノ碇泊地ニ宛再發スヘシ右再發ハ差出國郵政廳、名宛艦隊若ハ軍艦ノ司令官又ハ同國領事ヨリ之ヲ請求スルコトヲ得

六 艦隊若ハ軍艦宛ノ郵便物中、地、領事ノ氣付ト表記シアルモノハ差出國ノ領事館ニ交付スヘシ該郵便物ハ異日領事ノ請求ニ依リ郵便局ヲ經由シ差出地若ハ他ノ名宛地ニ向ケ之ヲ再發スルコトヲ得

七 艦隊若ハ軍艦宛ノ郵便物ハ假令最初ニ郵便局氣付ト名宛シアルモノ又ハ媒介送達ノ事ニ任スル領事ニ宛テタルモノト雖其ノ司令官ニ交付スル迄ハ繼續遞送ト看做スヘシ故ニ軍艦ニ交付セサル間ハ其ノ名宛ニ到達セシモノト看做サス

第二十五條 再發郵便物

一 聯合内ニ於テ其ノ住所ヲ移轉セシ名宛人ニ宛テタル各種ノ郵便物ハ本條第二項ニ記載スルモノヲ除キ其ノ他ハ條約第十四條ニ從ヒ配達廳ニ於テ差出地ヨリ直ニ新名宛地ニ宛テタルモノト同様ニ取扱フヘシ

二 聯合各國ノ内地郵便物ニシテ再發ノ爲聯合ノ他國ニ到達スルモノ若ハ其ノ相互ノ關係上聯合ノ通常郵便料ヨリ低廉ナル郵便料ヲ徵收スル聯合ノ二國間ニ交換スル郵便物ニシテ再發ノ爲

聯合ノ通常郵便料ヲ課徴スル聯合ノ第三國ニ到達スルモノ若ハ郵便料ノ低減ヲ約定セル二國ノ境界相接スル地方ノ間ニ最初交換セシ郵便物ニシテ該二國ニ於ケル他ノ地方若ハ聯合ノ他國ニ再發セラレタルモノハ左ノ規則ニ從フヘシ

第一 最初ノ遞送ニ對スル郵便料ヲ前拂セサルカ又ハ不十分ニ前拂シタル郵便物ハ配達廳ニ於テ差出地ヨリ直ニ新名宛地ヘ宛テタル同種ノ郵便物ニ適用スヘキ料金を課徴ス

第二 最初ノ遞送ニ對スル郵便料ヲ正當ニ前拂シ再發ノ際其ノ後ノ遞送ノ爲加徴スヘキ郵便料ヲ前拂セサル郵便物ハ配達廳ニ於テ既ニ前拂セル郵便料ノ額ト最初ヨリ新名宛地ヘ宛ツル郵便物ニ就キ徴收スヘキ額トノ差額ヲ種類ニ從ヒ課徴スヘシ但シ此ノ差額ハ再發廳ニ於テ郵便切手ノ側ニ「フランク」サンチームニテ記載スヘキモノトス

第一及第二ノ場合ニ於テ數度再發ノ未差出國ニ歸著スル場合ト雖上記ノ料金を名宛人ヨリ之ヲ徴收スヘシ

三 最初聯合ノ一國ノ甲地ヨリ乙地ニ宛テタル現金前拂ノ郵便物ヲ更ニ他國ヘ再發スルトキ再發廳ハ現金ニテ徴收セシ料金額ヲ必ス郵便物ニ記載スヘシ

四 誤達セル各種ノ郵便物ハ最速達ノ線路ニ依リ遲滞ナク其ノ名宛地ニ再發スヘシ

五 名宛ニ不完全若ハ誤謬ナル箇所アリテ之ヲ増補修正スル爲差出人ニ返却セシ各種ノ郵便物ハ増補修正ノ後再ヒ差出ストキハ其ノ書留郵便物ト通常郵便物トニ拘ラス再發郵便物ト看做サス新ニ差出シタル郵便物ト看做シ新ニ郵便料ヲ徴收スルモノトス

二十六條 不能配達郵便物 第二十六條 不能配達郵便物 何等ノ原因ヲ問ハス配達シ能ハサル各種ノ郵便物ハ名宛國ノ規則ニ依リ定ムル留置期限經過ノ後ハ直ニ、遲クトモ 海外諸國トノ關係ニ於テハ六箇月其ノ他ノ關係ニ於テハ二箇月ノ期限

内ニ夫々交換局ヲ經由シ別ニ一包トシ Rebus (不能配達)ト記載シタル標札ヲ添附シ及差出國名ヲ記載シテ返送スヘシ但シ六箇月及二箇月ノ期限ハ郵便物ノ名宛局ヘ到着セシ月ノ末日ヨリ起算スヘキモノトス

二 然レトモ不能配達ノ書留郵便物ハ差出國ノ交換局ヘ向ケ同國宛ノ書留郵便物ト同様ノ手續ヲ以テ返送スヘシ但シ再發局ニ於テ書狀目錄第一表若ハ書留目錄ニ登記スル氏名ニ對シ Rebus (不能配達)ナル文字ヲ其ノ附註欄ニ記入スヘシ

三 關係ニ郵政廳ハ協議ノ上例外トシテ不能配達郵便物ノ返送ニ關スル他ノ方法ヲ採用シ又ハ價値ナキモノト認ムル印刷物ハ互ニ返却セサルコトヲ得

四 名宛郵政廳ハ或ル事由ニ依リ配達ヲ遂ケサル郵便物ヲ差出郵政廳ヘ返還スルニ當リ其ノ裏面ニ「知レス」拒絶「出發」請求ナシ「死亡」等ノ文字ヲ以テ配達シ難キ事由ヲ佛蘭西語ニテ簡明ニ記載スヘシ右記載方ハ印章ヲ捺捺シ若ハ紙札ヲ貼附シテ行フモノトス且各郵政廳ハ其ノ國語ヲ以テ配達シ難キ事由ノ翻譯ヲ附加シ及其ノ他適宜ノ事項ヲ附記スルコトヲ得

五 聯合ノ一國內ニ於テ差出シ同國內ニ宛テタル郵便物ニシテ其ノ差出人ノ外國ヘ居住セルモノヲ不能配達ノ故ヲ以テ差出人ニ還付スル爲外國ヘ返送セサルヘカラサルトキハ外國交換ノ郵便物トシテ取扱フヘシ此ノ場合ニ於テハ再發局及配達局ハ該郵便物ニ對シ第二十五條第二項及第三項ノ規程ヲ適用スルモノトス

六 領事ノ氣付ニ係ル海關若ハ其ノ他ノ者ヘ宛テタル郵便物ニシテ請求ナキモノトシテ領事ヨリ地方ノ郵便局ヘ返付セシモノハ一般ノ不能配達郵便物ニ對シ第一項ニ規定スル手續ニ從ヒ取扱フヘシ該郵便物ニ對シ領事ヨリ徵收セシ郵便料ハ同時ニ該郵便局ヨリ返戻スヘキモノトス

第二十七條 通常郵便物不達取調ノ請求

明治三十一年十二月 告示 逓信省第三百三十號 萬國郵便條約施行細則 九七七

- 一 通常郵便物不達取調ニ關スル請求ハ左ノ手續ニ照シテ取扱フモノトス
 - 第一 請求者ニ附録第五號雛形ノ如キ式紙ヲ與ヘ成ルヘク正確ニ其ノ關係ノ事項ヲ記入セシムヘシ
 - 第二 此ノ請求ヲ受ケタル郵便局ハ別段書面ヲ添ヘス其ノ式紙ヲ關係郵便局へ官用郵便物トシテ直接ニ送付スヘシ
 - 第三 關係郵便局ハ場合ニ依リ名宛人若ハ差出人ニ此ノ式紙ヲ示シ必要ノ事項ヲ記入セシムヘシ
 - 第四 此ノ事項ヲ記入シタル式紙ハ關係局ヨリ官用郵便物トシテ之ヲ調製シタル局ニ返送スヘシ
 - 第五 請求至當ト認ムルトキハ郵政廳ニ送致シ其ノ後ノ穿鑿ノ考證ニ供スヘシ
 - 第六 此ノ式紙ハ特別ノ約束アル場合ヲ除キ其ノ他ハ佛蘭西語ヲ以テ記載シ若ハ佛蘭西語ノ譯文ヲ附スヘシ
- 二 各郵政廳ハ萬國郵便聯合總局へ通知ノ上郵政廳若ハ郵政廳ノ特ニ指名セシ郵便局へ宛共ノ事務ニ關スル請求書ノ送付ヲ要求スルコトヲ得
 - 第二十八條 書留郵便物ノ取調請求
 - 一 書留郵便物取調ノ請求ニ關シテハ本細則附録第六號雛形ニ適合スル式紙ヲ使用ス差出國郵政廳ハ該郵便物ヲ次ノ郵政廳へ遞送セシ日附ヲ記載シタル後直ニ該式紙ヲ名宛國郵政廳へ送付スヘシ
 - 二 名宛國郵政廳ニ於テ請求ニ係ル郵便物ノ達否ニ關シ確實ナル事項ヲ通報シ得ル場合ニ於テハ該式紙へ其ノ相當事項ヲ記入シタル後差出國郵政廳へ之ヲ返送スヘシ
 - 三 數國ノ開囊繼越ニ係ル書留郵便物ニシテ名宛國ノ管掌中ニ於テ直ニ其ノ達否ヲ證明シ能ハサ

- 四 ルトキハ名宛國郵政廳ハ該式紙ヲ第一媒介國郵政廳へ送付ス、第一媒介國郵政廳ハ該郵便物ヲ次ノ郵政廳へ遞送セシ詳細ノ事項ヲ記載シタル後該式紙ヲ次ノ郵政廳へ送付ス、此ノ如キ手續ハ請求ニ係ル郵便物ノ達否ヲ確證シ得ル迄之ヲ繼續執行ス、該郵便物ヲ名宛人ニ配達セシ郵政廳又ハ其ノ配達若ハ他ノ郵政廳へ正ニ之ヲ遞送セシコトヲ證明シ能ハサル郵政廳ハ其ノ旨ヲ式紙ニ記載シ差出國郵政廳ニ返送スヘシ
- 四 第六號式紙ハ佛蘭西語ヲ以テ記載シ若ハ佛蘭西語ノ譯文ヲ字下ニ添書スヘシ、該式紙ハ別段書面ヲ添ヘス封皮ニ納メ封緘シ書留ノ手續ヲナシテ發送スヘシ、各郵政廳ハ萬國郵便聯合總局へ通知ノ上郵政廳若ハ特ニ指名セシ郵便局若ハ直ニ名宛局へ宛或ハ各郵政廳ニシテ單ニ媒介ノ資格ヲ有スルトキハ該郵便物ノ通過セル交換局へ宛共ノ事務ニ關スル請求書ノ送付ヲ要求スルコトヲ得
- 五 本條ニ掲記スル條款ハ郵政廳ノ間ニ一層詳細ナル照會ヲ要スヘキ郵便物ノ盜難若ハ不足等ノ場合ニ於テハ之ヲ適用スルノ限ニアラス
 - 第二十九條 郵便物ノ取戻並ニ名宛變更
 - 一 差出人郵便物ノ取戻、再發若ハ名宛ノ變更ヲ請求スルトキハ本細則附録第七號雛形ニ適合スル式紙ヲ使用スヘシ差出人此ノ請求書ヲ郵便局へ提供スルトキハ差出人タルコトヲ證明シ及所持スルトキハ差出證書ヲ提出スルヲ要ス右證明ニ付テハ差出國郵政廳其ノ責ニ任シ證明ノ上ハ左ノ手續ニ從ヒ取扱フヘシ
 - 第一 請求カ郵便ニ依リ送達セラルルトキハ差出人ノ請求書へ郵便物ノ封皮若ハ其ノ表記ト全ク同一ナル摸寫ヲ添ヘ書留トシテ直ニ名宛郵便局へ發送スヘシ
 - 第二 請求カ電信ニ依リ送達セラルルトキハ差出人ノ請求書ヲ電信局ニ移シ該局ヨリ其ノ旨ヲ名宛郵便局ニ通報スヘシ

二 名宛郵便局ハ第七號式紙若ハ電信ヲ受取次第其ノ郵便物ヲ搜索シ請求通り必要ノ處分ヲナス
ヘシ

然レトモ電信ニ依リ名宛變更ノ請求ヲ受ケタルトキ名宛局ハ其ノ信書ヲ留置シ必要ナル撰寫
ノ到達スルヲ俟テ請求通り訂正スヘシ

郵便物ノ搜索無効ナルカ若ハ既ニ名宛人ニ配達セルカ若ハ請求ノ電信不明瞭ニシテ指示スル
郵便物ヲ確認シ難キトキハ其ノ旨ヲ直ニ差出局ヲ經由シ請求人ニ報知スヘシ

三 第七號式紙ハ特別ノ約束アル場合ヲ除キ其ノ他ハ佛蘭西語ヲ以テ記載シ若ハ佛蘭西語ノ譯文
ヲ字下ニ添書スヘシ又電信ヲ使用スルトキ其ノ電信文ハ佛蘭西語ヲ以テ記載スヘキモノトス

四 單ナル名宛ノ修正(名宛人ノ氏名若ハ身分職業ヲ修正スルコトナシ)ハ名宛變更ノ手續ヲ要セ
スシテ名宛局ヘ直ニ之ヲ請求スルコトヲ得

五 各郵政廳ハ萬國郵便聯合總理局ヘ通知ノ上郵政廳若ハ特ニ指名セシ郵便局ヲ經由シ此ノ請求
書ノ交換ヲ要求スルコトヲ得

郵政廳ヲ經由シテ此ノ請求書ヲ交換スル場合ニ於テ差出局ヨリ名宛局ヘ直ニ發送シタル請求
ニ付テハ郵政廳ヨリ請求到著ノ日迄關係郵便物ノ配達ヲ見合スヘシ

本項第一節ニ掲記スル隨意的ノ方法ヲ採用スル郵政廳ハ其ノ内地事務ノ郵便ト電信トニ拘ラ
ス名宛局ト交換スル通信費用ヲ負擔スヘシ

差出人ニ於テ自ラ電信ヲ使用スルトキ若ハ郵便ニ依ルトキハ必要ノ時ニ於テ名宛局ヘ通牒シ
能ハサルカ如キトキハ必ス電信ニ依リ請求スヘキモノトス

第三十條 詐欺ノ嫌疑アル郵便切手ノ使用

郵便料前拂ノ爲詐欺ノ嫌疑アル郵便切手ノ使用ヲ證明スル爲左ノ手續ヲ施行ス但シ各國ノ制度上
規定ナルモノハ例外トス此ノ例外ハ本條ノ條款ヲ以テ明示シアラサル場合ニ在テモ亦之ヲ適用

スルコトヲ得

甲 郵便物ノ種類ニ拘ラス詐欺ニ係ル郵便切手(偽造若ハ既ニ使用セシモノ)ノ貼用シ
ルモノヲ發送ノ際發見セシトキ其ノ制度上直ニ之カ差押ヲ許ササル所ノ郵政廳ニ於テ
ハ右切手ニ消印セス現狀ノ儘ニ保存シ名宛局宛ノ封皮ニ納メ事務用書留トシテ之ヲ發
送スヘシ

乙 前上ノ事項ハ本細則附錄第八號雛形ニ適合スル報告書ヲ以テ發著二國ノ郵政廳ヘ速ニ
之ヲ報知スヘシ尙ホ右報告書ノ一通ハ詐欺ノ嫌疑アル郵便切手ノ貼用シアル郵便物ト
共ニ封皮ニ納レ名宛局ヘ之ヲ送付スヘシ

丙 反則ノ廉ヲ證明スル爲名宛人ヲ召喚スヘシ
該郵便物ハ名宛人若ハ其ノ代人ニ於テ差出人ノ氏名住所ヲ告知スルコト及郵便物ニ記
載ノ事項ヲ知得セシ後ハ犯罪ノ部分ヲ分離スル能ハサル郵便物ハ其ノ全部若ハ名宛
表記及詐欺ト認ムル切手ノ存スル一部分(封皮、帶紙、信書ノ一片等)ヲ郵便局ヘ差出ス
コトヲ承諾スルニアラサレハ之ヲ交付セス

丁 名宛人ヲ召喚セシ所ノ結果ハ本細則附錄第九號雛形ニ適合スル調書ニ記載ス若シ不慮
ノ事項例ヘハ名宛人召喚ニ應セサルコト郵便物ノ受領ヲ肯セサルコト開封ヲ拒絶スル
コト差出人ノ氏名住所ヲ告知セサルコト等發生スルトキハ之ヲ記入スヘシ此ノ調書ニ
ハ郵便局員及名宛人若ハ其ノ代人連署ス若シ名宛人若ハ其ノ代人ニ於テ署名ヲ肯セサ
ルトキハ其ノ旨ヲ署名スヘキ場所ニ記載スヘシ

該調書ニハ證據物件ヲ添ヘ名宛國郵政廳ヲ經由シ差出國郵政廳ヘ送達スヘシ差出國郵
政廳ハ右物件ニ據リ犯則ノ處分ヲ要スルトキハ其ノ國法ニ照シテ處分スヘシ

第三十一條 繼越遞送料

- 一 繼越遞送料計算ノ爲千八百九十六年五月調製統計ハ次ノ第二項及第三項ニ規定セル場合ヲ除ク外千八百九十七年六月十五日ノ條約竝ニ本細則實施滿期ノ日迄其ノ效力ヲ有スルモノトス
 - 二 新ニ聯合ニ加盟ノ國アリテ其ノ關係大ナルカ爲繼越遞送料ノ支拂上變更ヲ生スヘキ地位ニ在ル聯合諸國ハ右加盟國ト交換ノ郵便物ニ限リ特別ニ統計ノ調査ヲ請求スルコトヲ得
 - 三 郵便物ノ遞送上非常ノ變動ヲ生シ其ノ變動六箇月以上ニ涉ルトキハ關係郵政廳ハ互ニ協議ヲ遂ケ必要ノ場合ニ於テハ新規ノ統計ニ據リ繼越遞郵便物ノ遞送度數ニ比例シ繼越遞送料ノ分配方ヲ規定スヘシ
 - 四 郵船ノ搭載シ來リタル閉塞郵便物ニシテ一港ニ陸揚シ一時保管ノ後再ヒ他ノ郵船ニ搭載スヘキモノハ之ヲ陸揚シタル地ノ郵政廳ニ於テ陸路繼越遞送料ヲ徵收セサルモノトス
- 第三十二條 繼越遞送料差引計算
- 一 條約第四條第五項第一及第二ノ條款ヲ實施スル爲左ノ如ク施行スヘシ
 - 甲 聯合各郵政廳ハ條約第四條第四項ニ規定セル特殊ノ繼越遞送料ヲ除キ及同第四條第五項第一ニ規定スル減額ヲ爲スコトナク陸路ノ繼越遞送ニ關シ千八百九十六年調査ノ統計ニ基キ關係各郵政廳ヘ支拂フヘキ若ハ之ヨリ受收スヘキ金額ノ計算書ヲ總理局ヨリ送付スヘキ特別ノ式紙ヲ以テ作製シ之ヲ同局ヘ送付スヘシ
 - 乙 二郵政廳ノ計算書彼此相違ノ場合ニ於テハ總理局ハ該二廳ヲシテ協議セシメ確定ノ金額ヲ通牒セシムヘシ
 - 丙 關係郵政廳中ノ一廳ニシテ總理局ノ定ムル期限内ニ計算書ヲ送付セサルトキハ他廳ノ計算書ヲ以テ正當ノモノトナスヘシ
 - 丁 總理局ノ定ムル期限内ニ前上ニ記載スル計算書ヲ送付セサル郵政廳ハ何等ノ要求ヲモ爲スコトヲ得サルモノトス

- 爲スコトヲ得サルモノトス
- 戊 總理局ハ千八百九十六年調査ノ統計ニ基キ華盛頓條約及本細則ノ效力期限滿期ノ日迄陸路繼越遞送ニ關スル總テノ支拂ヲ免除セラルヘキ諸國ヲ指定シ此等諸國カ支拂ヲ要セシ金額ノ總高ヲ調査シ該遞送ニ關係セル他ノ諸國ノ總貸高ニ對シ比較的控除ヲ爲シタル後條約第四條第五項第一ニ規定セル減額ヲナシ而シテ各郵政廳カ他ノ關係各郵政廳ニ對スル貸借額ヲ記載シ確定ノ結果ヲ郵政廳ヘ通知スヘシ
- 二 本條約第四條及第十七條ニ基キ及同第四條第五項第三ニ規定セル減額ヲ爲シ以テ海路繼越遞送料ノ計算書ヲ調製スルハ貸主廳ノ擔任ニシテ貸主廳ハ之ヲ借主廳ヘ送付スヘキモノトス借主廳ハ成ルヘク速ニ承諾シ若ハ異見ヲ付シテ該計算書ヲ返還スヘシ若シ六箇月以内ニ返還セサルトキハ貸主廳ニ於テ調製セシ計算書ニ從ヒ差引計算スルモノトス
- 第三十三條 繼越遞送料支拂
- 一 二郵政廳相互ノ差引計算ヨリ生スル毎年ノ差額ハ借主廳ヨリ正貨「フランク」ヲ以テ其ノ廳ノ都合ニ依リ貸主國ノ或ル土地ニ振宛テタル銀行爲替ニテ貸主廳ヘ之ヲ支拂フヘシ右支拂ニ關スル費用ハ場合ニ依リ割引費ヲ込メ借主廳ノ負擔ニ屬スルモノトス
 - 二 一年度ノ繼越遞送料ハ成ルヘク速ニ支拂ヒ遅クモ翌年度最初ノ六箇月ヲ超過スヘカラス如何ナル場合ト雖計算書ヲ送付セシ郵政廳ニ於テ右期限内ニ正誤ノ通知ヲ受領セサルトキハ計算書ハ異議ナク承諾セラレタルモノト看做スヘシ此ノ規程ハ一郵政廳ヨリ送付ノ計算書ニ對シ異見ヲ付シタルトキ同廳ニ於テ抗辯セサル場合ニモ均シク適用スヘキモノトス右六箇月ノ期限ヲ經過スルトキハ一廳ヨリ他ノ一廳ヘ支拂フヘキ金額ニ對シ右期限經過ノ翌日ヨリ起算シ一箇年五分ノ利子ヲ付ス
 - 三 但シ關係郵政廳ハ本條ニ規定スル方法以外ノ方法ヲ合議採用スルコトヲ得

第三十四條 萬國郵便聯合總管理局經費分擔ノ方法

一 萬國郵便聯合總管理局ノ經常費ハ大會議若ハ小會議ヨリ生スル臨時費ヲ除キ一箇年十二萬五千「フランク」ヲ超過スヘカラス

二 瑞西郵政廳ハ萬國郵便聯合總管理局ノ經費ヲ監査シ必要ノ分ハ立替置キ年年計算書ヲ調製シ各郵政廳ニ通知スヘシ

三 經費分擔ノ爲聯合各國ヲ七等ニ區分シ各若干部ヲ出金ス即チ

第一等 二十五部

第二等 二十部

第三等 十五部

第四等 十部

第五等 五部

第六等 三部

第七等 一部

四 右諸部數ニ各其ノ等ノ國數ヲ乘シ其ノ積ノ和ヲ以テ總部數トナシ之ニ依リ經費ノ全額ヲ除シ其ノ商ヲ以テ一部ノ金高トス

五 經費分擔ノ爲聯合諸國ヲ左ノ如ク區別ス

第一等 獨逸、埃地利、洪島利、亞米利加合衆國、佛蘭西、大不列顛、英領印度、濠太刺利、大不列顛殖民地、加那太ヲ除キ其ノ他ノ大不列顛殖民地及其ノ保護國全體、伊太利、露西亞、土耳其

第二等 西班牙

第三等 白耳義、伯西兒、加那太、埃及、日本、和蘭、羅馬尼、瑞典、海外西班牙殖民地若ハ州縣、印

度支那佛蘭西殖民地及保護國並ニ他ノ佛蘭西殖民地全體、蘭領東印度

丁抹、那威、葡萄牙、瑞西、葡萄牙殖民地

亞然的音(共和國)、「ボスニ」、「ベルセゴヴ」井ヌ、「勃爾瓦利、智利、古倫比亞、希臘、墨西

哥、白露、塞爾維、突尼斯

中央亞米利加大共和國、「ポリロー」、「古西多利加」、「ドミニカ」共和國、「エクアト

ル」、「ガチマラ」、「ハイチ」、「歴山堡」、「パラゲー」、「波斯、暹羅王國、南亞弗利加(共和國)、「ウ

ルゲー」、「ベネズエラ」獨逸保護國、丁抹殖民地、「キユラサオ」殖民地(一名蘭領「アン

チーユ)、「シニリナム」殖民地(一名蘭領銀奈)

第七等 公果獨立國、韓、布哇、「リベリア」滿得涅各羅

第三十五條 萬國郵便聯合總管理局ヘノ通報

一 萬國郵便聯合總管理局ハ萬國郵便事務ニ關スル常例及一般ノ通達ヲ媒介スルモノトス

二 聯合諸國ノ郵政廳ハ萬國郵便聯合總管理局ノ媒介ヲ以テ互ニ左ノ諸件ヲ特ニ通達スヘシ

第一 條約第五條ニ從ヒ聯合ノ通常郵便料ノ外海路繼續遞送料若ハ特殊遞送料ノ爲徵收ス

ル増郵便料ノ細目並ニ此ノ増郵便料ヲ徵收スヘキ關係ヲ有スル國名及必要ナルトキ

ハ其ノ増郵便料ノ徵收ヲ要スル線路ノ名稱

第二 郵便切手各五組但シ前發行ノ郵便切手ノ流通ヲ停止スヘキトキハ停止ノ日附ヲ指示

スヘシ

第三 諸郵政廳ハ其ノ所有ノ權利即チ條約及本細則ニ掲記シアル若干ノ條款ヲ適用シ若ハ

適用セサル權利ヲ實施スルトキハ其ノ旨ノ通知

第四 本條約第二十一條ニ基キ締結スル特殊約定ノ爲若ハ本條約第二十條施行ノ爲採用ス

ル低料並ニ此ノ低料ヲ適用スヘキ關係國ノ指示

三 以上ノ四件ニ付向後變更アルトキハ同一ノ手續ニ依リ速ニ之ヲ通達セサルヘカラス
 四 聯合郵政廳ハ其ノ内外郵便事務ニ付刊行シタル書類ハ二部宛ツ萬國郵便聯合總理局ヘ送付ス
 ヘシ

第三十六條 一般ノ統計

一 各郵政廳ハ本細則附錄第十號及第十一號雛形ニ適合若ハ類似スル諸表ニ基キ前年度ニ關スル
 務メテ精細ノ統計表ヲ製シ毎年七月末日ヲ期シ萬國郵便聯合總理局ヘ送達スヘシ
 二 帳簿ヘ登記スル郵便事業ハ其ノ記録ニ據リ定時調査シ製表スルモノトス
 三 總テ其ノ他ノ事業ハ日々交換ノモノハ少クモ一週間又日々交換セサルモノハ四週間計算スヘ
 シ但シ各種ノ郵便物ニ付各別ニ計算スルハ各郵政廳ノ隨意タルヘシ
 四 各郵政廳ハ其ノ郵便事業ノ最モ平均ニ近キ時期ヲ擇ヒ此ノ計算ヲナスノ權利ヲ有スルモノト
 ス

五 萬國郵便聯合總理局ハ各郵政廳ニ於テ調製スヘキ統計ノ用紙ヲ印刷分配シ且統計ノ調査ヲ成
 ルヘク均一ナラシムル爲各郵政廳ヨリ履行スヘキ規則ニ付必要ナル質問ヲ受ケタルトキハ之
 ニ應答スヘシ

第三十七條 萬國郵便總理局ノ職務

一 萬國郵便聯合總理局ハ年々萬國郵便統計表ヲ調製スヘシ
 二 總理局ハ諸國ヨリ編譯スル書類ニ依リ獨、英、佛三語對譯ノ新聞紙ヲ編輯スヘシ
 三 總理局ハ第三十五條ノ條款ニ基キ接到セシ通達ニ從ヒ聯合各國ニ於ケル條約及本細則ノ施行
 上一般ノ利益ニ關スル報告類集ヲ發行ス向後ノ變更ニ付テハ每半年發行ノ附録ニ之ヲ記載
 ス然レトモ緊急ノ場合ニ於テ一郵政廳ヨリ同應ノ事務中ニ生セシ變更ノ至急公告ヲ特ニ要求
 セルトキハ特別ノ回章ヲ發送スヘシ

四 聯合ノ特殊約定ニ關スル同一ノ類集ハ該約定ニ加盟スル郵政廳ノ要求ニ基キ總理局ニ於テ之
 ヲ發行スルコトヲ得

五 定數外ノ部數及書類ヲ要求スル郵政廳ハ其ノ原價ニ從ヒ別ニ支拂フモノトス

六 總理局ハ聯合諸國ヨリ萬國郵便事務ニ關シ質問アルトキハ何時タリトモ之ニ應答セサルヘカ
 ラス

七 總理局ハ聯合ノ成規ニ付修正若ハ解釋ニ關スル請求アルトキハ之ヲ通知シ又其ノ結果ヲ告知
 ス總テ可決セシ修正若ハ決議ノ件ハ告知後少クモ三箇月ヲ經過セサレハ實行セサルモノトス

八 總理局ハ第三十八條ニ定ムル手續ニ依リ同局ノ媒介ヲ得テ差引決算セムカ爲其ノ旨ヲ通告セ
 ル聯合郵政廳間ニ於ケル各種ノ差引決算ヲ爲スヘシ

九 總理局ハ大會議若ハ小會議ニ關スル事務ヲ準備シ必要ナルモノヲ謄寫印刷シ修正案、會議日
 誌其ノ他ノ書類ヲ編輯配付スヘシ

十 總理局長ハ大會議若ハ小會議ニ臨場シ討論スト雖表決ノ權利ヲ有セサルモノトス
 十一 總理局長ハ毎年其ノ事務ノ狀況報告書ヲ作り聯合諸國ノ郵政廳ヘ送致スヘシ
 十二 總理局ノ公用語ハ佛蘭西語トス
 十三 總理局ハ萬國郵便局名錄ヲ發行ス此ノ局名錄ハ「ABC」ノ順序ヲ逐テ編纂シ未タ普通ニ涉
 ラサル業務ヲ取扱フ局ハ特別ノ記號ヲ附シテ區別シ附録又ハ同局ニ於テ適當ト認ムル他ノ
 方法ニ依リ之ヲ完全ナラシムヘシ

本項ニ掲記スル局名錄ハ郵政廳ノ需メニ應シ原價ヲ以テ之ヲ送付ス
 第三十八條 聯合郵政廳間ニ於ケル差引決算中央局